

基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	学部設置							
フリガナ設置者	ガッコウホウジン ジュウモンジガクエン 学校法人 十文字学園							
フリガナ大学の名称	ジュウモンジガクエンジョシダイガク 十文字学園女子大学 (Jumonji University)							
大学本部の位置	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号							
大学の目的	建学の精神「身をきたへ 心きたへて 世の中に たちてかひある 人と生きなむ」に基づき、社会の要請に応じる学術の理論と応用を教育研究することによって、社会・文化の発展に貢献する人間性豊かな女性を育成することを目的とする。							
新設学部等の目的	人間生活学部は、「生活学」、「女性学」を教育研究の中核とし、その具体的課題を人文、社会、自然の諸科学の成果を応用して追及するとともに、生活諸課題を合理的に解決し、発展させることのできる人材を育成することを教育研究上の目的とする。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地 埼玉県新座市菅沢 2丁目1番28号
	人間生活学部 [Faculty of Human Life]	年	人	年次 人 3年次	人		年 月 第 年次	
	幼児教育学科 [Department of Early Childhood Care and Education]	4	150	10	620	学士 (教育学) Bachelor of Pedagogy	平成23年4月 第1年次 平成25年4月 第3年次	
	児童教育学科 [Department of Elementary Education]	4	50	—	200	学士 (教育学) Bachelor of Pedagogy	平成23年4月 第1年次	
	人間発達心理学科 [Department of Human Developmental Psychology]	4	100	3年次 5	410	学士 (心理学) Bachelor of Psychology	平成23年4月 第1年次 平成25年4月 第3年次	
	食物栄養学科 [Department of Food & Nutrition]	4	120	3年次 10	500	学士 (栄養学) Bachelor of Nutritional Science	平成23年4月 第1年次 平成25年4月 第3年次	
	人間福祉学科 [Department of Human Welfare]	4	60	3年次 5	250	学士 (社会福祉学) Bachelor of Social Welfare	平成23年4月 第1年次 平成25年4月 第3年次	
	生活情報学科 [Department of Career Planning and Information Studies]	4	100	3年次 5	410	学士 (社会情報学) Bachelor of Social and Information Science	平成23年4月 第1年次 平成25年4月 第3年次	
	メディアコミュニケーション学科 [Department of Media Communication Studies]	4	100	3年次 5	410	学士 (コミュニケーション学) Bachelor of Communication Studies	平成23年4月 第1年次 平成25年4月 第3年次	
	計		680	40	2,800			
同一設置者内における 変更状況 (定員の移行、 名称の変更等)	社会情報学部 社会情報学科 (△120) (3年次編入学定員) (△5) コミュニケーション学科 (△110) (3年次編入学定員) (△5) 人間生活学部 児童幼児教育学科 (△130) 幼児教育専攻 (△10) (3年次編入学定員) (△10) 児童教育専攻 (△ 50) 食物栄養学科 (△120) (3年次編入学定員) (△10) 人間福祉学科 (△ 60) (3年次編入学定員) (△5) 人間発達心理学科 (△ 90) (3年次編入学定員) (△5) ※上記2学部6学科につき、平成23年4月学生募集停止 (3年次編入学定員は平成25年4月学生募集停止)							

別記様式第2号（その1の1）

	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実習	計				
教育課程	幼児教育学科	64 科目	71 科目	16 科目	151 科目	124	単位		
	児童教育学科	54 科目	44 科目	8 科目	106 科目	124	単位		
	人間発達心理学科	86 科目	29 科目	7 科目	122 科目	124	単位		
	食物栄養学科	79 科目	32 科目	32 科目	143 科目	124	単位		
	人間福祉学科	101 科目	55 科目	8 科目	164 科目	124	単位		
	生活情報学科	98 科目	30 科目	4 科目	132 科目	124	単位		
	メディアコミュニケーション学科	94 科目	29 科目	4 科目	127 科目	124	単位		
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
	新設分	人間生活学部 幼児教育学科	6人 (9)	4人 (4)	2人 (1)	1人 (1)	13人 (15)	0人 (0)	47人 (30)
		人間生活学部 児童教育学科	12 (13)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	13 (14)	0 (0)	36 (23)
		人間生活学部 人間発達心理学科	5 (5)	3 (3)	3 (2)	0 (0)	11 (10)	0 (0)	34 (26)
		人間生活学部 食物栄養学科	12 (11)	3 (4)	1 (2)	3 (3)	19 (20)	4 (4)	46 (27)
		人間生活学部 人間福祉学科	4 (6)	2 (3)	3 (2)	0 (0)	9 (11)	1 (1)	58 (30)
		人間生活学部 生活情報学科	8 (9)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	13 (14)	0 (0)	40 (27)
		人間生活学部 メディアコミュニケーション学科	7 (10)	7 (6)	0 (1)	0 (0)	14 (17)	0 (0)	46 (26)
	計	54 (63)	23 (24)	11 (10)	4 (4)	92 (101)	5 (5)	307 (189)	
合計	54 (63)	23 (24)	11 (10)	4 (4)	92 (101)	5 (5)	307 (189)		
教員以外の職員の概要	職 種		専 任		兼 任		計		
	事務職員		58人 (58)		19人 (19)		77人 (77)		
	技術職員		1 (1)		0 (0)		1 (1)		
	図書館専門職員		5 (5)		3 (3)		8 (8)		
	その他の職員		1 (1)		0 (0)		1 (1)		
計		65 (65)		22 (22)		87 (87)			
校地等	区 分	専 用	共 用		共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	0 m ²	27,442 m ²		0 m ²	27,442 m ²			
	運動場用地	0 m ²	32,192 m ²		0 m ²	32,192 m ²			
	小 計	0 m ²	59,634 m ²		0 m ²	59,634 m ²			
	そ の 他	0 m ²	24,664 m ²		0 m ²	24,664 m ²			
合計	0 m ²	84,298 m ²		0 m ²	84,298 m ²				
校 舎		専 用	共 用		共用する他の学校等の専用	計			
		12,250 m ² (12,250 m ²)	16,665 m ² (16,665 m ²)		1,242 m ² (1,242 m ²)	30,157 m ² (30,157 m ²)			
教室等	講義室	演習室	実験実習室		情報処理学習施設	語学学習施設			
	34 室	74 室	13 室		10 室 (補助職員 - 人)	3 室 (補助職員 - 人)			
専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		人間生活学部			105 室				
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	大学全体	184,806 [20,693] (172,306 [20,293])	694 [199] (694 [199])	17 [4] (17 [4])	5,235 (4,235)	8,867 (7,659)	4,236 (4,197)		
	計	184,806 [20,693] (172,306 [20,293])	694 [199] (694 [199])	17 [4] (17 [4])	5,235 (4,235)	8,867 (7,659)	4,236 (4,197)		

大学全体

十文字学園女子大学
→収容定員2,800名
十文字学園女子大学大学院
→収容定員10名
十文字学園女子大学
短期大学部
→収容定員280名と共用

大学全体

申請学部全体

大学・短期大学部共用
全蔵書数 169,694冊
電子ジャーナルに
ついては契約件数

別記様式第2号(その1の1)

図書館		面積		閲覧座席数				収 納 可 能 冊 数		大学全体
		1, 976 m ²		291				157, 000		
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要						大学全体
		3, 767 m ²								
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	※研究費:300~600(千円) 届出学部全体
		教員1人当り研究費等		300千円	300千円	300千円	300千円	— 千円	— 千円	
		共同研究費等		10,100千円	9,800千円	9,500千円	9,200千円	— 千円	— 千円	
		図書購入費	25,800千円	25,800千円	25,800千円	25,800千円	25,800千円	— 千円	— 千円	
	設備購入費	57,000千円	57,000千円	57,000千円	57,000千円	57,000千円	— 千円	— 千円	※学生納付金	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	上段:幼児教育学科 児童教育学科 人間発達心理学科 人間福祉学科 生活情報学科 メディアコミュニケーション学科 下段:食物栄養学科		
		1,300 千円	1,200 千円	1,200 千円	1,200 千円	— 千円	— 千円			
		1,350 千円	1,250 千円	1,250 千円	1,250 千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			資産運用収入、手数料等を充実する。							
大学の名称		十文字学園女子大学								
学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	※平成23年度より学生募集停止(社会情報学部)(人間生活学部)(3年次編入学定員は平成25年学生募集停止)
大学院 人間生活学研究科 食物栄養学専攻		年	人	年次人	人	修士(栄養学)	1.20	平成22年度	埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号	
社会情報学部 社会情報学科		4	120	3年次5	490	学士(社会情報学)	0.98	平成8年度		
コミュニケーション学科		4	110	5	450	学士(社会情報学)	1.04	平成12年度		
人間生活学部 児童幼児教育学科		4	130	3年次10	540	学士(教育学)	1.07	平成19年度		
幼児教育専攻										
児童教育専攻		4	50	—	200	学士(教育学)	1.31	平成19年度		
食物栄養学科		4	120	3年次10	500	学士(栄養学)	1.14	平成14年度		
人間福祉学科		4	60	3年次5	250	学士(社会福祉学)	0.89	平成16年度		
人間発達心理学科		4	90	3年次5	370	学士(心理学)	1.27	平成16年度		
大学の名称		十文字学園女子大学短期大学部								
学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
短期大学部		年	人	年次人	人		0.87		埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号	
文学科 国語国文専攻		2	70	—	140	短期大学士(文学)	1.07	昭和48年度		
文学科 英語英文専攻		2	70	—	140	短期大学士(文学)	0.66	昭和48年度		
附属施設の概要		名称:十文字女子大附属幼稚園 目的:教育実習園及び研究協力園としての役割 所在地:埼玉県新座市菅沢2丁目1番28号(隣接地) 設置年月日:昭和43年4月 規模等:土地 3,708m ² , 建物 1,417m ²								

教 育 課 程 等 の 概 要

(人間生活学部 幼児教育学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
初年次ゼミナール	入門ゼミナール	1前	1					○		6	4	2	1			
	読書入門	1後	1					○		6	4	2	1			
十文字学	A 女性を学ぶ	女性を学ぶ	1・2・3・4前・後		2			○							兼 6	オムニバス
		女性とメディア	1・2・3・4後		2			○							兼 1	
		女性としごと	1・2・3・4前		2			○							兼 2	
		女性のからだと心	1・2・3・4前		2			○		1					兼 2	
		文学と女性	1・2・3・4後		2			○							兼 2	
		女性の社会参画の国際比較	1・2・3・4後		2			○							兼 1	
	B 地域・社会を学ぶ	新座から学ぶ	1・2・3・4前		2			○							兼 3	オムニバス
		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後		2			○							兼 3	
		現代社会を考える	1・2・3・4前		2			○							兼 4	
		グローバリゼーションと社会	1・2・3・4後		2			○							兼 2	オムニバス
	C 人間・環境を学ぶ	社会の仕組みの理解	1・2・3・4後		2			○							兼 2	
		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後		2			○		1		1			兼 1	
		若者と精神保健	1・2・3・4後		2			○							兼 1	
		物質のなりたち	1・2・3・4前		2			○							兼 1	
D 総合	地球と環境	1・2・3・4後		2			○							兼 1		
	生命と生態系	1・2・3・4前		2			○							兼 1		
	総合科目	1・2・3・4前・後		2			○							兼 1		
保健体育	総合ゼミ	1・2・3・4通		2				○						兼 1		
	運動と健康	1前	2				○							兼 3		
	人間と運動	1前	1					○						兼 6		
	身体運動	1・2・3後	1					○	1					兼 6		
共通科目	シーズンスポーツ	2・3・4後		1				○	1					兼 5	集中	
	外国語 I (英語)	1通												兼 11		
	外国語 I (中国語)	1通												兼 1		
	外国語 I (フランス語)	1通	2					○						兼 1		
	外国語 I (スペイン語)	1通												兼 1		
	外国語 I (日本語)	1通												兼 4		
	外国語 II (英語)	2・3・4通		2				○						兼 6		
	外国語 II (中国語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 II (フランス語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 II (スペイン語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 II (日本語)	2・3・4通		2				○						兼 4		
	外国語 III (英語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 III (中国語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 III (フランス語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 III (スペイン語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 III (日本語)	2・3・4通		2				○						兼 3		
	外国語 IV (英語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 IV (中国語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 IV (フランス語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 IV (スペイン語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
外国語 IV (日本語)	2・3・4通		2				○						兼 3			
情報処理基礎	情報基礎論	1前	2					○						兼 1		
	情報処理演習 I	1前	1						○					兼 4		
	情報処理演習 II	1後	1						○					兼 4		
キャリア教育	キャリアサポート	2・3前・後		2				○						兼 1		
	自主社会活動	1・2・3・4前・後		1				○						兼 1		
	小計 (49科目)	—	12	70	0			—	6	4	2	1	0	兼 56	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	基礎	児童学概論	1前	2			○			6	4	2	1		兼 1 集中	オムニバス
		児童学演習	1通	2				○		6	4	2	1			
		児童学研究法Ⅰ(量的研究)	3前	2				○			2					
		児童学研究法Ⅱ(質的研究)	3後	2				○			2					
		保育方法	2後	2				○		1						
		幼児教育基礎実習	2後	1					○	2		1				
		幼児教育基礎演習	2後	1					○	2		1				
	保育と教育	保育者論	3前	2				○			1				兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 2 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1	集中
		幼児教育学	1前	2				○		1						
		教育学	1後	2				○								
		保育制度・保育政策論	2後	2				○								
		障害児保育Ⅰ	2前	1					○	1						
		障害児保育Ⅱ	3前		1				○							
		保育・教育課程論	3前		2				○	1						
		保育計画	3後		2				○							
		教育方法	2・3前		2				○							
		乳児保育Ⅰ	2後		2					○						
		乳児保育Ⅱ	3前		1					○						
		多文化保育論	3・4前		2				○							
		保育学	3・4前		2				○		1					
		保育学演習	3・4後		1					○	1					
		保育実践論	3・4前		2				○			1				
		保育実践論演習	3・4後		1					○		1				
		保育人間学	3・4前		2				○				1			
	保育人間学演習	3・4後		1					○			1				
	保育カリキュラム論	3・4前		2				○		1						
	保育カリキュラム論演習	3・4後		1					○	1						
保育内容	保育内容総論	3後		2				○		2				兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1		
	保育内容の指導法(健康)	2前		2				○			1					
	保育内容の指導法(環境)	2後		2					○			1				
	保育内容の指導法(人間関係)	3前		2					○		1					
	保育内容の指導法(言葉)	3前		2					○		2					
	保育内容の指導法(音楽表現)	3前・後		2					○		1					
	保育内容の指導法(造形表現)	2後		2					○			1				
	保育内容の指導法(身体表現)	3前		2					○			1				
	子どもと自然	2後		1						○						
	国語概説	2前		2					○							
算数概説	2前		2					○								
生活概説	2前		2					○								
発達と臨床	生涯発達心理学	1前	2					○			1			兼 1 兼 1		
	保育心理学	1後	1					○			1					
	臨床心理学	3前		2					○							
	臨床発達心理学	2・3後		2					○		1					
	保育・教育相談	3前		2					○		1					
	青年心理学	2・3・4後		2					○							
	発達心理学	3・4前		2					○		1					
	発達心理学演習	3・4後		1						○	1					
	発達臨床論	3・4前		2					○		1					
	発達臨床論演習	3・4後		1						○	1					
生活と福祉	子ども家庭福祉Ⅰ	1前	2					○				1		兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 1		
	子ども家庭福祉Ⅱ	2・3・4後		1					○							
	社会福祉	1後	2						○							
	社会福祉援助技術	3前・後		2						○		1				
	養護原理	2前		2					○							
	養護内容	2後		1						○						
	子育て支援論	2後		2					○		1					
	家族関係論	2・3・4前		2					○							
	地域福祉論	2・3前		2					○							
	児童福祉論	3・4前		2					○			1				
児童福祉論演習	3・4後		1						○		1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	健康と運動	児童保健学Ⅰ	1後	2			○			1							
		児童保健学Ⅱ	2後		2			○		1							
		児童保健学実習	2前		1				○	1							
		精神保健	2後		2			○		1							
		食と発達	2・3前・後		2				○								兼 1
		ネイチャー・ワーク	2前	1					○			1					
		体育基礎Ⅰ（子どもと運動）	1・2前・後		2				○								兼 1
		健康教育学	3・4前		2				○		1						
		健康教育学演習	3・4後		1				○		1						
	表現と文化	音楽基礎Ⅰ（歌唱法）	1前		2				○								兼 2
		音楽基礎Ⅱ（ピアノ基礎技術）	1後		1					1							兼 6
		音楽基礎Ⅲ（楽器演奏）	2前		1					1							兼 6
		造形基礎Ⅰ（感じて表現）	1前		2				○	1							
		造形基礎Ⅱ（考えて表現）	1後		2				○			1					
		体育基礎Ⅱ（身体表現）	2後		2				○	1							兼 1
		表現総論	3前	2					○	6	4	2	1				オムニバス
		児童文化	2後	1					○								兼 1
		歌唱演習	2・3・4後		1				○								兼 1
		ミュージック・クリエーション	2・4前・後		1				○	1							兼 2
		造形発達と表現	2・3・4後		2				○	1							
		ボディワーク	3・4後		1				○	1							
		児童音楽文化論	3・4後		2				○	1							
		児童音楽文化論演習	3・4前		1				○	1							
		造形保育論	3・4前		2				○	1							
		造形保育論演習	3・4後		1				○	1							
		アート教育論	3・4前		2				○			1					
		アート教育論演習	3・4後		1				○			1					
	身体表現論	3・4後		2				○	1								
	身体表現論演習	3・4後		1				○	1								
	フィールドワーク（実習）	幼稚園教育実習総論	3・4通		1				○	2	1	1	1				
		幼稚園教育実習	4通		4				○	2	1	1	1				
		教職実践演習（幼）	4後		2				○	6	4	2	1				
		保育実習総論Ⅰ	3通		1				○	2	2	1	1				
保育実習総論Ⅱ		4前		1				○	2	2	1	1					
保育所保育実習Ⅰ		3・4通		2				○	2	2	1	1					
保育所保育実習Ⅱ		3・4通		2				○	2	2	1	1					
施設実習Ⅰ		3・4通		2				○	2	2	1	1					
施設実習Ⅱ		3・4通		2				○	2	2	1	1					
保育インターンシップ		3・4通		2				○	2	2	1	1					
小計（101科目）	—	34	137	0			—	6	4	2	1	0		兼 31	—		
卒業研究	4通	4					○	6	4	2	1						
小計（1科目）	—	4	0	0			—	6	4	2	1	0		0	—		
合計（151科目）		50	207	0			—	6	4	2	1	0		兼 82	—		
学位又は称号	学士（教育学）		学位又は学科の分野				教育学・保育学関係										
卒業要件及び履修方法				授業期間等													
共通科目から、「初年次ゼミナール」2科目2単位、「十文字学」から6単位以上（但し、A領域1科目2単位、B領域又はC領域のいずれか1科目2単位を必修）、「保健体育」から3科目4単位、「外国語」の外国語Ⅰ（英語・中国語・フランス語・スペイン語・日本語（但し日本語を母語としない者のみ）より1つの外国語を選択）から1科目2単位、「情報処理基礎」から3科目4単位を必修とし、必修科目12単位を含む18単位以上を履修する。 専門科目から、卒業研究を含めた必修科目38単位を含み98単位以上を履修する。 その他、「共通科目」及び自学科の「専門科目」に加え、他学科の「専門科目」（同一開講科目として自学科の専門科目として認定しているものを除く）を自由選択科目として8単位以上を履修し、合計124単位以上を履修することを卒業要件とする。								1学年の学期区分		2学期							
								1学期の授業期間		15週							
								1時限の授業時間		90分							

教育課程等の概要

(人間生活学部 児童教育学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
初年次ゼミナール	入門ゼミナール	1前	1						10		1					
	読書入門	1後	1					○	10		1					
十文字学	A 女性を学ぶ	女性を学ぶ	1・2・3・4前・後		2			○							兼6	オムニバス
		女性とメディア	1・2・3・4後		2			○							兼1	
		女性としごと	1・2・3・4前		2			○							兼2	
		女性のからだと心	1・2・3・4前		2			○							兼1	
		文学と女性	1・2・3・4後		2			○							兼2	
		女性の社会参画の国際比較	1・2・3・4後		2			○							兼1	
	B 地域・社会を学ぶ	新座から学ぶ	1・2・3・4前		2			○		1					兼2	オムニバス
		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後		2			○							兼3	
		現代社会を考える	1・2・3・4前		2			○							兼4	
		グローバリゼーションと社会	1・2・3・4後		2			○							兼2	オムニバス
	C 人間・環境を学ぶ	社会の仕組みの理解	1・2・3・4後		2			○							兼2	
		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後		2			○		1					兼2	
		若者と精神保健	1・2・3・4後		2			○							兼1	
		物質のなりたち	1・2・3・4前		2			○							兼1	
	D 総合	地球と環境	1・2・3・4後		2			○							兼1	
生命と生態系		1・2・3・4前		2			○		1					兼1		
総合科目 総合ゼミ		1・2・3・4前・後 1・2・3・4通年		2 2			○ ○							兼1 兼1		
保健体育	運動と健康	1前		2			○							兼3		
	人間と運動	1前		1					1					兼5		
	身体運動	1・2・3後		1					1					兼6		
	シーズンスポーツ	2・3・4後		1					1					兼5	集中	
外国語	外国語Ⅰ(英語)	1通												兼11		
	外国語Ⅰ(中国語)	1通												兼1		
	外国語Ⅰ(フランス語)	1通	2					○						兼1		
	外国語Ⅰ(スペイン語)	1通												兼1		
	外国語Ⅰ(日本語)	1通												兼4		
	外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通		2				○						兼6		
	外国語Ⅱ(中国語)	2・3・4通		2				○						兼1		
	外国語Ⅱ(フランス語)	2・3・4通		2				○						兼1		
	外国語Ⅱ(スペイン語)	2・3・4通		2				○						兼1		
	外国語Ⅱ(日本語)	2・3・4通		2				○						兼4		
	外国語Ⅲ(英語)	2・3・4通		2				○						兼1		
	外国語Ⅲ(中国語)	2・3・4通		2				○						兼1		
	外国語Ⅲ(フランス語)	2・3・4通		2				○						兼1		
	外国語Ⅲ(スペイン語)	2・3・4通		2				○						兼1		
	外国語Ⅲ(日本語)	2・3・4通		2				○						兼3		
	外国語Ⅳ(英語)	2・3・4通		2				○						兼1		
外国語Ⅳ(中国語)	2・3・4通		2				○						兼1			
外国語Ⅳ(フランス語)	2・3・4通		2				○						兼1			
外国語Ⅳ(スペイン語)	2・3・4通		2				○						兼1			
外国語Ⅳ(日本語)	2・3・4通		2				○						兼3			
情報処理基礎	情報基礎論	1前		2				○	1							
	情報処理演習Ⅰ	1前		1				○	1					兼1		
	情報処理演習Ⅱ	1後		1				○	1					兼1		
キャリア教育	キャリアサポート	2・3前・後		2				○						兼1		
	自主社会活動	1・2・3・4前・後		1				○						兼1		
	小計(49科目)	—	12	70	0			—	10	0	1	0	0	兼54	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	教職の意義等に関する科目	教職入門	1前	2			○			1						
	教育の基礎理論に関する科目	教育学概論	1後	2			○			1						
		教育心理学	1前	2			○									兼 1
		学校関係法規	1後	2			○					1				
	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程・方法論	2前	2			○			2						
		初等国語科教育	2前	2			○			1						
		初等算数科教育	2前	2			○			1						
		初等理科教育	3前	2			○			1						
		初等体育科教育	2前	2			○			1						
		初等音楽科教育	3前	2			○			1						
		初等図画工作科教育	2前	2			○									兼 2
		初等社会科教育	3前		2		○									兼 1
		初等生活科教育	2後		2		○									兼 1
		初等家庭科教育	3前		2		○									兼 1
		道徳教育	3前	2			○					1				
		特別活動	2前	2			○									兼 1
		保育内容総論	3後		2				○	2						
		保育内容の指導法（環境）	3前		2				○	1						
		保育内容の指導法（人間関係）	3前		2				○							兼 3
	保育内容の指導法（言葉）	3前		2				○	1							
	保育内容の指導法（音楽）	3前		2				○	1							
	生徒指導、教育相談及び心理指導等に関する科目	生徒指導・進路指導	3前	2			○									兼 1
		教育相談	3前	2			○									兼 1
	教育実習	学校参観	2通	1					○	7		1				集中
		教育実習事前事後指導	3前	1					○	7		1				
		教育基本実習	3後	1					○	7		1				
		教育応用実習	4前	3					○	7		1				
		幼稚園教育実習(事前・事後指導を含む)	3・4通	2					○	7		1				
	教職実践演習	教職実践演習(幼・小)	4後	2				○		8		1				
	教科に関する科目	国語	1後	2					○	1						
		算数	1後	2					○	1						
		音楽	1後		2				○	1						兼 1
		図画工作	1後		2				○							
体育		1後		2				○	1						兼 1	
社会		2前		2				○							兼 1	
生活		1後		2				○							兼 1	
理科		2前		2				○	1						兼 1	
家庭	2後		2				○							兼 1		
教科または教職に関する科目	特別支援教育概論	1後	2					○	2							
	特別支援教育指導法	2前	1					○	1							
	学校関係法規特別講義	3後		2				○	1							
	表現活動概論	3後		2				○	1							
	表現活動(基礎)	2前		1				○	1							
	表現活動(応用)	2後		1				○	1							
	学習指導と学校図書館	2前		2				○							兼 1	
	学級経営と教科指導	3後		2				○	1							
	教職基礎演習	1通		2				○	7		1					
	教職発展演習	2通		2				○	1							
	教職応用演習	3通		2				○	1							
	介護等体験事前事後指導	2通		1					○	10		1			集中	
	外国語活動	2後		2				○							兼 1	
	学芸総合演習	3前		1				○	1							
	教材研究	2通		2				○	8		1					
授業研究	3通		2				○	8		1						
教育学特別講義	2後		2				○	2		1						

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
科専 目門	卒業研究演習	3通	2				○		7		1				
	小計 (56科目)	—	49	56	0	—			12	0	1	0	0	兼 11	—
	卒業研究	4通	4				○		7		1				
	小計 (1科目)	—	4	0	0	—			7	0	1	0	0	0	—
合計 (106科目)		—	65	126	0	—			12	0	1	0	0	兼 62	—
学位又は称号		学士 (教育学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
<p>共通科目から、「初年次ゼミナール」2科目2単位、「十文字学」から6単位以上(但し、A領域1科目2単位、B領域又はC領域のいずれか1科目2単位を必修)、「保健体育」から3科目4単位、「外国語」の外国語Ⅰ(英語・中国語・フランス語・スペイン語・日本語(但し日本語を母語としない者のみ)より1つの外国語を選択)から1科目2単位、「情報処理基礎」から3科目4単位を必修とし、必修科目12単位を含む18単位以上を履修する。 専門科目から、卒業研究を含めた必修科目53単位を含み98単位以上を履修する。 その他、「共通科目」及び自学科の「専門科目」に加え、他学科の「専門科目」(同一開講科目として自学科の専門科目として認定しているものを除く)を自由選択科目として8単位以上を履修し、合計124単位以上を履修することを卒業要件とする。</p>							1学年の学期区分			2学期					
							1学期の授業期間			15週					
							1時限の授業時間			90分					

教育課程等の概要																	
(人間生活学部 人間発達心理学科)																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
初年次ゼミナール	入門ゼミナール	1前	1					○			5	3	3				
	読書入門	1後	1					○			5	3	3				
十文字学	A 女性を学ぶ	女性を学ぶ	1・2・3・4前・後		2			○							兼6	オムニバス	
		女性とメディア	1・2・3・4後		2			○							兼1		
		女性としごと	1・2・3・4前		2				○						兼2		
		女性のからだと心	1・2・3・4前		2				○						兼1		
		文学と女性	1・2・3・4後		2				○						兼2		
		女性の社会参画の国際比較	1・2・3・4後		2				○						兼1		
	B 地域・社会を学ぶ	新座から学ぶ	1・2・3・4前		2				○						兼3	オムニバス	
		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後		2				○						兼3		
		現代社会を考える	1・2・3・4前		2				○						兼4		
		グローバリゼーションと社会	1・2・3・4後		2				○						兼2	オムニバス	
	C 人間・環境を学ぶ	社会の仕組みの理解	1・2・3・4後		2				○						兼2		
		人間・環境を学ぶ	芸術と人間理解	1・2・3・4前・後		2				○						兼3	
			若者と精神保健	1・2・3・4後		2				○		1				兼1	
			物質のなりたち	1・2・3・4前		2				○						兼1	
地球と環境	1・2・3・4後			2				○						兼1			
D 総合	生命と生態系	1・2・3・4前		2				○						兼1			
	総合科目	1・2・3・4前・後		2				○						兼1			
保健体育	総合ゼミ	1・2・3・4通		2					○					兼1			
	運動と健康	運動と健康	1前	2					○			1			兼2		
		人間と運動	1前	1							○	1			兼5		
		身体運動	1・2・3後	1							○	1			兼6		
シーズンスポーツ		2・3・4後		1						○	1			兼5	集中		
外国語	外国語Ⅰ(英語)	外国語Ⅰ(英語)	1通											兼11			
		外国語Ⅰ(中国語)	1通											兼1			
		外国語Ⅰ(フランス語)	1通	2					○					兼1			
		外国語Ⅰ(スペイン語)	1通											兼1			
		外国語Ⅰ(日本語)	1通											兼4			
	外国語Ⅱ(英語)	外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通		2				○						兼6		
		外国語Ⅱ(中国語)	2・3・4通		2				○					兼1			
		外国語Ⅱ(フランス語)	2・3・4通		2				○					兼1			
		外国語Ⅱ(スペイン語)	2・3・4通		2				○					兼1			
		外国語Ⅱ(日本語)	2・3・4通		2				○					兼4			
	外国語Ⅲ(英語)	外国語Ⅲ(英語)	2・3・4通		2				○						兼1		
		外国語Ⅲ(中国語)	2・3・4通		2				○					兼1			
		外国語Ⅲ(フランス語)	2・3・4通		2				○					兼1			
		外国語Ⅲ(スペイン語)	2・3・4通		2				○					兼1			
		外国語Ⅲ(日本語)	2・3・4通		2				○					兼3			
	外国語Ⅳ(英語)	外国語Ⅳ(英語)	2・3・4通		2				○						兼1		
		外国語Ⅳ(中国語)	2・3・4通		2				○					兼1			
		外国語Ⅳ(フランス語)	2・3・4通		2				○					兼1			
		外国語Ⅳ(スペイン語)	2・3・4通		2				○					兼1			
		外国語Ⅳ(日本語)	2・3・4通		2				○					兼3			
情報処理基礎	情報基礎論	1前	2					○						兼1			
	情報処理演習Ⅰ	1前	1						○		1			兼1			
	情報処理演習Ⅱ	1後	1						○					兼2			
キャリア教育	キャリアサポート	2・3前・後		2				○						兼1			
	自主社会活動	1・2・3・4前・後		1					○					兼1			
	小計(49科目)	—	12	70	0			—			5	3	3	0	0	兼55	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	生涯発達科目	心理学概論	1前	2			○			2						
		発達心理学概論	1後	2			○			1						
		乳幼児期の心理学	2前	2			○			1						
		児童期の心理学	2前	2			○					1				
		青年期の心理学	2前	2			○				1	1				
		中高年期の心理学	3前	2			○									兼 1
		母子関係論	3後	2			○			1						
		ライフサイクル論	3・4後		2		○			1						
		文化と発達	3・4前		2		○			1						
		発達心理学特講	3・4後		2		○			3	1					
	心理臨床科目	臨床心理学概論	1後	2			○				1					
		発達臨床心理学	2前	2			○			1						
		カウンセリング基礎Ⅰ(理論)	1後	2			○			1						
		カウンセリング基礎Ⅱ(技法)	2・3前		2		○			1						
		精神保健概論	2・3後		2		○									兼 1
		幼児期の心理臨床	2・3後		2		○			1						
		児童期の心理臨床	2・3後		2		○			1						
		青年期の心理臨床	2・3後		2		○				1					
		中高年期の心理臨床	3・4後		2		○									兼 1
		障害者の心理学	3・4前		2		○									兼 1
		障害者の発達支援	3・4後		2		○									兼 1
		心理療法	3・4前		2		○			1						
		発達臨床フィールドワーク	3・4後		2		○			1						
	研究法・実習科目	心理学入門演習	2前	1				○		4						
		人間発達演習	3通	2				○		5	3	3				
		発達心理学外書講読	3・4前		2		○			1						
		心理学方法論	2後	2			○				1					
		心理統計法	1前	2			○			1						
		心理学情報処理法	1後	2			○				1					
		心理学基礎実験	1後	1					○	2	3	2				
		心理検査法基礎	2前	2			○			4	1	2				
		データ解析法	2・3後		2		○				1					
		心理学実験実習	2・3後		2				○		1					
		社会調査法	2・3前		2		○				1	1				
		心理検査法応用	2・3後		2		○				1					
		行動観察法	2・3後		2		○			1						
		カウンセリング技法入門	3・4前		2		○				1					
		発達・教育相談	3・4後		2		○						1			
		インターンシップ	2・3・4前・後		2				○	1						
	発達支援活動	2・3・4後		2				○	1							
	社会科目	社会心理学概論	1後	2			○					1				
		コミュニケーションの心理学	1・2・3後		2		○			1						
対人社会心理学		2・3・4前		2		○									兼 1	
人間関係の心理学		2・3・4後		2		○				1						
グループダイナミクス		3・4前		2		○				1						
産業・組織心理学		3・4前		2		○				1						
キャリア心理学		3・4後		2		○					1					
消費行動の心理学		3・4後		2		○					1					
職場のメンタルヘルス		3・4前		2		○				1						
生活科目	家族心理学	3・4前		2		○									兼 1	
	認知心理学	2・3・4後		2		○			1							
	性格心理学	1・2・3後		2		○					1					
	食の心理学	2・3・4前		2		○									兼 1	
	身体運動の心理学	2・3・4前		2		○				1						
	健康心理学	3・4後		2		○									兼 1	
	創造性の心理学	3・4前		2		○									兼 1	

教 育 課 程 等 の 概 要

(人間生活学部 食物栄養学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
初年次ゼミナール	入門ゼミナール	1前	1					○			11	3	1				
	読書入門	1後	1					○			11	3	1				
十文字学	A 女性を学ぶ	女性を学ぶ	1・2・3・4前・後		2			○								兼 6	オムニバス
		女性とメディア	1・2・3・4後		2			○								兼 1	
		女性としごと	1・2・3・4前		2			○								兼 2	
		女性のからだと心	1・2・3・4前		2			○								兼 1	
		文学と女性	1・2・3・4後		2			○								兼 2	
		女性の社会参画の国際比較	1・2・3・4後		2			○								兼 1	
	B 地域・社会を学ぶ	新座から学ぶ	1・2・3・4前		2			○								兼 3	オムニバス
		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後		2			○								兼 3	
		現代社会を考える	1・2・3・4前		2			○								兼 4	
		グローバリゼーションと社会	1・2・3・4後		2			○								兼 2	オムニバス
	C 人間・環境を学ぶ	社会の仕組みの理解	1・2・3・4後		2			○								兼 2	
		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後		2			○								兼 3	
		若者と精神保健	1・2・3・4後		2			○								兼 1	
		物質のなりたち	1・2・3・4前		2			○								兼 1	
	D 総合	地球と環境	1・2・3・4後		2			○								兼 1	
生命と生態系		1・2・3・4前		2			○								兼 1		
総合科目		1・2・3・4前・後		2			○								兼 1		
保健体育	総合ゼミ	1・2・3・4通		2				○							兼 1		
	運動と健康	1前	2					○							兼 3		
	人間と運動	1前	1							○					兼 6		
	身体運動	1・2・3後	1							○					兼 7		
共通科目	シーズンスポーツ	2・3・4後		1						○					兼 6	集中	
	外国語																
外国語	外国語 I (英語)	1通													兼 11		
	外国語 I (中国語)	1通													兼 1		
	外国語 I (フランス語)	1通	2					○							兼 1		
	外国語 I (スペイン語)	1通													兼 1		
	外国語 I (日本語)	1通													兼 4		
	外国語 II (英語)	2・3・4通		2				○							兼 6		
	外国語 II (中国語)	2・3・4通		2				○							兼 1		
	外国語 II (フランス語)	2・3・4通		2				○							兼 1		
	外国語 II (スペイン語)	2・3・4通		2				○							兼 1		
	外国語 II (日本語)	2・3・4通		2				○							兼 4		
	外国語 III (英語)	2・3・4通		2				○							兼 1		
	外国語 III (中国語)	2・3・4通		2				○							兼 1		
	外国語 III (フランス語)	2・3・4通		2				○							兼 1		
	外国語 III (スペイン語)	2・3・4通		2				○							兼 1		
	外国語 III (日本語)	2・3・4通		2				○							兼 3		
	外国語 IV (英語)	2・3・4通		2				○							兼 1		
外国語 IV (中国語)	2・3・4通		2				○							兼 1			
外国語 IV (フランス語)	2・3・4通		2				○							兼 1			
外国語 IV (スペイン語)	2・3・4通		2				○							兼 1			
外国語 IV (日本語)	2・3・4通		2				○							兼 3			
情報処理基礎	情報基礎論	1前	2					○							兼 1		
	情報処理演習 I	1前	1							○					兼 3		
	情報処理演習 II	1後	1							○					兼 3		
キャリア教育	キャリアサポート	2・3前・後		2				○							兼 1		
	自主社会活動	1・2・3・4前・後		1						○					兼 1		
	小計 (49科目)	—	12	70	0			—			11	3	1	0	0	兼 59	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	社会・環境と健康	健康管理概論	3前		2		○			1						※
		公衆衛生学	1前	2			○			1						※
		公衆衛生学実験	1後		1				○	1				1		※
		健康情報処理実習	2前	1					○	1				1		※
		社会福祉概論	4後		2			○							1	※
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学	1後	2				○		1						※
		解剖生理学実験	2前		1				○	1			1			※
		運動生理学	3前		2			○		1						※
		人間生物化学	1後	2				○							1	※
		人間生物化学実験	2後		1				○				1			※
		人間生活生理学	3前		2			○		1						※
		医学概論	2前	2				○		1						※
		病態生理学	2後		2			○		1						※
		系統別疾病学	3後		2			○		1						※
		病原物質・微生物学	3前		2			○							1	※
	微生物学実験	3後		1					○				1		※	
	食べ物と健康	食物栄養学概論	1後		2			○			1					※ オムニバス
		食品学Ⅰ	1前	2				○		1						※
		食品学Ⅱ	1後	2				○		1						※
		食品化学	2後		2			○		1						※
		食品化学実験	1後		1					1			1			※
		食品加工学	2前		1			○		1						※
		食品加工学実習	2前		1					1			1			※
		栄養化学	3前		2			○							1	※
		調理学	1前	2				○			1					※
		調理学実習Ⅰ	1前	1							1			2		※
		調理学実習Ⅱ	1後	1							1			2		※
		調理学実習Ⅲ(実験を含む)	2前		1					1	1			2		※
		調理学実習Ⅳ	3後		1									1		※
		食品衛生学	1後		2			○		1						※
	食品衛生学実験	2前		1					1				1		※	
	基礎栄養学	基礎栄養学	1前	2				○							1	※
		基礎栄養学実験	1前		1								1			※
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	2前	2				○		1						※
		応用栄養学Ⅱ	2後		2			○		1						※
		応用栄養学Ⅲ	3後		2			○		1						※
応用栄養学実習		3前		1					1			1			※	
栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	2前	2				○				1				※	
	栄養教育論Ⅱ	2後		2			○			1					※	
	栄養教育論実習Ⅰ	2後		1						1			1		※	
	栄養教育論実習Ⅱ	4前		1						1			1		※	
	カウンセリング論(演習を含む)	4前		2			○							1	※	
臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	2前	2				○			1					※	
	臨床栄養学Ⅱ	2後		2			○		1						※	
	臨床栄養学Ⅲ	3前		2			○		1						※	
	臨床栄養学Ⅳ	3後		2			○			1					※	
	臨床栄養学実習Ⅰ	3前		1					1				1		※	
	臨床栄養学実習Ⅱ	3後		1						1			1		※	
公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	3前	2				○		1						※	
	公衆栄養学Ⅱ	3後		2			○		1				1		※	
	公衆栄養学実習	3後		1					1			1			※	
給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ	2前	2				○		1						※	
	給食経営管理論Ⅱ	2後		2			○		1						※	
	給食経営管理論実習	2後		1					1	1			2		※	
総合演習	総合演習Ⅰ	3前	1						3	2	1				※	
	総合演習Ⅱ	3・4通		2					3	2	1				※ オムニバス	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	臨床実習	臨床栄養臨床実習Ⅰ	3・4後・前		1				○	1	1			1	集中
		臨床栄養臨床実習Ⅱ	3・4後・前		1				○	1	1			1	集中
		公衆栄養臨床実習	4通		1				○	1				1	集中
		給食経営管理臨床実習	3通		1				○	1	1			1	集中
		給食運営臨床実習	3通		1				○	1		1		1	※集中
	食物栄養関連科目	食育論	2後		2				○	1					兼1
		食文化人類学	2後		2				○						兼1
		食と環境	4前		2				○	1					兼1
		食物史	1後		2				○						兼1
		食生活論	3前		2				○						兼1
		食品機能論	3後		2				○	1					兼1
		食のリスクアナリシス論	4前		2				○	1					兼2
		食薬理学	4前		2				○						兼2
		人間生命科学	2後		2				○	1					
		人間栄養学概論	1前		2				○	1					
		分子栄養学	3後		2				○	1					
		生物有機化学	1後		2				○	1					
		健康科学概論	1後		2				○	1					
		保健指導カウンセリング論(演習を含む)	4後		2				○			1			
		実践臨床カウンセリング論(演習を含む)	4前		2				○		1				
	World of the Food and Nutrition	3後		2				○						兼1	
	食物栄養学演習	4通		2				○	10	3	1			兼1	
	資格に関する科目	フードスペシャリスト論	4前			2			○						兼1
		食品の官能評価・鑑別論	3後			2			○						兼1
		食料経済(食品流通経済を含む)	2後			2			○						兼1
		食品商品学	4前			2			○						兼1
		フードコーディネーター論	4前			2			○						兼1
		生涯発達人間学	1・2・3後			2			○						兼1
		エアロビック運動Ⅰ(水泳・水中運動)	2前			1			○						兼3
		エアロビック運動Ⅱ(エアロビックダンス)	2後			1			○						兼1
		エアロビック運動Ⅲ(ジョギング・ウォーキング)	3前			1			○						兼3
		健康運動指導実習	3前			1			○	1		1			兼1
		安全・救急法演習	2前			1			○						兼1
インダストリアルハイジーン論Ⅰ		3後			2			○	1					兼1	
インダストリアルハイジーン論Ⅱ		4前			2			○	1					兼1	
衛生行政Ⅰ	4前			2			○						兼1		
衛生行政Ⅱ	4後			2			○						兼1		
小計(93科目)			30	99	25				12	3	1	3	4	兼21	
卒業研究	4通		4					○	11	3	1				
小計(1科目)	—		4	0	0			—	11	3	1	0	0	0	
合計(143科目)	—		46	169	25			—	12	3	1	3	4	兼76	
学位又は称号	学士(栄養学)		学位又は学科の分野				家政関係								
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
<p>共通科目から、「初年次ゼミナール」2科目2単位、「十文字学」から6単位以上(但し、A領域1科目2単位、B領域又はC領域のいずれか1科目2単位を必修)、「保健体育」から3科目4単位、「外国語」の外国語Ⅰ(英語・中国語・フランス語・スペイン語・日本語(但し日本語を母語としない者のみ)より1つの外国語を選択)から1科目2単位、「情報処理基礎」から3科目4単位を必修とし、必修科目12単位を含む18単位以上を履修する。</p> <p>専門科目から、卒業研究を含めた必修科目34単位を含み98単位以上を履修する。</p> <p>その他、「共通科目」及び自学科の「専門科目」に加え、他学科の「専門科目」(同一開講科目として自学科の専門科目として認定しているものを除く)を自由選択科目として8単位以上を履修し、合計124単位以上を履修することを卒業要件とする。</p> <p>備考※印は選択科目であるが、管理栄養士国家試験受験資格を取得するためには、すべて履修しなければならない。さらに、「臨床栄養臨床実習Ⅰ」「臨床栄養臨床実習Ⅱ」「公衆栄養臨床実習」「給食経営管理臨床実習」から3科目3単位以上を履修する。</p>						1学年の学期区分		2学期							
						1学期の授業期間		15週							
						1時限の授業時間		90分							

別記様式第2号 (その2の1)

教育課程等の概要

(人間生活学部 人間福祉学科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
初年次ゼミナール	入門ゼミナール	1前	1				○		4	2	3					
	読書入門	1後	1				○		4	2	3					
十文字学	A 女性を学ぶ	女性を学ぶ	1・2・3・4前・後		2		○			2					兼 4	オムニバス
		女性とメディア	1・2・3・4後		2		○								兼 1	
		女性としごと	1・2・3・4前		2		○			1					兼 1	
		女性のからだと心	1・2・3・4前		2		○								兼 1	
		文学と女性	1・2・3・4後		2		○								兼 2	
		女性の社会参画の国際比較	1・2・3・4後		2		○								兼 1	
	B 地域・社会を学ぶ	新座から学ぶ	1・2・3・4前		2		○			1					兼 3	オムニバス
		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後		2		○								兼 2	
		現代社会を考える	1・2・3・4前		2		○								兼 4	
		グローバル化と社会	1・2・3・4後		2		○								兼 2	オムニバス
	C 人間・環境を学ぶ	社会の仕組みの理解	1・2・3・4後		2		○								兼 2	
		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後		2		○								兼 3	
		若者と精神保健	1・2・3・4後		2		○								兼 1	
物質のなりたち		1・2・3・4前		2		○								兼 1		
D 総合	地球と環境	1・2・3・4後		2		○								兼 1		
	生命と生態系	1・2・3・4前		2		○								兼 1		
保健体育	総合科目	1・2・3・4前・後		2		○								兼 1		
	総合ゼミ	1・2・3・4通		2			○							兼 1		
	運動と健康	1前	2			○								兼 3		
	人間と運動	1前	1					○						兼 6		
共通科目	身体運動	1・2・3後	1					○						兼 7		
	シーズンスポーツ	2・3・4後		1				○						兼 6	集中	
	外国語 I	外国語 I (英語)	1通												兼 11	
		外国語 I (中国語)	1通												兼 1	
		外国語 I (フランス語)	1通	2				○							兼 1	
		外国語 I (スペイン語)	1通												兼 1	
		外国語 I (日本語)	1通												兼 4	
	外国語 II	外国語 II (英語)	2・3・4通		2			○							兼 6	
		外国語 II (中国語)	2・3・4通		2			○							兼 1	
		外国語 II (フランス語)	2・3・4通		2			○							兼 1	
		外国語 II (スペイン語)	2・3・4通		2			○							兼 1	
		外国語 II (日本語)	2・3・4通		2			○							兼 4	
	外国語 III	外国語 III (英語)	2・3・4通		2			○							兼 1	
		外国語 III (中国語)	2・3・4通		2			○							兼 1	
		外国語 III (フランス語)	2・3・4通		2			○							兼 1	
		外国語 III (スペイン語)	2・3・4通		2			○							兼 1	
外国語 III (日本語)		2・3・4通		2			○							兼 3		
外国語 IV	外国語 IV (英語)	2・3・4通		2			○							兼 1		
	外国語 IV (中国語)	2・3・4通		2			○							兼 1		
	外国語 IV (フランス語)	2・3・4通		2			○							兼 1		
	外国語 IV (スペイン語)	2・3・4通		2			○							兼 1		
	外国語 IV (日本語)	2・3・4通		2			○							兼 3		
情報処理基礎	情報基礎論	1前	2			○								兼 1		
	情報処理演習 I	1前	1				○							兼 2		
	情報処理演習 II	1後	1				○							兼 2		
キャリア教育	キャリアサポート	2・3前・後		2		○								兼 1		
	自主社会活動	1・2・3・4前・後		1			○							兼 1		
小計 (49科目)		—	12	70	0	—	—	—	4	2	3	0	0	兼 56	—	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考					
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手						
専門科目	社会福祉基礎科目	社会福祉概論Ⅰ	1前	2			○			1									
		社会福祉概論Ⅱ	1後		2			○			1								
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	2前		2			○										兼 1	
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	2後		2			○											兼 1
		障害者福祉論	2前		2			○					1						
		医学一般	1前		2			○											兼 1
		権利擁護と成年後見制度	3前		2			○											兼 1
		心理学理論と心理的支援	3前		2			○											兼 1
		社会保障論Ⅰ	3前	2				○			1								
		ソーシャルワーク論Ⅰ	1後	2				○			1								
		生活学概論	1・2・3・4後		2			○											兼 1
		社会福祉の歴史	1・2・3・4前		2			○			1								
		養護原理	1・2・3・4前		2			○			1								
		女性と福祉	1・2・3・4後		2			○			1								
	ソーシャルワーク専門科目	ソーシャルワーク論Ⅱ	2前		2			○			1								
		ソーシャルワーク論Ⅲ	2後		2			○				1							
		ソーシャルワーク論Ⅳ	3前		2			○				1							
		ソーシャルワーク論Ⅴ	3後		2			○			1								
		ソーシャルワーク論Ⅵ	4前		2			○			1								
		就労支援サービス論	2後		2			○					1						
		児童・家庭福祉論	2前		2			○			1								
		地域福祉論Ⅰ	2前	2				○			1								
		地域福祉論Ⅱ	2後		2			○			1								
		社会調査の基礎	2前		2			○			1								
		福祉行財政と福祉計画	2後		2			○			1								
		社会理論と社会システム	2後		2			○											兼 1
		公的扶助論	3前	2				○											兼 1
		保健医療サービス論	3前		2			○											兼 1
		社会保障論Ⅱ	3後		2			○			1								
		更生保護制度	3後		2			○			1								
		社会福祉施設経営論	3後		2			○			1								
	相談援助演習Ⅰ	1後		1				○										兼 1	
	相談援助演習Ⅱ	2前		1				○			1							兼 1	
相談援助演習Ⅲ	2後		1				○										兼 1		
相談援助演習Ⅳ	3前		1				○		1								兼 1		
相談援助演習Ⅴ	3後		1				○										兼 1		
ケアワーク専門科目	基礎介護論Ⅰ	1前		2			○					1							
	基礎介護論Ⅱ	1後		2			○					1							
	介護と倫理	2前		2			○											兼 1	
	介護と自立	2後		2			○											兼 1	
	介護と環境	2後		2			○											兼 1	
	介護と地域	3後		2			○											兼 1	
	コミュニケーション技術Ⅰ	1後		1				○				1							
	コミュニケーション技術Ⅱ	2前		1				○				1							
	生活支援技術概論	1前		1				○				1							
	日常生活支援技術Ⅰ	1前		1				○				1							
	日常生活支援技術Ⅱ	1後		1				○				1							
	日常生活支援技術Ⅲ	1後		1				○				1							
	生活環境支援技術	2後		1				○										兼 1	
	家事生活支援技術	2前		1				○										兼 1	
	生活支援技術応用Ⅰ	2前		1				○				1							
生活支援技術応用Ⅱ	2後		1				○				1								
生活支援技術展開Ⅰ	3前		1				○										兼 1		
生活支援技術展開Ⅱ	3前		1				○				1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ケアワーク専門科目	介護過程基礎Ⅰ		2		○					1				
		介護過程基礎Ⅱ	2前	2		○					1				
		介護過程展開Ⅰ	2後	1			○					1			
		介護過程展開Ⅱ	3前	1			○			1					
		介護サービス計画	3後	2			○								兼 1
		発達と老化Ⅰ	1前	2			○								兼 1
		発達と老化Ⅱ	1前	2			○								兼 1
		認知症の理解Ⅰ	2前	2			○								兼 1
		認知症の理解Ⅱ	2後	1				○							兼 1
		障がいの理解Ⅰ	2前	2			○								兼 1
		障がいの理解Ⅱ	2後	2			○								兼 1
		こころとからだのしくみⅠ	2前	2			○				1				
		こころとからだのしくみⅡ	2後	2			○				1				兼 1
	社会福祉実践科目	社会福祉基礎実習	1前		1				○	3	1				集中
		相談援助実習指導Ⅰ	2・3後		1			○		3	1				
		相談援助実習指導Ⅱ	3・4前		1			○		3	1				
		相談援助実習指導Ⅲ	3・4後		1			○		3	1				
		社会福祉実習	3・4通		4				○	3	1				集中
		介護総合演習Ⅰ	1後		1			○			1	3			
		介護総合演習Ⅱ	2後		1			○			1	3			
		介護総合演習Ⅲ	3前		1			○			1	3			
		介護総合演習Ⅳ	3後		1			○			1	3			
		介護実習Ⅰ	1後		2				○		1	3			集中
	介護実習Ⅱ-1	2通		4				○		1	3			集中	
	介護実習Ⅱ-2	3通		4				○		1	3			集中	
	社会福祉展開科目	人間福祉演習	3通	2				○		4	2	3			
		児童・家庭福祉特論	2後		2		○			1					
		社会調査の応用	2後		2		○			1					
		公的扶助特論	3後		2		○								兼 1
		人間福祉特論A(基礎)	4前		2		○			4	1	3			オムニバス
		人間福祉特論B(展開)	4後		2		○			4	2	3			オムニバス
		精神保健福祉論	1・2・3・4後		2		○								兼 1
		ボランティア・コーディネーション	1・2・3・4後		2		○			1					
		市民活動論	1・2・3・4後		2		○			1					
		国際福祉論	3・4後		2		○								兼 1
		ケア論	1・2・3・4前		2		○				1				
		福祉住環境論	1・2・3・4前		2		○								兼 1
		レクリエーション援助法	1・2・3・4前		2		○								兼 1
		介護基礎Ⅰ(入門)	2・3前		2		○					1			
		介護基礎Ⅱ(応用)	2・3後		2		○				1				
	福祉機器論	2・3前		2		○					1				
	ユニバーサルデザイン論	2・3後		2		○								兼 1	
リハビリテーション論	2・3前		2		○								兼 1		
社会福祉関連科目	民法入門	1前		2		○								兼 1	
	家族生活論	2・3・4後		2		○								兼 1	
	生活構造論	2・3・4前		2		○								兼 1	
	家族と労働法	2・3・4後		2		○								兼 1	
	生活と政治行政	2・3・4前・後		2		○								兼 1	
	手話	2・3・4前・後		2		○								兼 1	
	文章表現(発展)	2前		2		○								兼 4	
	言語表現論	1前		2		○								兼 1	
	健康科学概論	1後		2		○								兼 1	
	公衆衛生学	1前		2		○								兼 1	
	乳幼児期の心理学	2前		2		○								兼 1	
	障害者の心理学	3・4前		2		○								兼 1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	社会福祉学	中高年期の心理学	3・4後	2		○									兼 1
		家族心理学	3・4前	2		○									兼 1
		対人社会心理学	2・3・4前	2		○									兼 1
		グループダイナミクス	3・4前	2		○									兼 1
		特別支援教育概論	1後	2		○									兼 2
	小計 (114科目)	—	12	194	0	—			4	2	3	0	0	兼 42	—
	卒業研究	4通	4				○		4	2	3				
	小計 (1科目)	—	4	0	0	—			4	2	3	0	0	0	—
	合計 (164科目)	—	28	264	0	—			4	2	3	0	0	兼 94	—
学位又は称号		学士 (社会福祉学)		学位又は学科の分野			社会学・社会福祉学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
<p>共通科目から、「初年次ゼミナール」2科目2単位、「十文字学」から6単位以上(但し、A領域1科目2単位、B領域又はC領域のいずれか1科目2単位を必修)、「保健体育」から3科目4単位、「外国語」の外国語Ⅰ(英語・中国語・フランス語・スペイン語・日本語(但し日本語を母語としない者のみ)より1つの外国語を選択)から1科目2単位、「情報処理基礎」から3科目4単位を必修とし、必修科目12単位を含む18単位以上を履修する。</p> <p>専門科目から、卒業研究を含めた必修科目16単位を含み98単位以上を履修する。</p> <p>その他、「共通科目」及び自学科の「専門科目」に加え、他学科の「専門科目」(同一開講科目として自学科の専門科目として認定しているものを除く)を自由選択科目として8単位以上を履修し、合計124単位以上を履修することを卒業要件とする。</p>							1学年の学期区分			2学期					
							1学期の授業期間			15週					
							1時限の授業時間			90分					

教 育 課 程 等 の 概 要

(人間生活学部 生活情報学科)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
初年次ゼミナール	入門ゼミナール	1前	1						8	4	1					
	読書入門	1後	1					○	8	4	1					
十文字学	A 女性を学ぶ	女性を学ぶ	1・2・3・4前・後		2			○		2	1	1			兼 2	オムニバス
		女性とメディア	1・2・3・4後		2			○		1					兼 1	
		女性としごと	1・2・3・4前		2			○		1					兼 1	
		女性のからだと心	1・2・3・4前		2			○							兼 1	
		文学と女性	1・2・3・4後		2			○							兼 2	
		女性の社会参画の国際比較	1・2・3・4後		2			○		1						
	B 地域・社会を学ぶ	新座から学ぶ	1・2・3・4前		2			○			1				兼 2	オムニバス
		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後		2			○							兼 3	
		現代社会を考える	1・2・3・4前		2			○			2				兼 2	
		グローバル化と社会	1・2・3・4後		2			○			1				兼 1	オムニバス
	C 人間・環境を学ぶ	社会の仕組みの理解	1・2・3・4後		2			○				1			兼 1	
		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後		2			○							兼 3	
		若者と精神保健	1・2・3・4後		2			○							兼 1	
		物質のなりたち	1・2・3・4前		2			○							兼 1	
D 総合	地球と環境	1・2・3・4後		2			○							兼 1		
	生命と生態系	1・2・3・4前		2			○							兼 1		
保健体育	総合科目	1・2・3・4前・後		2			○							兼 1		
	総合ゼミ	1・2・3・4通		2				○						兼 1		
	運動と健康	1前		2			○							兼 3		
	人間と運動	1前		1										兼 6		
共通科目	身体運動	1・2・3後		1										兼 7		
	シーズンスポーツ	2・3・4後		1										兼 6	集中	
外国語	外国語 I (英語)	1通												兼 11		
	外国語 I (中国語)	1通												兼 1		
	外国語 I (フランス語)	1通	2					○						兼 1		
	外国語 I (スペイン語)	1通												兼 1		
	外国語 I (日本語)	1通												兼 4		
	外国語 II (英語)	2・3・4通		2				○						兼 6		
	外国語 II (中国語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 II (フランス語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 II (スペイン語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 II (日本語)	2・3・4通		2				○						兼 4		
	外国語 III (英語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 III (中国語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 III (フランス語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 III (スペイン語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
	外国語 III (日本語)	2・3・4通		2				○						兼 3		
	外国語 IV (英語)	2・3・4通		2				○						兼 1		
外国語 IV (中国語)	2・3・4通		2				○						兼 1			
外国語 IV (フランス語)	2・3・4通		2				○						兼 1			
外国語 IV (スペイン語)	2・3・4通		2				○						兼 1			
外国語 IV (日本語)	2・3・4通		2				○						兼 3			
情報処理基礎	情報基礎論	1前		2				○		1						
	情報処理演習 I	1前		1				○			1	1		兼 1		
	情報処理演習 II	1後		1				○		1	1			兼 1		
キャリア教育	キャリアサポート	2・3前・後		2				○		1						
	自主社会活動	1・2・3・4前・後		1				○		1						
	小計 (49科目)	—	12	70	0			—	8	4	1	0	0	兼 52	—	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考								
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手									
専門科目	A 豊かな生活力を育てる	民法入門	1前		2		○															
		消費生活と法律	2・3前		2		○															
		生活構造論	2・3前		2		○				1											
		家族生活論	2・3後		2		○				1											
		生活環境論	2・3前		2		○														兼 1	
		グローバル化と生活	2・3後		2		○														兼 1	
		コミュニティビジネス	2・3後		2		○														兼 1	
		NPO活動と組織	2・3前		2		○														兼 1	
		生活経済	2・3前		2		○					1										
		生活と産業	2・3後		2		○					1										
		女性と起業	2・3後		2		○				1											
	家族と労働法	2・3後		2		○						1										
	B キャリアを形成する	社会人基礎力	1後	2			○			1											兼 1	
		インターンシップ入門	2・3前		2		○			1												
		インターンシップ実習	2・3前		2				○	8	4	1									集中	
		ライフコースと生活設計	2・3前		2		○				1											
		ワークライフバランス論	3前		2		○			1												
		問題解決手法	2・3前		2		○															兼 1
		人材育成論	3後		2		○			1												
		キャリアモデルケース研究	2後		2		○			2												
	キャリア開発論	2前		2		○			1													
	C ビジネス社会を生きる	会計学基礎	1前	2			○			1												
		簿記入門	1後	2			○			1												
		簿記基礎	2前		2		○			1												
		簿記初級	2後		2		○			1												
		簿記中級	3前		2		○			1												
		簿記上級	3後		2		○			1												
		マーケティング論	2前		2		○															兼 1
		ブランド戦略	3後		2		○															兼 1
		経営学基礎	1後	2			○			1												
		ビジネス経済学	2前		2		○			1												
		ビジネスと法律	2後		2		○					1										
		企業戦略論	3後		2		○			1												
		企業倫理	3前		2		○															兼 2
		マネープランニング	3前		2		○			1												
	国際経営論	3後		2		○															兼 1	
	株式投資入門	3後		2		○			1													
	D ビジネスで情報を生かす	情報社会論	1後	2			○															兼 1
		企業と情報	2前		2		○			1												
		会計情報システム	3前		2		○			1												
インターネットビジネス		2後		2		○			1													
調査と統計		2前	2			○			1													
社会調査法Ⅰ（量的調査）		2後		2		○			1													
社会調査法Ⅱ（質的調査）		2後		2		○				1												
マーケティングリサーチ		3前		2		○			1													
パソコン活用		1前	2			○			4	2											オムニバス	
ビジネス文書作成		1後		2		○			1												兼 1	
データ活用		2前		2		○				1											兼 1	
ビジネスデータ活用基礎	3前		2		○			1														
ビジネスデータ活用応用	3後		2		○			1														

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	E情報システムを創る	Webページ作成基礎	2前	2			○			1						兼 1
		Webページ作成応用	2後		2			○		1						
		新しいWebページ	3前		2			○		1						
		アニメーション入門	1後		2			○			1					
		アニメーション制作	2前		2			○		1						
		デジタルビデオ編集	3前		2			○								兼 1
		コンピュータミュージック	3後		2			○								兼 1
		デジタル色彩	2前		2			○								兼 1
		コンピュータグラフィックス	2前		2			○		1						
		3次元CG	2後		2			○		1						
		住居デザイン	3後		2			○								兼 1
		データベース入門	2前		2			○		1						
		データベース基礎	2後		2			○		1						
		ネットワーク基礎	2前		2			○		1						
		インターネットとセキュリティ	2後		2			○		1						
		ネットワーク設定	3前		2			○		1						
		サーバ設定	3後		2			○		1						
		ソフトウェア基礎	1前	2				○			1					
		ハードウェア基礎	1後	2				○		1						
		情報数学	2前		2			○			1					
	システム設計入門	2後		2			○								兼 1	
	システム設計基礎	3前		2			○								兼 1	
	プログラミング入門	1前	2				○			1					兼 1	
	プログラミング初級	1後		2			○			1					兼 1	
	プログラミング中級	2前		2			○								兼 1	
	プログラミング上級	2後		2			○			1					兼 1	
	ゲームプログラミング	3前		2			○			1						
Webアプリケーション	3後		2			○								兼 1		
演習	生活情報総合講義	2前	2				○		8	4	1				オムニバス	
	プレゼминаール	2後	2					○	8	4	1				集中	
	演習Ⅰ	3前	2					○	8	4	1				集中	
	演習Ⅱ	3後	2					○	8	4	1				集中	
	小計(82科目)	—	30	134	0		—		8	4	1	0	0	兼 15	—	
	卒業研究	4通	4					○	8	4	1					
	小計(1科目)	—	4	0	0		—		8	4	1	0	0	0	—	
	合計(132科目)	—	46	204	0		—		8	4	1	0	0	兼 65	—	
学位又は称号	学士(社会情報学)		学位又は学科の分野			社会学・社会福祉学関係										
卒業要件及び履修方法						授業期間等										
共通科目から、「初年次ゼミナール」2科目2単位、「十文字学」から6単位以上(但し、A領域1科目2単位、B領域又はC領域のいずれか1科目2単位を必修)、「保健体育」から3科目4単位、「外国語」の外国語Ⅰ(英語・中国語・フランス語・スペイン語・日本語(但し日本語を母語としない者のみ)より1つの外国語を選択)から1科目2単位、「情報処理基礎」から3科目4単位を必修とし、必修科目12単位を含む18単位以上を履修する。 専門科目から、必修科目30単位のほか、B、C、D群の選択科目から20科目40単位以上、又はB、D、E群の選択科目から20科目40単位以上を履修し、卒業研究を含め専門科目で98単位以上を履修する。 その他、「共通科目」及び自学科の「専門科目」に加え、他学科の「専門科目」(同一開講科目として自学科の専門科目として認定しているものを除く)を自由選択科目として8単位以上を履修し、合計124単位以上を履修することを卒業要件とする。						1学年の学期区分		2学期								
						1学期の授業期間		15週								
						1時限の授業時間		90分								

別記様式第2号(その2の1)

教育課程等の概要															
(人間生活学部 メディアコミュニケーション学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必須	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次ゼミナール	入門ゼミナール	1前	1						6	7					
	読書入門	1後	1					○	6	7					
十文字学	A 女性を学ぶ	女性を学ぶ	1・2・3・4前・後		2			○						兼6	オムニバス
		女性とメディア	1・2・3・4後		2			○						兼1	
		女性としごと	1・2・3・4前		2			○						兼2	
		女性のからだと心	1・2・3・4前		2			○						兼1	
		文学と女性	1・2・3・4後		2			○						兼2	
		女性の社会参画の国際比較	1・2・3・4後		2			○						兼1	
	B 地域・社会を学ぶ	新座から学ぶ	1・2・3・4前		2			○			1			兼2	オムニバス
		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後		2			○						兼3	
		現代社会を考える	1・2・3・4前		2			○						兼4	
		グローバリゼーションと社会	1・2・3・4後		2			○		1				兼1	オムニバス
		社会の仕組みの理解	1・2・3・4後		2			○			1			兼1	
	C 人間・環境を学ぶ	芸術と人間理解	1・2・3・4前・後		2			○						兼3	
		若者と精神保健	1・2・3・4後		2			○						兼1	
		物質のなりたち	1・2・3・4前		2			○			1				
地球と環境		1・2・3・4後		2			○			1					
生命と生態系		1・2・3・4前		2			○						兼1		
D 総合	総合科目	1・2・3・4前・後		2			○		1						
	総合ゼミ	1・2・3・4通		2				○	1						
保健体育	運動と健康	1前		2			○			1			兼2		
	人間と運動	1前		1						1			兼5		
	身体運動	1・2・3後		1						1			兼6		
	シーズンスポーツ	2・3・4後		1						1			兼5	集中	
共通科目	外国語 I	外国語 I (英語)	1通						1	2				兼8	
		外国語 I (中国語)	1通											兼1	
		外国語 I (フランス語)	1通	2				○						兼1	
		外国語 I (スペイン語)	1通											兼1	
		外国語 I (日本語)	1通						1					兼3	
	外国語 II	外国語 II (英語)	2・3・4通		2			○						兼6	
		外国語 II (中国語)	2・3・4通		2			○						兼1	
		外国語 II (フランス語)	2・3・4通		2			○						兼1	
		外国語 II (スペイン語)	2・3・4通		2			○						兼1	
		外国語 II (日本語)	2・3・4通		2			○		1				兼3	
	外国語 III	外国語 III (英語)	2・3・4通		2			○						兼1	
		外国語 III (中国語)	2・3・4通		2			○						兼1	
		外国語 III (フランス語)	2・3・4通		2			○						兼1	
		外国語 III (スペイン語)	2・3・4通		2			○						兼1	
		外国語 III (日本語)	2・3・4通		2			○		1				兼2	
	外国語 IV	外国語 IV (英語)	2・3・4通		2			○						兼1	
		外国語 IV (中国語)	2・3・4通		2			○						兼1	
		外国語 IV (フランス語)	2・3・4通		2			○						兼1	
		外国語 IV (スペイン語)	2・3・4通		2			○						兼1	
		外国語 IV (日本語)	2・3・4通		2			○		1				兼2	
情報処理基礎	情報基礎論	1前		2			○			1					
	情報処理演習 I	1前		1				○	1	1			兼1		
	情報処理演習 II	1後		1				○	1	1			兼1		
キャリア教育	キャリアサポート	2・3前・後		2			○						兼1		
	自主社会活動	1・2・3・4前・後		1				○					兼1		
	小計(49科目)	—		12	70	0		—	7	7	0	0	0	兼47	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必須	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	ランゲージスキル	英語学	2・3・4後	2			○				1					
		英語音声学	2・3・4後	2			○				1					
		日常英会話入門	1・2・3前・後	2			○									兼 3
		日常英会話	1・2・3前・後	2			○									兼 2
		メディア英語	1・2・3前・後	2			○			1	2					兼 6
		ライティング	1・2・3前・後	2			○			1	2					兼 6
		ビジネス英語	1・2・3前・後	2			○			1	2					兼 6
		アドバンスト・リスニング	2・3・4前・後	2			○			1	2					兼 6
		アドバンスト・リーディング	2・3・4前・後	2			○			1	2					兼 6
	英語資格試験準備講座	1・2・3前・後	2			○			1	2					兼 6	
	キャリア支援	インターンシップ入門	2・3・4前・後	2			○			6	7					
		インターンシップ実習	2・3・4前・後	2					○	6	7					集中
		社会人基礎力	2・3・4前・後	2			○			6	7					
演習	演習Ⅰ	3前	2				○		6	7						
	演習Ⅱ	3後	2				○		6	7						
	小計 (77科目)	—	22	132	0		—		6	7	0	0	0	兼 25	—	
	卒業研究	4通	4				○		6	7						
	小計 (1科目)	—	4	0	0		—		6	7	0	0	0	0	—	
	合計 (127科目)	—	38	202	0		—		7	7	0	0	0	兼 65	—	
学位又は称号	学士 (コミュニケーション学)	学位又は学科の分野			社会学・社会福祉学関係											
卒業要件及び履修方法						授業期間等										
<p>共通科目から、「初年次ゼミナール」2科目2単位、「十文字学」から6単位以上(但し、A領域1科目2単位、B領域又はC領域のいずれか1科目2単位を必修)、「保健体育」から3科目4単位、「外国語」の外国語Ⅰ(英語・中国語・フランス語・スペイン語・日本語(但し日本語を母語としない者のみ)より1つの外国語を選択)から1科目2単位、「情報処理基礎」から3科目4単位を必修とし、必修科目12単位を含む18単位以上を履修する。</p> <p>専門科目から、卒業研究を含めた必修科目26単位を含み、98単位以上を履修する。なお、科目区分「メディア」のうち「メディア文化論」「放送概論」「環境と社会」「アジア入門」「エンターテインメントメディア論」「マンガ・アニメ論」から3科目6単位、科目区分「コミュニケーション」のうち「ことばのしくみ」「ことばと文化」「異文化理解」「異文化コミュニケーション」「サブカルチャー論」「音声表現論」から3科目6単位を履修する。</p> <p>その他、「共通科目」及び自学科の「専門科目」に加え、他学科の「専門科目」(同一開講科目として自学科の専門科目として認定しているものを除く)を自由選択科目として8単位以上を履修し、合計124単位以上を履修することを卒業要件とする。</p>						1学年の学期区分			2学期							
						1学期の授業期間			15週							
						1時限の授業時間			90分							

設置の趣旨等を記載した書類

ア 設置の趣旨及び必要性

a) 建学の精神・理念

本学は大正 11 年の学園の創立以来の校歌にも歌われているように「身をきたへ 心きたへて 世の中に たちてかひある 人と生きなむ」という建学の精神を現在まで受け継ぎ、強健な身体と確固たる精神及び自由に活用できる実用的知識を持ち、社会に役立つ有用な女性の育成を教育の基本理念として、社会の要請に応える人材の育成に努力してきた。この間特に「食」「育」「福祉」「発達」「情報」「コミュニケーション」を主要領域として教育研究活動を展開し、社会及び家庭に有用な人材を送り出してきたところである。このような設置理念とそれに基づく教育研究活動は、中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」（平成 17 年 1 月）が提示している大学の「機能別分化」における「幅広い職業人養成」に合致するものとして、今後とも本学の設置目的及び教育目標とするものである。

b) 教育研究上の目的

新学部の教育研究の中核には「生活学」と「女性学」が置かれ、その具体的課題を人文、社会、自然の諸科学の成果を応用して追及するとともに、生活諸課題を合理的に解決し、発展させるための担い手を育成することを目標としている。

生活とは根源的に言えば人類の種の持続を直接支える文化の一形態であり、その研究は常に総合性が求められ、その教育には諸科学の統合が求められている。さらに現代社会は国際化、情報化の波に洗われ、また少子化、高齢化の傾向を突出させる変化に見舞われている。しかもこうした動向は今後も激化し、金融危機に端を発した経済危機は社会生活の全般に及んでいる。

このような大きな変動に直面して、本学は、教育研究を強固に、確実にしていくために、前述の主要領域の教育を個々に展開するのではなく、これまで以上に総合化、統合化を目指す必要があると考えている。このためこれまで 2 学部 6 学科 1 短期大学部、1 留学生別科の体制であったところを、社会情報学部と人間生活学部を廃止し、新たに人間生活学部を設置、1 学部 7 学科 1 短期大学部、1 留学生別科に再編するとともに、さらに教育機能を重層的にも編成することによって教育研究の総合化、統合化を進め、これまで以上に優位な人材を育成する体制を整えようとするものである。

c) どのような人材を養成するか

現行の社会情報学部は主として現代社会の諸領域における情報の意義・役割、コミュニケーションのあり方、女性の社会的役割等の課題について、人文科学、社会科学、情報科学の成果を応用して研究し、教育に当たっている。一方、人間生活学部においては個人、家庭、社会の各領域における生活の具体層について、人文科学、社会科学、自然科学（医学・保健学等）の成果の応用により、教育研究を行っている。両学部は教育研究の対象、援用する学問成果においては若干の相違はあるとしても、共に家政系・教育系の短期大学を基礎として設立されている経緯もあり、両者間の垣根、壁は名称の違いほどに高いものではなく、人間及び社会について「生活」を切り口とする点において共通する多くのものをもっている。

学部統合によって本学の教育目標、教育体制を「生活系」に焦点化し、女子高校生及びその保護者にその魅力をよりアピールすることが出来るようになる。それは本学の教育伝統をさらに明確にする役割も担う。

従来人間生活学部の教育内容の一部は旧来の「家政系」と受け取られる傾きもあったが、統合により社会情報学部がもつ教育研究体制とその教育内容とが接合されることによって「家政系」とは一線を画する新しい「生活系」の教育体制及び教育内容を実現できるようになる。一方、社会情報学部はその教育内容の一部が「数理系」と受け取られる傾きをもち、女子高校生から避けられがちな面があったが、人間生活学部の教育内容と接合されることによって、その役割が人間の生活の合理的把握と進歩的改善・改革を目指すものであることを訴えやすくなる。このように、統合により現在の両学部のそれぞれがもつ長所をさらに伸ばすことが出来る。

こうした新編成による教育研究活動によって、後期中等教育を修了した直後の女子学生に専門の知識、技術を修得させるのみならず、自ら学ぶ意欲と力を育て、21世紀を生きる女性としての生きる力を育てる。

こうした全体構想は、下記のような学科構成によって、具体的に展開される。

幼児教育学科

幼児教育学科は、新しい時代の要請に対応し、自立的に社会に貢献し得る、かつ人間性豊かな人材の養成を行う。

幼児教育の分野では、保育者に求められる資質が高度化・多様化してきている。保育者の本来の職分である乳幼児を保育することに加え、親に対する相談等の子育て支援や地域の多様な保育関連機関との連携、子育て支援ネットワーク等の推進においても積極的役割を担うことが求められているのである。対子どもだけでなく、青年、親、高齢者などさまざまな世代や立場の人々、異なる文化背景をもつ人々と関わりあい、一人一人の豊かな生き方（Well Being）と平和な社会の構築に寄与していくことが新しい保護者の役割と考えられる。時代と社会文化状況の変化に伴い、「保育」のもつ意味が大きく変わろうとしている時と言えよう。従って、本学科においても、人間理解力と関係発展力に富んだ創造的保育実践力のある保育者、地域社会の中で様々な役割をもって人間の成長発達を支え、未来を切り拓く人材の育成を教育の中心に掲げるものである。

児童教育学科

児童教育学科は、小学校教諭の育成を中心にする。これからの小学校教員には、幼稚園や保育所、中学校との間で相互に幼児児童生徒の実態や指導の在り方などについて理解を深めることが求められる。学生の希望により、幼稚園一種免許状または中学校（社会、英語）免許状または特別支援教員免許状を副免として取得できる教育体制を整備する。それによって積極的に幼小連携や小中一貫教育に対応できる力を持ち、特別支援教育への理解を深める積極性を培い、広い視野に立って教育活動の改善充実を図っていく人材を育成する。

社会が求める教師像は、①教育に対する情熱と使命感を持った教師、②豊かな人間性と深い思いやりのある教師、③子どものよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教師、④組織人としての責任感、協調性を有し、互いに高めあう教師である。これらの必要な資質能力を待つために、本学科は、「強く、そしてしなやかな人間力を備えた小学校教員の育成」をテーマに、

「21世紀の学びを創造する小学校教員の養成」を学びの特色にし、①人間探求としての表現力、②他者と共同できる対話力、③前向きに問題を解決する行動力、④自信をもった実践的な指導力の4点を具体的な姿として示し、指導していく。

人間発達心理学科

人間発達心理学科は、社会構造の複雑化や生活様式の多様化が進む現代社会において、自立的に、社会の要請に応え人々の生活に貢献し得る、人間性豊かな人材（女性）の養成を行う。

さらに、人間生活学部における人間発達心理学という特色を生かして、本学科における人材育成の方針は、人間の生涯発達に対する深い理解と、人間生活に対する幅広い認識に基づいて、カウンセリングマインドをもった専門的な人材の育成を行うこととする。

特に、以下にあげる事項を重視しつつ教学を展開して人材の育成を行う。

- ①人間、及び人間の発達に対する多面的な見方を養う
- ②共感的理解や対人コミュニケーション能力を養う
- ③生活支援能力や身体のケア能力を養う

食物栄養学科

食物栄養学科は、「科学的な根拠に基づく、見識、企画力・指導能力、実践力を備えた感性豊かな食と栄養と健康の専門家となることのできる人材を養成することを教育研究上の目的とする」と定め、人間栄養学を基盤とする食・栄養の専門知識・技能を有し、個人対応型栄養指導・保健指導が適切に実践でき、健康や食生活の問題に的確に対応できる人材の育成を目指す。

食物栄養学分野では、生活習慣病・高齢化対策等の健康づくり等において人間関係力を発揮しつつ、科学的根拠に基づいて適切な食品素材・食事・食生活を提案できる基礎能力を育成する。すなわち、適切な栄養指導・保健指導を行うためには、食物や食事の特性を熟知し、個人の身体状況や栄養状態等を総合的に評価・判定し、カウンセリング、行動療法などの高度な手法により、適切な食事・運動を含めた食生活を具体的に提案し、対象者の行動変容を支援できる能力を養う。

人間福祉学科

人間福祉学科は、共生社会の実現を目指し、社会福祉に関するニーズを持った人々の尊厳を重んじ、その有する能力・適性に応じ、具体的な日常生活を支援するための相談援助活動及び介護等について適切に対応できる人材の育成が目的である。多様な職域で他職種と連携しつつ総合力とリーダーシップを発揮できる国家資格を持った福祉専門職の養成を旨すとともに、生活基盤である地域社会及び家族の一員として自立した女性を育成する。

これらの目標を実現するため、社会福祉士および介護福祉士の受験資格取得に必要な専門科目及び関連科目を設置し、特に演習や実習を通して専門職としての態度や実践力を涵養する。平成21年度には社会福祉士及び介護福祉士法改正に対応した新カリキュラムを導入したが、平成23年度以降は、ますます複雑化、多様化する社会生活環境や価値観に対応できる福祉専門職を養成するため、学際的科目群の拡充に努める。

生活情報学科

生活情報学科は、女性の職業進出が進む現代社会において、生活と仕事にかかわり女性が主体的に生涯にわたる生活設計を実現するため、問題解決技法、社会問題、キャリアデザイン、ソーシャルスキルなどの学習を通じて、自ら学び、考え、ライフ・キャリアプランをつくり行動できる自立能力を育成する。この能力を基盤として、今日の急激に変化する社会や情報化社会に対応するために現代社会で必須とされるビジネスと情報に関する知識を学習する。ビジネスに関しては、簿記・会計、女性と起業、インターネットビジネス、マーケティングなどの知識・能力を幅広く学び、社会・企業の動きを捉える能力を育成する。情報に関しては、Webデザイン、マルチメディアデザイン、情報システム、プログラミングなどの知識・能力を幅広く学び、情報活用能力を育成し、さらにこれらの総合的な能力を育成する。

メディアコミュニケーション学科

メディアコミュニケーション学科は、情報社会において生きる力の土台となるコミュニケーション能力とメディアリテラシー（情報の読み書き能力と発信力、判断力）の育成を目指す。円滑なコミュニケーションの基礎となる「ことば」を使った自己表現については、初年次からのワークショップ型の学習により、表現理論や作法を身につけさせる。その上で、音声、映像、コンピュータなどメディアを使った表現技法を実践的に学ぶ。学生による作品の企画、制作、発表を重視する。それに並行して、現代社会の諸問題の理解を深めるため、歴史的、比較文化的な視点から多角的に社会を検証する科目を幅広く用意する。とくにマスコミで伝えられる情報については、客観的に読み解く判断力を身につけるために、マスメディアによる情報発信の仕組みと特性が理解できるような科目を履修し、メディアリテラシーを高める。これらの科目を総合的に履修することによって、情報を正確に受信し理解し判断する能力、その様々な情報を活用して新たな情報を創出し発信する能力を備えた社会人としての基礎力を養成する。

イ 学部・学科等の特色

幼児教育学科

幼児教育学科の教育目標は、次に示す4つのフェーズからなる対象理解である。①実践・研究対象となる子ども理解、②学ぶ存在としての自己理解、③力動的相互関係性への理解、④人間生活の基盤となる環境（家庭・地域・社会・文化・自然）理解。

教育方法としては、①感性レベル（感じて気づく）、②認識レベル（考えて理解する）、③行為レベル（かかわり合い表現する）という3つのレベルでの学びを喚起するカリキュラムを構成し、感性と認識レベルにおける統合的理解にとどまらず、それをもとに自らが行動することを通して学ぶという、3つの異なる学びの相互作用と統合を目指す。このような教育方法および学び方自体が、創造的保育実践であると考えからである。具体的には、1年次からの講義、さまざまな形態による演習、実習と省察によるカリキュラムを構築し、いずれの授業においても表現とコミュニケーションを重視することにより、表現者・行為者としての表現と行為の洗練と、関係発展力の形成、省察の深化を図る。

教育内容としては、①新座市との連携、②幼稚園・保育園や障害児施設・子育て支援センターなど多様な保育現場との連携、③さまざまな立場の人との交流を重視し、広く地域社会や保育現場に学習の場を広げ、そこでの人的交流を通して、保育者を目指す学生としてのリアリテ

ィのある学びを展開するものである。

児童教育学科

児童教育学科は小学校教員の育成を中心にするが、これからの小学校教員には、幼稚園や保育所、中学校との間で相互に幼児児童生徒の実態や指導の在り方などについて理解を深めることが求められることから、学生の希望により、幼稚園一種免許状または中学校（社会、英語）免許状または特別支援教員免許状を副面として取得できる教育体制を整備する。

小学校教員は学校現場に入れば即戦力として期待され、しかもほぼ全教科を担当することが求められる。そのためには基礎学力の確保はもとより、実践的指導力を備えていることが重要となるので、本学科では教育実習を重視し、それを核として学校現場と連携した教育内容を用意している。特に大学の所在地である新座市との連携協定を基盤にし、学生たちは正課として、またボランティア活動として積極的に学校現場に入り、先進的教育成果に触れ、子どもたちとの触れあいを通して自らの教育意識と教師としての使命感を培うようにする。さらにことば及び身体による表現能力の育成によって、有為な教育者となるように務める。

人間発達心理学科

人間発達心理学科は、「生涯発達の心理学」を中心概念とした学問領域から教育課程を構成することを特色とするが、具体的には人間発達の理解と支援に必要な専門性の習得を最も重視する。

人間の生涯にわたる発達過程をこころと行動の多様な面から理解し、発達の危機的な移行に影響を及ぼす人間生活の諸要因（生活環境、社会、文化など）を解明することで、人々の発達過程で生じている諸問題の解決に向けて支援しうる専門性を身につけさせる。そして対人コミュニケーション能力を基盤として、より深い共感的理解を目指す態度、及びカウンセリングマインドを備えた人材の育成を目標としている。さらには、心理学的なアプローチによる理論や実践的能力の修得にとどまらず、人々の生活全般を援助しうる福祉領域の知識や実践力、及び身体的な健康の管理とケアを支援しうる保健衛生・健康科学領域の理論と実践力を備えることも目標としている。

併せて本学科のみならず、他学科の学生を対象として、生涯発達への理解を深めること、乳幼児期から老年期まで発達段階の移行期における危機的課題の解決を支援するための手だてを理解することを学び身につけさせるための教育課程の工夫や体制をより一層充実させる。

食物栄養学科

食物栄養学科は、資質豊かで人間関係力の高い「食と栄養と健康」の分野における学識と技術にすぐれた専門家（管理栄養士）を育成するための教育研究を押し進める。

高度な専門知識・技能および管理能力を有した優れた管理栄養士となるために必要な能力を修得させることは当然のことであるが、それに留まらず、今日そのニーズが高まりつつある消費者サイドにたった食の専門家、子どもの食育計画・推進を行う専門家、食生活に運動習慣を加えて提案できる専門家、労働者の安全・安心のための衛生管理・健康管理の専門家、医薬品と食品の境界領域を熟知した専門家を育成するための教育研究を行うことも食物栄養学科の一つの特色である。

専門教育の主体は、「食と栄養と健康」の専門家としての基礎力の涵養、また栄養士・管理栄養士（国家試験受験資格）の資格取得を目指し、その他の資格取得として栄養教諭一種、家庭科教諭一種、フードスペシャリスト、第一種衛生管理者、健康運動実践指導者等を養成するための教育研究を展開する。

人間福祉学科

人間福祉学科は、人としての尊厳を重んじ、互いに支え合い、共に豊かに生きられる共生社会の実現に貢献できる人材の育成を目指して、講義、演習、実習をバランスよく取り入れた教育課程を編成している。

特に、トータルに生活を支える力、ジェンダーの視点、人間理解のための豊かな感性、新しい情報リテラシー、自分が育つ力等を育てることに留意するとともに、社会福祉に関する様々なニーズを持った人々の能力・適性に応じ、日常生活を支援するための相談援助活動及び介護等について必要な知識・技術・態度を身に付けた福祉専門職を養成する。

また、実際の職務を遂行するに当たっては、保健医療、社会福祉、教育、労働、司法等の多様な職域の中で、それぞれの専門職種と連携しつつ総合力と指導力の発揮を求められることから、第一義に社会福祉士・介護福祉士国家試験受験資格の取得を目指す。

生活情報学科

生活情報学科は、幅広い女性職業人として生活していく基礎能力を持つ人材の育成を目指す。ここでいう基礎能力とは、政治経済、理工学といった伝統的な学問領域ではない。女性の職業進出が進み、情報化が進展し、変化の激しい21世紀社会に幅広い女性職業人として相応しい新たな基礎能力のことである。具体的には、以下のような5つの領域の知識・技術を融合した基礎能力を示す。

- A 豊かな生活力を育てる
- B キャリアを形成する
- C ビジネス社会を生きる
- D ビジネスで情報を生かす
- E 情報システムを創る

以上の5領域を総合的・専門的に学ぶことによって、本学の学園歌に歌われている建学の精神を実現する。

メディアコミュニケーション学科

メディアコミュニケーション学科は、基礎教育の成果の上に「メディア群」と「コミュニケーション群」という2つの専門科目群を置き、個人が社会というコミュニケーション空間において、主体的に働き、生活するための能力を支える知識や技術を学び、表現力を高めることを目標としている。

「メディア群」科目は、メディアリテラシーと社会への情報発信能力の育成を目的とする。変化の激しい現代社会の諸相を多角的に比較、検証するために必要な知識の獲得はもちろん、特にマスコミが伝える情報については、その情報を正しく分析する能力を身につけるためにマスメディアによる情報発信の仕組みを学ばせる。併せて、活字や映像、コンピュータを活用し

て社会に対して情報を的確に送り出す発信者・表現者（編集者）としての能力を育成する。

「コミュニケーション群」科目は、豊かな表現力を養うことを目的とする。言語構造や多様な芸術表現について学び、正確だけでなく、クリエイティブな表現で自らを伝えるセンスを磨く。異なる文化や表現様式に接することで、自らの感性・感覚を育むとともに、それを表す言語や身体、マルチメディアを使った表現方法を身に付けていく。

これら2分野は独立したものではなく、2つを総合的に学習することで、高度情報社会で職業人としてまた生活者として能動的、自律的に生活していく力を高める。

ウ 学部、学科等の名称及び学位の名称

人間生活学部

「人間生活学部」（英訳名： Faculty of Human Life ）

学部の名称は、教育、発達、食物、福祉、コミュニケーションという人間生活の基本に関わる領域から構成されていること、物質性より人間性に基本を置くことから「人間生活学部」とする。

幼児教育学科

「幼児教育学科」（英訳名： Department of Early Childhood Care and Education ）

「学士（教育学）」（英訳名： Bachelor of Pedagogy ）

学科の名称は、児童幼児教育学科幼児教育専攻の教育目標ならびに教育内容（専門教育科目）および学科組織の継続をふまえ、「幼児教育学科」とする。

学位の名称は、学科設置の理念と学科の特徴をふまえ、学科設置申請時に認可された学位の名称を変更せず「学士（教育学）」とする。

児童教育学科

「児童教育学科」（英訳名： Department of Elementary Education ）

「学士（教育学）」（英訳名： Bachelor of Pedagogy ）

学科の名称は、児童幼児教育学科児童教育専攻の教育目標ならびに教育内容（専門教育科目）および学科組織の継続性をふまえ、「児童教育学科」とする。

学位の名称は、学科設置の理念と学科の特徴をふまえ、学科設置申請時に認可された学位の名称を変更せず「学士（教育学）」とする。

人間発達心理学科

「人間発達心理学科」（英訳名： Department of Human Developmental Psychology ）

「学士（心理学）」（英訳名： Bachelor of Psychology ）

学科の名称は、学科の教育目標ならびに教育内容（専門教育科目）が、心理学領域のなかでも人間の生涯発達についての理解と支援に重点を置いているので、教育目標や内容および学科組織の継続性をふまえ、引き続き「人間発達心理学科」とする。

学位の名称は、学科の名称と同様、学科設置の理念と学科の特徴を踏まえ、学科設置申請時に認可された学位の名称を変更せず「学士（心理学）」とする。

食物栄養学科

「食物栄養学科」 (英訳名: Department of Food and Nutrition)

「学士 (栄養学)」 (英訳名: Bachelor of Nutritional Science)

学科の名称は、食物 (=他の生物) を食し、その成分やエネルギーを利用して生活 (生存・活動) し、健康を維持増進する栄養という現象が、人をはじめとする生物に通有すなわち生命の最も根源的な基盤であり、人間生活を支える基幹的な営みであるという当然の事実を大切に教育研究を行う。よって、名称は「食物栄養学科」とする。

学位の名称は、本学科を修得した学生は、自らの原点が「食と栄養と健康」の専門家であり、よって立つ学問的な基盤は栄養の科学であることを深く認識すべきであるという意味合いもある。したがって「学士 (栄養学)」とする。

人間福祉学科

「人間福祉学科」 (英訳名: Department of Human Welfare)

「学士 (社会福祉学)」 (英訳名: Bachelor of Social Welfare)

学科の名称は、「社会福祉」を“人間”的視点に立ったトータルな福祉の実現という意味で、併せて、人間福祉学科が開設されて6年が経過し“人間福祉”の名称は学内外にも定着してきているため、継続し「人間福祉学科」とする。

学位の名称は、今日の社会情勢の中、公的保障としての“福祉”が求められ、専門職を中心に社会的に“福祉”を実現する意味から、「社会福祉学」が学術的にも社会的にも使われているため、「学士 (社会福祉学)」とする。

生活情報学科

「生活情報学科」 (英訳名: Department of Career Planning and Information Studies)

「学士 (社会情報学)」 (英訳名: Bachelor of Social and Information Science)

学科の名称は、出産・育児を抱える女性にとって、家庭生活と職業・社会との係わり方、生涯に渡るキャリアデザインは必要不可欠な知識・能力であり、この生活学をベースとして、ビジネスでの基礎知識である会計、経営、経済などの社会学、あるいは今や必須アイテムとなった情報学を学ぶことから、生活情報学科とする。

学位の名称は、より広く認知されている「学士 (社会情報学)」とする。

メディアコミュニケーション学科

「メディアコミュニケーション学科」 (英訳名: Department of Media Communication Studies)

「学士 (コミュニケーション学)」 (英訳名: Bachelor of Communication Studies)

学科の名称は、人間生活の土台をなす相互利用のために不可欠な多様なコミュニケーション学科の媒体を意味する「メディア」の特質を把握し、それらの異なる機能を理解したうえで、適切なコミュニケーションを行える能力を身につけることを目的とするため、「メディアコミュニケーション学科」とする。

学位の名称は、本学科を修得した学生は、様々なコミュニケーションを活用できる能力を身につけるため、広く認知されている「学士 (コミュニケーション学)」とする。

エ 教育課程の編成の考え方及び特色

ア) 深刻化する学力低下への対処

基礎教育段階における全般的な学力低下と少子化による入学時における競争の緩和化により、両学部共に入学する学生の基礎学力の低下は深刻である。この傾向は新しい人間生活学部にも編成後にも避けることの出来ない状況となるであろう。しかしこれを嘆いたり、怒ったりしていたのでは大学教育の基礎が崩れるだけのことで、早急にかつ真剣に対処しなければならない課題である。

そのため、新しい人間生活学部においては、

①入門ゼミナールの開設

②リメディアルセンターによる学力保障

の教育体制を構築する。

入門ゼミナールは、前期においては所属する学科ごとに、学生の志望動機の確認と入学後の学習との連結を図ること、必要な学習に向けて補うべき学力面の確認、必要な場合リメディアルセンターへの通級を勧めること、などを行う。後期においては読書入門として、全教員の半数が半期間において学生と講読する1冊の本を明示し、選択する学生と共に講読することによって、書物のもつ魅力を伝え、読書の方法を教示する授業である。

リメディアルセンターは、本学の初等教育教員の養成を主目的とする児童教育専攻(平成19年度設置)には、義務教育段階における基礎的学力の形成について長い経験を積んだスタッフが多く、このマンパワーを活用し、さらに義務教育段階の教育活動に経験豊富な経験者をインストラクターとして委嘱することで、国語、算数、理科、社会、英語などの科目について、学力保障教育の構築と実地とに当たるものである。

イ) 全学の総力による「十文字学」の構築

これまでは「一般教育・教養教育」として、学部ごとに旧来の「〇〇学」中心の講義が行われてきたのが現状である。これが大規模講義ともあいまって学生の学習意欲の減退を招き、形式的な履修に終わっていて、根本的改革を必要としていたところ、今回の新学部設置を好機会として、「十文字学」という新しい共通教育を開拓することとする。

「十文字学」はA女性を学ぶ、B地域・社会を学ぶ、C人間・環境を学ぶ、を3領域として、領域ごとに科目を展開しようとするものである。その内容として想定され、一部試行の段階にも入っているものは十文字こと(創立者)に学ぶ女性の生き方や、地域を学ぶさきたま新座から学ぶなどのオムニバスによる講義科目で、今後さらに科目を増設し、旧来型講義科目の全廃を目指す。

さらに「総合科目」を設け、領域にとらわれない、あるいは領域を統合する講義及び演習を開講する。ここでは企業によるいわゆる冠講座も設定される。また、「総合ゼミ」では実社会と交流するさまざまな活動を組織するゼミ活動を実現する。

ロ) 基礎教育の構築

現行の社会情報学部には現代社会の生活において必須となっている情報処理の基礎技能、外国語能力、キャリアデザインという女性の社会訓練において有用な教育・訓練に関する体系的知識・技能とその教育における長年の経験とを有する教員スタッフが多く、そのマンパワーを

改組後には全学に及ぶようにする。

①必修としての情報処理基礎

新学部を設置によって、これまでの社会情報学部が行っていた現代教養志向科目（コミュニケーション・問題解決能力、会計・経営基礎知識、情報処理基礎能力）を全学の共通科目として誰でも履修できるかたちにする。つまり、情報処理に強い管理栄養士、IT活用授業のできる教員、問題解決能力に秀でた社会福祉士、コミュニケーションの上手い認定心理士、情報ツールを操れるジャーナリストといった「専門+α」の人材の育成を目指せば、これが人間生活学部での一般就職への道を開き、幅広い職業人の育成となり、一学部制の利点になると考える。

②キャリア教育の実施

これまで社会情報学部において展開されていたキャリア教育を全学に展開し、講義とインターンシップにより、学生の職業意識の啓発、就職準備などに備えるようにする。さらにこの領域では学生個々が「社会人となる」ために必要な知識・技能を身につける訓練も目標として、外部のマンパワーを積極的に活用する「冠講座」を検討する。

d) 全学教職課程の構築と強化

現行では本学においては、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教諭、養護教諭、栄養教諭の教員免許が取得できる課程認定を受けているが、改組後もその教育体制は継続しつつ、現在その教職課程が学科ごとに運営されている体制を改め、全学に共通する教職課程を構築し、教育実習の充実を含む教育の強化を図ることとする。

さらには特別支援教育の教員免許が取得できる体制をつくり、この分野の教育研究に独自色を発揮できるようにし、社会貢献を意図する。

以上のような全学共通の教育課程の展開の下に、各学科の専門科目が展開する。

幼児教育学科

幼児教育学科の教育理念及び教育課程は、優れた保育実践力と実践研究を推進する力にとどまらず、地域社会において保育・教育ネットワークを担うコーディネーターの役割をも果たすことの出来る高い資質をもった保育者の養成を目的として構築される。また、カウンセリングマインドを磨き、子どもの内面を理解出来る能力とともに、親の育児支援・相談に対応出来る臨床家として今日の保育者に求められる資質の涵養も重要視する。

そのための教育方法の特色として、以下のような専門科目を配置する。

①『基礎科目』の科目区分として、「児童学概論」「児童学演習」「児童学研究法Ⅰ（量的研究）」・「児童学研究法Ⅱ（質的研究）」「保育方法」「幼児教育基礎実習・演習」を必修科目として配置する。

②『保育と教育』の科目区分として、「保育者論」「幼児教育学」「教育学」「保育制度・保育政策論」「障害児保育Ⅰ」を必修科目として配置し、保育の基本事項の理解を深める。

③『保育内容』の科目区分として、「保育内容総論」のほか、『幼稚園教育要領』及び『保育所保育指針』に定められた5領域の保育内容の指導法に関する科目を演習科目として配置し、より実践的に保育内容及び保育者の役割について理解する。

- ④『発達と臨床』の科目区分として、「生涯発達心理学」「保育心理学」「臨床発達心理学」「保育・教育相談」を配置し、乳幼児の発達過程及び発達臨床についての学びを深める。
- ⑤『生活と福祉』の科目区分として、「子ども家庭福祉Ⅰ」「子ども家庭福祉Ⅱ」「社会福祉」「社会福祉援助技術」「養護原理」「養護内容」「子育て支援論」「家族関係論」「地域福祉論」の科目を配置し、福祉教育の基礎基本及び乳幼児の生活の実際を学び、援助技術の習得を目指す。
- ⑥『健康と運動』の科目区分として、「児童保健学Ⅰ」「児童保健学Ⅱ」「児童保健学実習」「精神保健」「食と発達」「ネイチャー・ワーク」「体育基礎Ⅰ（子どもと運動）」を配置し、人間の健康について幅広い視点から学ぶ。
- ⑦『表現と文化』の科目区分として、「音楽基礎Ⅰ（歌唱法）」「音楽基礎Ⅱ（ピアノ基礎技術）」「音楽基礎Ⅲ（楽器演奏）」「造形基礎Ⅰ（感じて表現）」「造形基礎Ⅱ（考えて表現）」「体育基礎Ⅱ（身体表現）」の科目を配置し、感じて気付く（感性）、理解する（認識）、表現する・関わり合う（行為）ことを統合しつつ保育の場で、実践できるよう表現者としての感性を深める。
- ⑧実習科目として、「幼稚園教育実習総論」「保育実習総論Ⅰ」「保育実習総論Ⅱ」で実習の事前・事後指導を行い、「幼稚園教育実習」「保育所保育実習Ⅰ」「保育所保育実習Ⅱ」「施設実習Ⅰ」「施設実習Ⅱ」「保育インターンシップ」で現場での実践的な学びを深める。また4年生では「教職実践演習（幼）」を行う。
- ⑨3・4年次では、それぞれの科目群の専門性を深めるために、各教員の講義・演習を配置し、それを踏まえて学生が自らの学びを深化させる「卒業研究」を配置している。

講義科目だけでなく、実習関連科目や保育者として必要な表現力の獲得を旨とする演習科目を重視し、認識・感性・行為レベルの循環のなかで学びを発展、深化させている。

教育内容の特徴としては、地域との連携、現場との連携、自分とは異なる背景をもった人や文化との出会いと交流を重視している。具体的には、地域の人的物的資源を教材とし、地域に出かけ、現場の実践者・指導者と協働して学生の指導にあたる。これからの共生社会を生きる学生たちには、世代・国籍・文化・価値観などの異なる多くの人々と出会い、共に生活することが強く求められると考え、出会いと交流において、自分だけでなく相手も仲間全体も成長し関係が発展するような関わりと自己のあり方を経験しながら実践的に学ぶ機会を設けている。

児童教育学科

児童教育学科における小学校教員養成の教育課程は、幼児期から児童期の発達段階を踏まえた幼児児童教育の指導ができる小学校教員を養成するように編成されている。そのため現在の大学全体のリソースを活かし、演習・実習・小集団活動等の授業を学際的（教育学・心理学・社会学・福祉学・表現・芸術等）視野から展開し、自ら感受・認知し表現・行為して、考えて学ぶ学生を養成することを特色とする。

教育内容の特色として、以下のような専門科目を配置する。

- ①『教育課程及び指導法に関する科目』の科目区分として、「教育課程・方法論」「初等国語科教育」「初等算数科教育」「初等理科教育」「初等体育科教育」「初等音楽科教育」「初等図画工作科教育」「初等社会科教育」「初等生活科教育」「初等家庭科教育」「道徳教育」「特別活動」を配置する。
- ②『生徒指導、教育相談及び心理指導等に関する科目』の科目区分として、「生徒指導・進路指導」「教育相談」を配置する。

- ③教育実習として、「学校参観」「教育実習事前事後指導」「教育基本実習」「教育応用実習」「幼稚園教育実習（事前・事後指導を含む）」を配置する。
- ④『教職実践演習』の科目区分として、「教職実践演習（幼・小）」を配置する。
- ⑤『教科に関する科目』の科目区分として、「国語」「算数」「音楽」「図画工作」「体育」「社会」「生活」「理科」「家庭」を配置する。
- ⑥『教科または教職に関する科目』の科目区分として、「特別支援教育概論」「特別支援教育指導法」「学校関係法規特別講義」「表現活動概論」「表現活動（基礎）」「表現活動（応用）」「学習指導と学校図書館」「学級経営と教科指導」「教職基礎演習」「教職発展演習」「教職応用演習」「介護等体験事前事後指導」「外国語活動」「学芸総合演習」「教材研究」「授業研究」「教育学特別講義」を配置する。
- ⑦『演習』として、「卒業研究演習」を配置する。

さらに、新しい教育者には、世代や文化等の異なる多様な人々との相互的人間関係を発展させていくことが求められる。児童教育学科は、これに向けた授業にも力を入れる。知識・技能の習得はもとより、学ぶことを通して、自身が豊かな感性と人間性を育み、自らも成長することのできる教育者の育成をはかることを重視する。小学校教諭としても専門領域を持ち自信を持った教師に養成すべく、新座市を中心に、ボランティア、教育支援員として実践的に体験・経験を積極的に積むようにしていく。

人間発達心理学科

人間発達心理学科の教育課程では、より高度の専門性を習得させる一方で、広い教養と豊かな人間性を醸成し、人間生活における諸課題を合理的に解決し発展させる担い手を育成することを目標として、以下のような専門科目を配置する。

- ①『生涯にわたる発達過程を理解する心理学科目』の科目区分として、人間の発達過程を、発達段階という側面と個人の特性や能力の発達という側面との二次元的な視点から学ぶことで、多面的かつ複合的な理解を深めることを目指す。人間の発達過程に対する心理学的アプローチの基礎を「心理学概論」「発達心理学概論」で理解させることから始まり、「乳幼児期の心理学」「児童期の心理学」「青少年の心理学」「中高年期の心理学」「母子関係論」「ライフサイクル論」「文化と発達」「発達心理学特論」を配して、生涯にわたる発達についての認識をより一層深化させることを目標とする。
- ②『発達段階に応じた心理臨床を理解する科目』の科目区分として、カウンセリングマインドの涵養を目標に、「臨床心理学概論」「発達臨床心理学」「カウンセリング基礎Ⅰ（理論）」「カウンセリング基礎Ⅱ（技法）」「精神保健概論」「心理療法」を配置して、心理臨床・精神保健の基礎的理論や考え方を修得する。さらに、「幼児期の心理臨床」「児童期の心理臨床」「青年期の心理臨床」「中高年期の心理臨床」「障害者の心理学」「障害者の発達支援」「心理療法」「発達臨床フィールドワーク」を配して、個々の発達段階における危機的課題への支援・援助の理論や知識を、具体的な事例の理解とともに修得することを目指す。
- ③『心理学的研究法や心理療法に関する演習・実習科目』の科目区分として、人間のこころと行動を科学的かつ客観的にとらえて分析し、援助する技能を養うことを目標に、実習により体験的に学ぶ科目を開講する。そこで、科学的な理解の基礎となる考え方や技能を修得させるべく「心理学方法論」「心理統計法」「心理学情報処理法」「データ解析法」を配置する。また、「心

理学基礎実験」「心理検査法基礎」「心理学実験実習」「社会調査法」「心理検査法応用」「行動観察法」「カウンセリング技法入門」「発達・教育相談」「インターンシップ」「発達支援活動」を配置して、実践的な能力の育成を目指す。

④『人間社会におけるこころと行動を理解する心理学科目』の科目区分として、心理学に基づく視点から、発達の基盤となる人間社会の諸場面（人間集団、家庭・家族、対人関係、企業活動）の特性、ならびにそれぞれの場における人びとの心と行動を系統的に理解することを目標に、関連諸領域を学ぶ科目を開講する。「社会心理学概論」により、本領域の概要を理解させるとともに、「コミュニケーションの心理学」「対人社会心理学」「人間関係の心理学」「グループダイナミクス」「産業・組織心理学」「キャリア心理学」「消費行動の心理学」「職場のメンタルヘルス」を配して、人間発達に重要な影響を及ぼす他者・集団・社会との関わりを、幅広く理解し分析できる力を養う。

⑤『人びとの生活を多面的に理解する心理学科目』の科目区分として、生涯発達や人びとの支援に関する心理学領域の学習と並行して、人間のこころと行動を多面的に理解することを目的として、個別の研究領域や研究主題を専門的にあつかった心理学諸領域の科目を配置する。「家族心理学」「認知心理学」「性格心理学」「食の心理学」「身体運動の心理学」「健康心理学」「創造性の心理学」を配置する。

⑥『子ども支援、保健・健康科学に関する科目』の科目区分として、発達過程における危機的移行の解決支援や、こころに問題を抱えた人びとを援助する上で、こころを支える身体の発育や、健康の維持・管理、生活環境についての理解は不可欠である。特に、学校教育における指導や支援に焦点をあて、「教育心理学Ⅰ」「教育心理学Ⅱ」「生徒指導」「教育相談」「子どもの生活支援」「養護概説」「学校保健Ⅰ」「健康相談活動」「免疫学」「衛生学」「公衆衛生学」「看護学概論」「看護援助方法」「小児保健看護学」「救急処置活動」「臨床看護実習」などを配置する。

⑦『演習科目』として、少人数による演習を中心とした科目を配し、主体的な学習態度や能力を養う。入学時に大学での学習に対するガイダンス教育を狙いとする「入門ゼミナール」、文献の講読を通して心理学の基本的な考え方の習得を目指す「心理学入門演習」、さらには外国語文献の講読を通して心理学の理論を習得する「発達心理学外書講読」、特定の領域・テーマについて主体的に学習する「人間発達演習」、それにそれらを踏まえて更に深化させる「卒業研究」を配する。

食物栄養学科

食物栄養学科の専門科目の教育課程では、管理栄養士養成指定科目を含む①～⑫に区分される科目を配置する。

①『社会・環境と健康』の科目区分として、「健康管理概論」「健康情報処理実習」を必修科目とし、「公衆衛生学」「公衆衛生学実験」「社会福祉概論」を配置して、人間や生活についての理解を深め、社会や環境と健康の関わりについて理解させる。

②『人体の構造と機能、疾病の成り立ち』の科目区分として、「解剖生理学」「人間生物化学」「医学概論」を必修科目とし、「解剖生理学実験」「運動生理学」「人間生物化学実験」「人間生活生理学」「病態生理学」「系統別疾病学」「病原物質・微生物学」「微生物学実験」を配置して、人体の構造や機能を系統的に理解するとともに主要疾病の成因、病態、診断、治療等を理解さ

せる。

③『食べ物と健康』の科目区分として、「食品学Ⅰ」「食品学Ⅱ」「調理学」「調理学実習Ⅰ」「調理学実習Ⅱ」を必修科目とし、「食物栄養学概論」「食品化学」「食品化学実験」「食品加工学」「食品加工学実習」「栄養化学」「調理学実習Ⅲ(実験を含む)」「調理学実習Ⅳ」「食品衛生学」「食品衛生学実験」を配置して、食品の各成分や人体に対する栄養面や安全面への影響など基礎的な学問を身につけさせ、思考力、応用力のある管理栄養士の養成を目指す科目とする。

④『基礎栄養学』の科目区分として、「基礎栄養学」を必修とし、「基礎栄養学実験」を配置する。

⑤『応用栄養学』の科目区分として、「応用栄養学Ⅰ」を必修とし、「応用栄養学Ⅱ」「応用栄養学Ⅲ」「応用栄養学実習」を配置する。

⑥『栄養教育論』の科目区分として、「栄養教育論Ⅰ」を必修科目とし、「栄養教育論Ⅱ」「栄養教育論実習Ⅰ」「栄養教育論実習Ⅱ」「カウンセリング論(演習を含む)」を配置する。

⑦『臨床栄養学』の科目区分として、「臨床栄養学Ⅰ」を必修とし、「臨床栄養学Ⅱ」「臨床栄養学Ⅲ」「臨床栄養学Ⅳ」「臨床栄養学実習Ⅰ」「臨床栄養学実習Ⅱ」を配置する。

⑧『公衆栄養学』の科目区分として、「公衆栄養学Ⅰ」を必修科とし、「公衆栄養学Ⅱ」「公衆栄養学実習」を配置する。

⑨『給食経営管理論』の科目区分として、「給食経営管理論Ⅰ」を必修とし、「給食経営管理論Ⅱ」「給食経営管理論実習」を配置する。

⑩『総合演習』の科目区分として、「総合演習Ⅰ」を必修とし、「総合演習Ⅱ」を配置する。

⑪『臨地実習』の科目区分として、「臨床栄養臨地実習Ⅰ」「臨床栄養臨地実習Ⅱ」「公衆栄養臨地実習」「給食経営管理臨地実習」「給食運営臨地実習」を配置する。

⑫『食物栄養関連科目』の科目区分として、「食育論」「食文化人類学」「食と環境」「食物史」「食生活論」「食品機能論」「食のリスクアナリシス論」「食薬理学」「人間生命科学」「人間栄養学概論」「分子栄養学」「生物有機化学」「健康科学概論」「保健指導カウンセリング論(演習を含む)」「実践臨床カウンセリング論(演習を含む)」を配置し、栄養に関する学識を広くかつ深くする科目、健康教育、保健栄養の専門性を高める科目として食の多面的編成を試みた。栄養実践活動で国際貢献を目指すための「World of the Food and Nutrition」も配置する。さらに、これらの科目を踏まえて、思考力や応用力を身につけ、専門的な知識や技能を深めるために「卒業研究」を配置する。

人間福祉学科

人間福祉学科の専門科目の教育課程では、現在多種多様な福祉のニーズに応えられるために、以下の教育課程の編成を特色として学んでいく。

①まず、社会福祉を学ぶ上で、必要な基礎的な知識として『社会福祉基礎科目』の科目区分から、「社会福祉概論Ⅰ」「社会福祉概論Ⅱ」のほか、相談援助の基盤となる「ソーシャルワーク論Ⅰ」などを配置する。

②その上で、社会福祉士を目指す上で、社会福祉の論理的側面を理解するため『ソーシャルワーク専門科目』の科目区分から、「ソーシャルワーク論Ⅱ」「ソーシャルワーク論Ⅲ」「ソーシャルワーク論Ⅳ」「地域福祉論Ⅰ」「地域福祉論Ⅱ」「公的扶助論」などを配置する。

③また、介護福祉士を目指す上で、福祉現場における介護・相談援助に関する知識、技術及び態度の習得するため『ケアワーク専門科目』の科目区分から「介護と自立」「日常生活支援技術Ⅰ」「日常生活支援技術Ⅱ」「日常生活支援技術Ⅲ」「生活支援技術概論」などを配置する。

④さらに、『ソーシャルワーク専門科目』及び『ケアワーク専門科目』の科目区分で学んだ成果を基に、『社会福祉実践科目』の科目区分の実習・演習を体験することによって現場で役立つ知識・技術・態度を修得していく。

⑤そして、『社会福祉展開科目』の科目区分は、上記4つ（『社会福祉基礎科目』『ソーシャルワーク専門科目』『ケアワーク専門科目』『社会福祉実践科目』）の科目区分の応用・補完科目として配し、福祉専門職としての学びを深める。

⑥『社会福祉関連科目』の科目区分として、福祉社会を取り巻く環境を知り相互理解を促していくために、人間発達心理学科の専門科目である「中高年期の心理学」や生活情報学科の専門科目「民法入門」等も学べるよう配置している。

これらの各科目群の履修により、社会福祉の多様な分野を担う「社会福祉の専門職（社会福祉士・介護福祉士）」及び家庭・地域において「人間の生活」を核とした環境づくりや住民間のネットワークづくりに貢献できる「地域や家庭で福祉を担う専門的人材」の養成・育成を目指している。

生活情報学科

生活情報学科の専門科目の教育課程では、学科の特色で述べた幅広い女性職業人としての5領域の基礎能力に対応して、A豊かな生活力を育てる、Bキャリアを形成する、Cビジネス社会を生きる、Dビジネスで情報を生かす、E情報システムを創る、の科目区分と演習科目区分を配置する。

①『A豊かな生活力を育てる』科目区分として、女性の社会進出が進む中で、豊かな生活を送るには生活と社会との係わり方が大きな課題であり、仕事と家庭、地域生活から国際社会まで、生活者に必要な教養を身につけなければならない。このため、まず生活自体について、「民法入門」「消費生活と法律」「生活構造論」「家族生活論」を学び、生活と地域・国際と関係について、「生活環境論」「グローバル化と生活」「コミュニティビジネス」「NPO活動と組織」を学び、生活とビジネスとの関係について、「生活経済」「生活と産業」「女性と起業」「家族と労働法」を学ぶ。

②『Bキャリアを形成する』科目区分として、競争激化による企業の浮き沈み、景気の波によって引き起こされるリストラ・倒産が頻発する中、自分の生涯にわたるキャリアデザインを考えることが重要となっている。まして出産・育児を抱える女性にとってはなおさらである。これに向けて、社会人としての基礎力を「社会人基礎力」「インターンシップ入門」「インターンシップ実習」で身につけ、自己能力開発を「ライフコースと生活設計」「ワークライフバランス論」「問題解決手法」「人材育成論」で行い、生涯にわたるキャリアデザインを「キャリアモデルケース研究」「キャリア開発論」で学ぶ。

③『Cビジネス社会を生きる』科目区分として、女性が働くことが当たり前となった時代において、ビジネスとは何かを基礎から学ぶと共に、ビジネス社会を生き抜くための具体的技術を学ぶことが必要である。企業の仕組みを理解するために、「会計学基礎」「簿記入門」「簿記基礎」「簿記初級」「簿記中級」「簿記上級」によりお金の動きから会社の動きをみることを学ぶ。

簿記については、簿記検定資格を取得する狙いでもある。また、「マーケティング論」「ブランド戦略」で販売について学び、「経営学基礎」「ビジネス経済学」「ビジネスと法律」「企業戦略論」「企業倫理」「マネープランニング」「国際経営論」「株式投資入門」で経営、経済について学ぶ。

④『Dビジネスで情報を生かす』科目区分として、企業にとって、「情報」は4大経営資源の一つとして重要さを増している。調査・データ解析・パソコン等の情報技術を活用し、企業の経営・マーケティング分野において情報を生かす実践力を養う。これに向けて、企業での情報との係わり方を「情報社会論」「企業と情報」「会計情報システム」「インターネットビジネス」で学び、データの統計・解析方法を「調査と統計」「社会調査法Ⅰ（量的調査）」「社会調査法Ⅱ（質的調査）」「マーケティングリサーチ」で学び、オフィスでの情報処理方法を「パソコン活用」「ビジネス文書作成」「データ活用」「ビジネスデータ活用基礎」「ビジネスデータ活用応用」で学ぶ。

⑤『E情報システムを創る』科目区分として、情報社会が進展し、情報システムを使うのは当たり前で、今後は情報システムを創る能力を求められている。このため、Web ページの作成を「Web ページ作成基礎」「Web ページ作成応用」「新しい Web ページ」で学び、マルチメディア技術を「アニメーション入門」「アニメーション制作」「デジタルビデオ編集」「コンピュータミュージック」で学び、コンピュータによるデザイン技術を「デジタル色彩」「コンピュータグラフィックス」「3次元CG」「住居デザイン」で学び、データベースについて、「データベース入門」「データベース基礎」で学び、ネットワークについて、「ネットワーク基礎」「インターネットとセキュリティ」「ネットワーク設定」「サーバ設定」で学び、情報システムの基礎について、「ソフトウェア基礎」「ハードウェア基礎」「情報数学」「システム設計入門」「システム設計基礎」で学び、プログラミングについて、「プログラミング入門」「プログラミング初級」「プログラミング中級」「プログラミング上級」「ゲームプログラミング」「Web アプリケーション」で学ぶ。

メディアコミュニケーション学科

メディアコミュニケーション学科の専門科目の教育課程では、①～⑥のように区分される科目を配置する。

①『学科基礎』科目区分として、「メディア社会論」「言語表現論」「ニュースと社会」「プレゼンテーション技法」「脳とコミュニケーション」「文章表現（基礎）」「文章表現（応用）」「ディベート」「情報倫理」の9科目から成り、すべて必修とする。「メディア社会論」「ニュースと社会」「情報倫理」ではマスメディア（コミュニティメディア）の仕組みと社会で伝えられる情報理解の基礎を学ぶ。「言語表現論」「文章表現（基礎）」「文章表現（応用）」はパーソナルメディア分野と位置づけ、自己を表現する際の基本である言語、文章による表現の基礎的知識・方法を身につけさせる。さらに、「プレゼンテーション技法」「脳とコミュニケーション」「ディベート」はクリエイティブメディア理解の基本となる科目で、他者に対して効果的に自己を表現する方法の基礎を理論、実践の両面から学習する。

②『メディア』の科目区分として、インターナショナルメディア、マスメディア（コミュニティメディア）、エンターテインメントメディアの理解を助ける内容の科目を27科目配置している。この3つの分野は厳密に分けられるものではないが、講義の主たる内容からみて、「環

境と社会」「アジア入門」「国際マスコミュニケーション論」「国際関係論」等はインターナショナルメディア分野、「メディア文化論」「放送概論」「メディア産業論」「地域メディア論」等はマスメディア（コミュニティメディア）分野、「エンターテインメントメディア論」「マンガ・アニメ論」「映像文化論」「雑誌文化論」等はエンターテインメントメディア分野の特性を学ぶための科目と位置付けている。さらに、「広告デザイン」「雑誌・ミニコミ編集」「映像編集」など、デジタル機器やコンピュータを使って、情報を収集、整理、編集、デザインし、社会に広く発信する技術を習得できる科目も置く。変化の激しい現代社会の諸相を多角的に比較・検証するために必要な知識とともに、活字・映像・コンピュータを活用して情報を的確に送り出す発信者としての能力を育成するためである。

③『コミュニケーション』の科目区分として、パーソナルメディアとクリエイティブメディア2分野の科目26科目をおく。この2つには重なる部分が多いが、「ことばのしくみ」「ことばと文化」「音声表現論」「文章表現（発展）」などは、主に自分自身の表現技術を磨く科目であり、「異文化コミュニケーション」「舞台表現A（日本）」「舞台表現B（欧米）」「文化と文学A（日本文学）」「文化と文学B（英米文学の流れ）」「文化と文学C（英米小説と女性）」「文化と文学D（児童文学）」等の科目は、異なる文化や表現様式を学ぶことで、感性を育てることを主眼として、合せて個人の表現能力を高めるパーソナルメディア分野の科目と位置付ける。加えて、「コンピュータグラフィックス」「コンピュータミュージック」「アニメーション制作」「創作表現」「ダンスパフォーマンス」などクリエイティブメディア分野の科目では、言語・身体・マルチメディアを使った表現方法を身につけ、オリジナルな表現で自らを伝えるセンスを磨く。

④『ランゲージスキル科目』の科目区分として、10科目の英語の選択科目から成る。上記『メディア群』『コミュニケーション群』の分野に加えて、英語メディアが伝える情報を適切に読み解く、あるいは英語で自らを表現するといった英語の技能を向上させたい学生が自由に選択できる形となっている。また、英語の教員免許状の取得を希望する学生にとってはすべてが必修科目となり、中学・高校で英語を教える立場になった場合に必要な英語の構造・音声の特徴の基礎的知識と「読む・書く・聞く・話す」の一定レベル以上の技能を習得させる。

⑤『キャリア支援』の科目区分として、「インターンシップ入門」「インターンシップ実習」「社会人基礎力」の3科目の選択科目から成る。生活情報学科と共通の「インターンシップ入門」では企業、地方自治体などでインターンシップをする際の基本的な常識を学び、「インターンシップ実習」へとつなげていく。「社会人基礎力」では、卒業後の進路を考える際の支援を行うが、特にマスコミ分野への就職を考える学生のための内容も含んでいる。

⑥演習科目は、3年次に2科目を必修とし、少人数制のゼミナール方式により、それぞれの分野の知見を深め、4年次の「卒業研究」につなげていく。

オ 教員組織の編成の考え方及び特色

教員の編成においては、学部・学科の教育の目標及び人材の養成が達成できるように、また、教育・研究が円滑にすすむように考慮し編成している。まず、大学設置基準で定められた基準を満たすとともに、厚生労働省で定められている「管理栄養士養成施設」や、「指定保育士養成施設」「介護福祉士養成施設」「社会福祉士養成施設」の認定施設についてもそれぞれの指定の基準を満たし、教育職員免許法に基づく課程認定を受けている学科についても、当該の諸規則等で定められた基準を満たしている。

今回の新しい人間生活学部の設置届出についての教員組織は、これまでの教育及び研究成果を活かし現在の社会情報学部及び人間生活学部の教員組織を移行しているために、原則新たな組織の変更は無いが、今後も新しい教育分野への教員組織の編成の見直しは、適宜行い、さらなる学習・教育・研究環境が充実するよう配慮していく。

また、定年退職等における退職者については、教員組織全体の年齢構成を鑑みて補充する。

カ 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

幼児教育学科

<教育方法>

幼児教育学科における教育方法の特色は、①フィールドワーク、実技・実習を重視した体験的学習、②様々な形態による演習・ゼミ／小グループ活動／フィールドワーク／実技・実習の重視、地域社会や保育現場と連携した体験学習、③キャンパスネットワーク活用によるコンピュータ教育、他学科のリソース活用による幅広い教育である。

<履修指導方法>

シラバスの充実を図るとともに、入学時及び各学期直前に実施する学年別オリエンテーションにおいて、学生の履修科目選択に必要な情報や学習内容について周知徹底を図る。

特に、1年次に必修とする「入門ゼミナール」において、学科・学部の教育課程編成を十分に理解させるとともに、教員が学生をグループごとに担当し、学生の修学希望・目的に合わせた履修方法について綿密な相談と指導を行う。2年次以降も、「入門ゼミナール」あるいは演習の担当教員が主となって履修指導を継続する。

<卒業要件等>

共通科目から、「初年次ゼミナール」2科目2単位、「十文字学」から6単位以上（但し、A領域1科目2単位、B領域又はC領域のいずれか1科目2単位を必修）、「保健体育」から3科目4単位、「外国語」の外国語I（英語・中国語・フランス語・スペイン語・日本語（但し日本語を母語としない者のみ）より1つの外国語を選択）から1科目2単位、「情報処理基礎」から3科目4単位を必修とし、必修科目12単位を含む18単位以上を履修する。

専門科目から、卒業研究を含めた必修科目38単位を含み98単位以上を履修する。その他、共通科目及び自学科の専門科目に加え、他学科の専門科目（同一開講科目として自学科の専門科目として認定しているものを除く）を自由選択科目として8単位以上を履修し、合計124単位以上を履修することを卒業要件とする。

保育士資格取得のためには、卒業要件の単位に加え、児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号に定められている科目を含め、本学の保育士資格のために指定した科目を履修する。

<履修モデル>

履修モデル1「幼稚園教諭+保育士免許を取得の場合」（資料1）参照。

児童教育学科

<教育方法>

児童教育学科における教育方法の特色は、以下のようになる。

①少人数による授業及び演習により指導を徹底させる。

- ②授業、演習においてできるだけ学校現場の実情に触れさせ、教育実践への意識を高める。
- ③実験（理科、生活科など）、実技（音楽、体育など）を重視する。
- ④早期から教育実習への関心・意欲を高めるようにし、実習によって自己を鍛えるようにする。
- ⑤全体として小学校教員採用試験へ向けての関心と意欲を喚起する。

最終学年においては「教職実践演習（幼・小）」において、自身の勉学歴を振り返ると共に特定課題において論文等をまとめるようにする。

<履修指導方法>

シラバスの充実を図るとともに、入学時には合宿ゼミによってまた各学期直前に実施する学年別オリエンテーションにおいて、学生の履修科目選択に必要な情報や学習内容について周知徹底を図る。

特に、1年次に必修とする「入門ゼミナール」において、学科・学部の教育課程編成を十分に理解させるとともに、学生を班別に組織して担当教員を配置する。3、4年生となってからは専任教員全員による演習を開講して学生の指導に当る。

<卒業要件>

共通科目から、「初年次ゼミナール」2科目2単位、「十文字学」から6単位以上（但し、A領域1科目2単位、B領域又はC領域のいずれか1科目2単位を必修）、「保健体育」から3科目4単位、「外国語」の外国語I（英語・中国語・フランス語・スペイン語・日本語（但し日本語を母語としない者のみ）より1つの外国語を選択）から1科目2単位、「情報処理基礎」から3科目4単位を必修とし、必修科目12単位を含む18単位以上を履修する。

専門科目から、卒業研究を含めた必修科目53単位を含み98単位以上を履修する。その他、共通科目及び自学科の専門科目に加え、他学科の専門科目（同一開講科目として自学科の専門科目として認定しているものを除く）を自由選択科目として8単位以上を履修し、合計124単位以上を履修することを卒業要件とする。

<履修モデル>

履修モデル2「小学校教諭の免許を取得の場合」（資料2）参照。

人間発達心理学科

<教育方法>

人間発達心理学科における教育方法の特色は、次の3項目である。

①少人数教育の徹底

演習科目や実習科目を中心として、少人数による教育を徹底し、小グループ活動や実践型の学習活動を促進する。

②マルチメディア・ネットワークを活用した教育

キャンパスネットワークの活用によるコンピュータ教育を徹底し、情報化社会に対応する能力を養う。さらに、専門科目の学習においても、学習ツールとしてのコンピュータ活用を徹底し、マルチメディア教材をできる限り取り入れる。

③多様な「人間・こころ・行動」に触れる教育

人間生活の主体である「人間」との接触経験を重視する。具体的には、心理学的研究法・心理療法に関する科目、及び演習科目を中心に、人間とふれあう実習や、人々が活動する多様な生活現場での観察学習や体験学習を数多く実践するように努める。

<履修指導方法>

シラバスの充実を図るとともに、入学時及び各学期直前に実施する学年別オリエンテーションにおいて、学生の履修科目選択に必要な情報や学習内容について周知徹底を図る。

特に、1年次に必修とする「入門ゼミナール」において、学科・学部の教育課程編成を十分に理解させるとともに、担当教員はアカデミックアドバイザーとして、学生の修学希望・目的に合わせた履修方法について綿密な相談と指導を行う。2年次以降も、「入門ゼミナール」あるいは「心理学入門演習」「人間発達演習」の担当教員が主となって履修指導を継続する。

<卒業要件>

共通科目から、「初年次ゼミナール」2科目2単位、「十文字学」から6単位以上（但し、A領域1科目2単位、B領域又はC領域のいずれか1科目2単位を必修）、「保健体育」から3科目4単位、「外国語」の外国語I（英語・中国語・フランス語・スペイン語・日本語（但し日本語を母語としない者のみ）より1つの外国語を選択）から1科目2単位、「情報処理基礎」から3科目4単位を必修とし、必修科目12単位を含む18単位以上を履修する。

専門科目から、卒業研究を含めた必修科目38単位を含み98単位以上を履修する。なお、科目区分「社会科目」「生活科目」「教育・保健科目」から必修科目「社会心理学概論」を除き5科目10単位、「研究法・実習科目」のうち「データ解析法」「心理学実験実習」「社会調査法」「心理検査法応用」「行動観察法」「カウンセリング技法入門」「発達・教育相談」から3科目6単位を履修する。

その他、共通科目及び自学科の専門科目に加え、他学科の専門科目（同一開講科目として自学科の専門科目として認定しているものを除く）を自由選択科目として8単位以上を履修し、合計124単位以上を履修することを卒業要件とする。

<履修モデル>

履修モデル3「認定心理士の申請資格を取得し、民間企業等へ就職する場合」（資料3）

履修モデル4「養護教諭免許を取得する場合」（資料4）参照。

食物栄養学科

<教育方法>

食物栄養学科における教育方法の特色は、次の4項目である。

①授業の方法

食物栄養学科は科学的な根拠に基づく見識、企画力・指導力、実践力を備えた感性豊かな食と栄養と健康の専門家を養成するため、共通科目・専門科目・自由選択科目に区分され、講義、演習、実験・実習等の授業形態の授業及び卒業研究の研究指導によって教育を行う。

②クラス編成

1学年120名を3クラス40名ずつにわけ、各クラスに担任を配置し、学生の履修や学習方法、生活指導などに当てる。

③授業受講人数

講義、演習、実験・実習科目はいずれも、教育効果を充分にあげられる人数とする。なお、マイク、パソコン（PC）、ビデオプロジェクター、スクリーン、書画カメラ（教材提示）、OHPなどを設置し利用することにより十分な学習効果が望める。

④担当教員

講義、演習は1名の教員、実験・実習には1名の教員と1名の助教・助手が担当する。担当教員は前期・後期に各1回、学生からアンケート方式の授業評価を受け、授業の質の向上に役立てる。

<履修指導方法>

履修指導方法は入学時と各学年の各学期開始前のオリエンテーション時にクラス担任が中心となっていく。学年全体への指導はガイダンスとして毎年4月に行い、学生個人への対応も必要に応じて行う。

①科目履修の原則

専門科目は基礎的で導入されやすい科目→専門的基礎分野科目→専門分野科目→専門発展する分野の順に科目を履修する。授業の配当年次は段階的に知識が積み重なること、臨地実習に必要な知識・技術は実習前に習得することを配慮した。

また、教育課程は栄養士、管理栄養士の資格と連動しているが、資格を取らない学生もごく少数想定される。このような学生にも学科設置の趣旨を踏まえた履修をするように強く指導する。

②履修科目年間登録上限は設けていない。また、他大学における授業科目の履修は認めていない。

<卒業要件等>

共通科目から、「初年次ゼミナール」2科目2単位、「十文字学」から6単位以上（但し、A領域1科目2単位、B領域又はC領域のいずれか1科目2単位を必修）、「保健体育」から3科目4単位、「外国語」の外国語Ⅰ（英語・中国語・フランス語・スペイン語・日本語（但し日本語を母語としない者のみ）より1つの外国語を選択）から1科目2単位、「情報処理基礎」から3科目4単位を必修とし、必修科目12単位を含む18単位以上を履修する。

専門科目から、卒業研究を含めた必修科目34単位を含み98単位以上を履修する。その他、共通科目及び自学科の専門科目に加え、他学科の専門科目（同一開講科目として自学科の専門科目として認定しているものを除く）を自由選択科目として8単位以上を履修し、合計124単位以上を履修することを卒業要件とする。

専門科目は、基礎科目として [社会・環境と健康]は2科目3単位、[人体の構造と機能及び疾病の成り立ち]3科目6単位、[食べ物と健康]5科目8単位、[基礎栄養学]は1科目2単位、[応用栄養学]1科目2単位、[栄養教育論]1科目2単位、[臨床栄養学]1科目2単位、[公衆栄養学]1科目2単位、[給食経営管理論]1科目2単位、[総合演習]1科目1単位を必修科目とし、合計30単位とする。また、[社会・環境と健康]は3科目5単位、[人体の構造と機能、疾病の成り立ち]8科目13単位、[食べ物と健康]10科目14単位、[基礎栄養学]1科目1単位[応用栄養学]3科目5単位、[栄養教育論]4科目6単位、[臨床栄養学]5科目8単位、[公衆栄養学]2科目3単位、[給食経営管理論]2科目3単位、[総合演習]1科目2単位、[臨地実習]5科目5単位を選択科目とし、合計64単位以上とする。ただし、栄養士資格取得のためには、[臨地実習]の「給食運営臨地実習」は履修しなければならない。さらに管理栄養士免許国家試験受験資格取得の場合は、「臨床栄養臨地実習Ⅰ」「臨床栄養臨地実習Ⅱ」「公衆栄養臨地実習」「給食経営管理臨地実習」から3科目3単位以上を履修する。

<履修モデル>

履修モデル5「栄養士資格+管理栄養士国家試験受験資格取得の場合」（資料5）参照。

人間福祉学科

<教育方法>

人間福祉学科の教育方法の特色は、基礎演習、演習、卒業研究を中心として、少人数教育を徹底させる。「実習」・「演習」等は福祉専門職養成の中核をなすもので、福祉現場との緊密な連携ときめ細かな指導により理論と実践の統合を目指す。

上述のような教育課程の目的のもと、専門科目の各領域について学習を進めるなかで、何よりも総合的な人間理解を重視し、福祉教育の基礎を培う。

<履修指導方法>

シラバスの充実を図るとともに、入学時及び各学期直前に実施する学年別オリエンテーションにおいて、学生の履修科目選択に必要な情報や学習内容について周知徹底を図る。

特に、1年次に必修とする「入門ゼミナール」において、学科・学部の教育課程編成を十分に理解させるとともに、担当教員はアカデミックアドバイザーとして、学生の修学希望・目的に合わせた履修方法について綿密な相談と指導を行う。

<卒業要件>

共通科目から、「初年次ゼミナール」2科目2単位、「十文字学」から6単位以上（但し、A領域1科目2単位、B領域又はC領域のいずれか1科目2単位を必修）、「保健体育」から3科目4単位、「外国語」の外国語I（英語・中国語・フランス語・スペイン語・日本語（但し日本語を母語としない者のみ）より1つの外国語を選択）から1科目2単位、「情報処理基礎」から3科目4単位を必修とし、必修科目12単位を含む18単位以上を履修する。

専門科目から、卒業研究を含めた必修科目16単位を含み98単位以上を履修する。

その他、共通科目及び自学科の専門科目に加え、他学科の専門科目（同一開講科目として自学科の専門科目として認定しているものを除く）を自由選択科目として8単位以上を履修し、合計124単位以上を履修することを卒業要件とする。

社会福祉士受験資格取得のためには、社会福祉基礎科目から20単位、ソーシャルワーク専門科目から39単位、社会福祉実践科目から7単位を取得しなければならない。

介護福祉士受験資格取得のためには、社会福祉基礎科目から20単位、ケアワーク専門科目から47単位、社会福祉実践科目から14単位を取得しなければならない。

<履修モデル>

履修モデル6「介護福祉士国家試験受験資格取得の場合」（資料6）

履修モデル7「社会福祉士国家試験受験資格取得の場合」（資料7）参照。

生活情報学科

<教育方法>

生活情報学科の教育方法の特色は、実践的少人数教育を主体としている。例えば、「E. 情報システムを創る」の多くの科目では、コンピュータによるプログラミング、グラフィックスの創作を小人数で個々の学生の能力に応じた教育を行う。「B. キャリアを形成する」の多くの科目では、フィールドスタディやワークショップ形態で現場体験を通じた学習を行う。

<履修指導方法>

1年次から、各学生に担任教員（1教員当たり8名程度学生）を割り当て、その教員が学生

個別に、その学生の進路希望に応じた履修指導を行う。2年次後期からはプレゼミナールが始まり、そのゼミ担任教員がその業務を引き継ぎ、個別履修指導を行う。

<卒業要件>

共通科目から、「初年次ゼミナール」2科目2単位、「十文字学」から6単位以上（但し、A領域1科目2単位、B領域又はC領域のいずれか1科目2単位を必修）、「保健体育」から3科目4単位、「外国語」の外国語Ⅰ（英語・中国語・フランス語・スペイン語・日本語（但し日本語を母語としない者のみ）より1つの外国語を選択）から1科目2単位、「情報処理基礎」から3科目4単位を必修とし、必修科目12単位を含む18単位以上を履修する。

専門科目から、5領域の科目群を融合して総合的に学ぶ狙いから、基礎科目15科目30単位を必修としている。一方でいずれかの専門性を持つことも必要であることから、ビジネス系志望学生には『Bキャリアを形成する』『Cビジネス社会を生きる』『Dビジネスで情報を生かす』の選択科目群から20科目40単位以上、情報系志望の学生には『Bキャリアを形成する』『Dビジネスで情報を生かす』『E情報システムを創る』の選択科目群から20科目40単位以上履修することを、卒業要件の条件として課し、専門科目として卒業研究を含め98単位以上を履修する。

その他、共通科目及び自学科の専門科目に加え、他学科の専門科目（同一開講科目として自学科の専門科目として認定しているものを除く）を自由選択科目として8単位以上を履修し、合計124単位以上を履修することを卒業要件とする。

<履修モデル>

履修モデル8 「システムエンジニアを目指す場合」（資料8）

履修モデル9 「Webデザイナー、CGを目指す場合」（資料9）

履修モデル10 「会計・経営部門の企業へ就職を目指す場合」（資料10）

履修モデル11 「企画・宣伝部門の企業へ就職を目指す場合」（資料11）参照。

メディアコミュニケーション学科

<教育方法の特色>

メディアコミュニケーション学科の教育方法の特色は、以下の5点である。

①初年次に学部共通の初年次ゼミナール科目「入門ゼミナール」（前期）で、大学での学び方、大学で学ぶことの目的意識を明確に意識させる。さらに、②もう一方の初年次ゼミナール科目「読書入門」（後期）では、文献を読んで理解し、自分の文章でまとめるという、レポート作成の基本を学ばせる。この2科目は、少人数クラスで専任教員が責任を持って行う。③同じく初年次に、学科基礎科目として各種メディアの特性を理解する科目を必修として履修させると同時に、特に文章表現力の基礎を身につけさせるために「文章表現（基礎）」を必修としている。④この科目は、2年前期の「文章表現（応用）」（必修）、2年前期の「ディベート」（必修）につながる自己表現力獲得の基盤となる科目である。これら3科目では、学生による発表、討論の場を用意し、個々の学生の表現力向上をはかるとともに、学生間のコミュニケーションを活発化する機会としても活用する。⑤学科専門科目はその内容によって、講義形式や講義・実習併用形式となるが、どちらにおいても、教材提供やレポート提出などでキャンパスネットワークを利用し、学生が日常的にコンピュータを使って学習することを奨励する。マルチメディア教材を積極的に用いて、学生の理解を深める。上記5分野のメディアでの新しい動きを伝え

るために、必要であれば外部講師を招いてタイムリーな授業を実施する。

<履修指導方法>

シラバスの活用とともに、前期、後期、それぞれの開始時に行われるオリエンテーションで、各学年で履修すべき科目を指導する。

また、入学時に学生全員を10人程度のクラスに分け、専任教員をクラス担任とする。クラス担任は1年次と2年次の2年間、学生に対し履修科目についてアドバイスをするだけでなく、学生生活全般についての相談に応じて、きめ細かい対応をはかる。3年次、4年次は、演習及び卒業研究担当教員がこの役割を引き継ぐ。

履修指導にあたっては、教育方法①、②にあるような学びのシーケンスに留意して、学生の関心に即して、その能力を伸ばすような助言を行う。(履修モデル12・13・14参照)

<卒業要件>

共通科目から、「初年次ゼミナール」2科目2単位、「十文字学」から6単位以上(但し、A領域1科目2単位、B領域又はC領域のいずれか1科目2単位を必修)、「保健体育」から3科目4単位、「外国語」の外国語I(英語・中国語・フランス語・スペイン語・日本語(但し日本語を母語としない者のみ)より1つの外国語を選択)から1科目2単位、「情報処理基礎」から3科目4単位を必修とし、必修科目12単位を含む18単位以上を履修する。

専門科目から、卒業研究を含めた必修科目26単位を含み、98単位以上を履修する。なお、『メディア』科目区分のうち「メディア文化論」「放送概論」「環境と社会」「アジア入門」「エンターテインメントメディア論」「マンガ・アニメ論」から3科目6単位、『コミュニケーション』科目区分のうち「ことばのしくみ」「ことばと文化」「異文化理解」「異文化コミュニケーション」「サブカルチャー論」「音声表現論」から3科目6単位を履修する。

その他、共通科目及び自学科の専門科目に加え、他学科の専門科目(同一開講科目として自学科の専門科目として認定しているものを除く)を自由選択科目として8単位以上履修し、合計124単位以上を履修することを卒業要件とする。

<履修モデル>

履修モデル12「メディアリテラシーとコミュニケーション能力をバランスよく学ぶ場合」(資料12)

履修モデル13「社会への発信力を高める場合」(資料13)

履修モデル14「個人の表現力を養う場合」(資料14)参照。

キ 施設、設備等の整備計画

a) 校舎等施設の整備

本学では、各学科で利用している実験・実習室や、演習室及び一般教室は、1号棟から10号館に配置している。これらの授業・研究棟は、延べ床面積は30,157㎡になる。また、1号棟及び7・8・9号館には、コンピュータ演習室もあり、学生は授業で利用している時間を除き夜20時迄自由に利用できるようになっている。教室等の施設においては、新人間生活学部では、現在の社会情報学部及び人間生活学部が使用していた設備を利用するが、今後とも円滑な教育・研究が行われるよう整備に努めていく。

また、授業で活用している、グラウンドやテニスコート及びアスレチックも学内のキャンパスにあり、総校地面積は、84,298㎡にもものぼる。その他、学生が休息に利用する場所とし

ては、カフェテリア、学生食堂の2つの食堂、団欒の場としての学生ホール、クラブ活動の施設として、文化系クラブを中心とした秋桜館、スポーツ系クラブを中心としたけやき館がある。なお、平成20年度より、省エネ推進プロジェクト委員会を設け、学内の省エネに取り組み、音姫（トレイの消音設備）の導入や照明の改善等、具体的に進めている状況である。

b) 図書等の整備

図書館は、正門を入ってすぐ右の鉄筋コンクリート造3階立ての専用棟である。図書館はこの本館以外にも、学内中央に位置する8号館1階に図書館分室を設けている。両施設とも、学生がいつでも利用しやすい学内の位置にあり、平成21年度は年間で約10万人の入館者があった。

授業のある期間の開館時間は、授業開始の10分前の8時50分から、夜20時迄（但し分室は本館の30分前迄）であり、授業終了後も十分に活用できる。現在、172,306冊の図書と、694タイトルの雑誌を所蔵しており、毎年約3,000冊の図書及び350タイトルの雑誌を購入し、蔵書数は年々増加している。生活科学や、人文科学、社会科学、情報科学から自然科学分野までの幅広い分野の図書・雑誌を所蔵しており、利用者も、自分の専門学科の分野の図書だけでなく、他学科の専門分野の図書まで、閲覧できる蔵書構成となっている。今回他学科の専門科目も履修できるという設置の目的に適した蔵書構成である。

そのほか、図書や雑誌類の紙媒体の資料だけでなく電子媒体の資料の収集の積極的に行っている。New York Timesなどの外国新聞のほか、朝日・読売・毎日新聞のオンラインデータベースや、国立情報学研究所の学術コンテンツポータル NACSIS-CiNii や科学技術振興機構の日本最大の科学技術系などの文献情報データベースや、メディカルオンライン、エルゼビア社の約1000タイトルの外国雑誌が閲覧できるサイエンスダイレクトなど電子ジャーナルも図書館内にある専用コンピュータ端末のほか、研究室や演習室、ゼミ室からでもアクセスできるようになっている。学部設置にあたり資料をそろえることはないが、今後も前述の計画をふまえた上で、図書等の整備を図っていく予定である。

c) 図書館の機能

図書館には、本館及び分室をあわせ約300席の閲覧席を有している。閲覧席には、個人キヤレルもあり、パソコンを接続できるように電源コンセントのほか、フロア内には無線LANの環境が整備されている。閲覧席は、各階とも書架を中心として周りに配置されている。その他、参考図書コーナーもあり、最新の辞書・事典類のほか、年鑑類は過去5年間分を配架している。

グループスタディールーム、視聴覚資料閲覧のオーディオビジュアルコーナー、マイクロ資料閲覧のためのマイクロリーダーもある。

図書館システムは、現国立情報学研究所の目録所在情報サービスシステムに接続して、本学の情報データベースを構築し、OPACシステムをインターネット上で公開している。国立情報学研究所の総合目録データベース（NACSIS-Webcat）による図書・雑誌目録の検索も可能である。このデータベースを基盤として、図書館ポータルサイトを公開している。貸出中の図書の確認や、資料の予約が可能である。

また平成22年度には、個人ポータルサイトの充実を計画している。新たなサービスとして、過去に自分が館外帯出をした図書の履歴の確認、OPACで検索した結果の保存、検索キーワードを個人ごとに入力しておくことにより新刊案内をメールで送るなどSDIサービスも可能と

なる。現在導入スケジュールの調整を行っているところである。

ク 入学者選抜の概要

本学への進学を検討する高校生等に、適切かつ詳細な情報を提供し、具体的な相談に応じるために、できうる限りの機会を設ける。具体的には以下の通りである。

- ①本学の職員が高校を個別訪問し、教員への説明及び生徒への説明会の実施
- ②本学におけるオープンキャンパスの開催（学科説明・個別相談などの実施）
- ③学内及び学外施設を利用した、高校教員・高校生対象の説明相談会
- ④大学の公式ホームページ等による入試情報等の提供
- ⑤大学の募集入試センター窓口における随時相談の受付及び学内諸施設の見学案内

入学試験における選抜方法は以下のとおりである。

a) 一般入試

高等学校及び同等の学校での学習の成果をもとに選抜を行う。教科としては、英語・国語・数学・地歴・理科を用意し、所定数の科目を応募者自身が選択して解答する方式で行う。なお、採点結果に基づいた選抜にあたっては、教科間での難易度の違いが、応募者の不利益を生じさせないための手立てをとるものとする。

b) AO入試

本学及び各学科の教育目標を理解し、本学の各学科における学習を強く希望することを応募の対象とする。応募者の選抜は、応募書類（エントリーシート）、予め提示する課題への取り組みの成果や状況を測る小論文ならび面接、高等学校での調査書を評価材料として行う。なお、応募希望者に対しては、本学で実施する入試説明会などへの参加を促進し、学科の教育目標や内容に関する理解を深めるように働きかける。

AO入試は、課題の提出後に面談を重視して選抜を行う対話型入試と、各学科の教育内容に適した資格を取得しているなど努力して取得してきた資格と面談で選抜を行う有資格者型入試と、試験日に課題を提出し課題に基づく小論文や作文、また面談などで選抜を行う課題型入試の3種類の選抜を行う。

c) 推薦入試

高等学校及び同等の学校において、一定水準以上の基礎学力や基本的な学習能力を修得していることを応募の対象とする。応募者の選抜は、人間に対するより深い理解を求めようとする態度、より豊かな社会や人間生活の実現を目指そうとする意欲や興味、人々に関わる出来事や現象を論理的かつ客観的にとらえようとする能力に対する評価に基づいて行う。そこで、高校より提出された調査票、入学試験当日に実施する小論文、本学の教員との面接の内容などを客観的に採点し、総合的な観点から検討し選抜を行う。

d) 大学入試センター試験利用入試

受験生の応募機会を増やし、受験生の利便性を増すために、大学入試センター試験を受験した生徒を対象として、センター試験での得点結果をもとに選抜を行う。

e) その他

【 社会人対象入試 】

高等学校及び同等の学校での修学を終え、3年間程度の社会的経験を有することを応募の条

件として、前述の推薦入試に準じた方法により態度や意欲などを検討し選抜を行う。

【 留学生対象入試 】

初等及び中等教育機関において12年間以上の修学を終え、日本に就学ビザで入国しようとする外国籍の応募者を対象とする。基礎的な日本語運用能力を有していることを条件として、前述の推薦入試に準じた方法により態度や意欲などを検討し選抜を行う。

【 帰国生徒対象入試 】

外国において最終学年を含めて2年以上継続して教育を受けた応募者（但し、現地日本人学校は除く）を対象とする。基礎的な学力を有していることを条件として、前述の推薦入試に準じた方法により態度や意欲などを検討し選抜を行う。

各種入学者選抜方法における募集定員は下記の通りである。

	定員	AO入試			推薦入試		一般入試				大学入試センター利用入試			留学生等
		対話	有資格	課題	I	II	A	B	C	D	I	II	III	
幼児教育学科	150	-	-	45	60		20	10	5	-	8	2	-	若干名
児童教育学科	50	-	-	5	23		10	4	3	-	3	2	-	若干名
人間発達心理学科	100	-	-	20	30		20	15	5	-	7	3	-	若干名
食物栄養学科	120	-	-	-	40		46	18	6	-	8	2	-	若干名
人間福祉学科	60	10	-	-	20		13	4	3	2	4	2	2	若干名
生活情報学科	100	15	10	-	30		10	10	5	5	7	5	3	若干名
メディアコミュニケーション学科	100	15	10	-	30		10	10	5	5	7	5	3	若干名

ケ 資格取得

取得可能な資格は以下のとおりである。

No.	資格	対象学科	資格取得のための必要条件		
1	幼稚園教諭一種免許状	幼児教育学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
		児童教育学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
2	小学校教諭一種免許状	児童教育学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
3	中学校教諭一種免許状(社会)	生活情報学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
4	中学校教諭一種免許状(家庭)	食物栄養学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
5	中学校教諭一種免許状(英語)	メディアコミュニケーション学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
6	高等学校教諭一種免許状(公民)	生活情報学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
7	高等学校教諭一種免許状(家庭)	食物栄養学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
8	高等学校教諭一種免許状(情報)	生活情報学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
9	高等学校教諭一種免許状(福祉)	人間福祉学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
10	高等学校教諭一種免許状(英語)	メディアコミュニケーション学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
11	特別支援学校教諭一種免許状	児童教育学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
12	養護教諭一種免許状	人間発達心理学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
13	栄養教諭一種免許状	食物栄養学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
14	学校図書館司書教諭	児童教育学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職及び学校図書館司書教諭関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
		人間福祉学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職及び学校図書館司書教諭関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
		生活情報学科	①国家資格	②資格取得可能	③教職及び学校図書館司書教諭関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
		メディアコミュニケーション学科	①国家資格	②資格取得可能	③教職及び学校図書館司書教諭関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
15	図書館司書	生活情報学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、司書関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
		メディアコミュニケーション学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、司書関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
16	保育士	幼児教育学科	①国家資格	②資格取得可能	④卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
17	栄養士	食物栄養学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
18	管理栄養士	食物栄養学科	①国家資格	②受験資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
19	サプリメントアドバイザー	食物栄養学科	①民間資格	②受験資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、サプリメントアドバイザー関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
20	フードスペシャリスト	食物栄養学科	①民間資格	②受験資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、フードスペシャリスト関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
21	健康運動実践指導者	食物栄養学科	①民間資格	②受験資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、健康運動実践指導者関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
22	第一種衛生管理者	食物栄養学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のほか、第一種衛生管理者関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
23	介護福祉士	人間福祉学科	①国家資格	②受験資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のうち、介護福祉士関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
24	社会福祉士	人間福祉学科	①国家資格	②受験資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目のうち、社会福祉士関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
25	認定心理士	人間発達心理学科	①民間資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
26	ピアヘルパー	人間発達心理学科	①民間資格	②受験資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
27	児童指導員任用資格	人間発達心理学科	①国家資格	②資格取得可能	③卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが、資格取得が卒業の必須条件ではない
28	ウェブデザイン実務士	生活情報学科	①民間資格	②資格取得可能	④ウェブデザイン関連科目の履修が必要だが、資格取得が卒業の必須条件ではない。

コ 実習の具体的計画

a) 幼稚園教育実習

幼稚園の教育実習は、本学が実習協力園として実習の承諾を得ているおおよそ70の公立および私立幼稚園にて行う。埼玉県、東京都、千葉県を中心に、学生の居住地に近い実習園に配属する。実習は、3年次5月に依頼し、3年次2月に1週間の参加観察実習、4年次6月に3週間の責任実習を含む実習を行う。学生の指導は、幼稚園教育実習担当教員が実習園の実習指導担当教諭と連携を図りながら行い、実習期間には本学科専任教員が巡回し、保育観察、実習生および担当教諭との面談を行う。実習生はクラスに1名ずつ配属され、担任教諭の指導のもとで実際の保育に携わり、部分実習の機会を持つ。4年次に6月の実習後半において、全日責任実習を行う。成績評価は、実習担当教員が実習園からの「評価表」に基づき評価する。事前指導として、1年次に附属幼稚園にて半日の観察実習、2年次後期に「幼児教育基礎実習」にて幼稚園でのべ7日間の参加実習を行い、子ども理解、保育理解を深める。3・4年次には、実習指導の授業「幼稚園教育実習総論」を開講し、担当教員による指導計画や教材研究の授業のほか、実習園園長および実習担当教諭の特別講義、附属幼稚園にて模擬保育などを行う。事後指導では、話し合いを中心に自己の保育実践を省察し、課題の明確化を促す。事前・事後指導ともに、必要に応じて個別指導も併せて行う。また、3・4年次には「保育インターンシップ」の機会を用意し、保育実践力の向上の場としている。実習園とは、年1回の実習会議を開催し、実習改善のための意見交換と連携の強化に努めている。

b) 保育実習

保育士資格取得のための保育実習科目として、「保育所保育実習Ⅰ」「施設実習Ⅰ」「保育所保育実習Ⅱ」「施設実習Ⅱ」「保育実習総論Ⅰ」「保育実習総論Ⅱ」を開講する。3年次に、実習指導のための通年授業「保育実習総論」を履修しながら、「保育所保育実習Ⅰ」「施設実習Ⅰ」にて、それぞれ90時間の保育所での実習、保育所以外の児童福祉施設および指定の社会福祉施設での実習を行う。4年次には、「保育実習総論Ⅱ」を履修しながら、「保育所保育実習Ⅱ」「施設実習Ⅱ」のどちらかを選択して実習する。「保育所保育実習Ⅰ」(必修)は、3年次4月に、原則として実習生の居住市町村の児童福祉担当課を通して実習の依頼を行い、大学の休業期間である9月上旬と2月下旬を中心とする期間に、指定の公立保育所にて実習を行う。0～6歳までのクラスにて保育士の指導のもとに保育補助として保育に携わり、各年齢の発達特性とそれに応じた保育援助を学ぶ。「保育所保育実習Ⅱ」(選択必修)は、4年次の夏休み期間に、実習生の居住地に近い社会福祉法人運営の保育所にて実習を行う。学生から提出された実習希望保育所に大学から実習を依頼する。1ないし2クラスに配属され、実習後半には責任実習を行い、保育士としての業務全般について体験し学ぶ。「施設実習Ⅰ」(必修)は3年次に、「施設実習Ⅱ」(選択必修)は4年次に、本学が実習協力施設として実習の承諾を得ているおおよそ50の施設にて実習する。「施設実習Ⅰ」では担当職員の指導のもとに施設保育士としての役割の実際を学ぶ。「施設実習Ⅱ」では、それに加えて、ケース・ワークなどの技法も深める。保育所には1～2名、施設には数名単位で配属し、特に宿泊を伴う実習では、実習生相互に協力して実習ができるように配慮している。いずれの実習においても、実習期間には、保育士資格を有し実習指導の経験が豊かな教員を中心に、巡回し、保育観察、実習生および担当保育士

との面談を行う。成績評価は、実習担当教員が実習施設からの「評価表」に基づき評価する。事前指導として、1年次に新座市公立保育所にて半日の参加実習、児童センター等児童厚生施設の観察実習を行い、新座市を中心に放課後児童クラブや障害児通園施設、子育て支援センターなどでのボランティア体験も推奨している。3・4年次には、実習指導の授業「保育実習総論Ⅰ」「保育実習総論Ⅱ」を開講し、保育所や実習施設の保育・生活形態、保育士に求められる役割について学習し、乳幼児の発達や健康、養護を含めた援助の実際、保育計画についても教材研究、事例研究を通して理解を深めている。事後指導では、話し合いを中心に自己の保育実践を省察し、課題の明確化を促す。事前・事後指導ともに、必要に応じて個別指導も併せて行う。また、3・4年次には「保育インターンシップ」の機会を用意し、保育実践力の向上の場としている。

c) 小学校教育実習

小学校の教育実習は、新座市を中心に志木市、朝霞市、和光市の公立小学校で行う。3年の4月に市内で教育実習希望の人数を市教育委員会報告して依頼する。6月に大学で各自の実習校を決定して、教育委員会へ依頼をする。7月に教育委員会で実習校を承認する。

教育実習の依頼、決定までを大学と教育委員会で行うので、学生が直接小学校へ訪問して実習依頼をする必要はない。ただし、特別の事情があるものについては、申し出ることにより新座市等以外の小学校の実習を認めることがある。認められた場合は本人が小学校に訪問等を行い、実習校を決める。新座市等以外の小学校で実習を希望する場合は、止むを得ないと判断された者のみ、決定までの手順により実習校を決定する。

d) 教育実習（中学・高校・養護・栄養 各教科科目）

本学で取得できる、高等学校教諭一種免許状〈英語・情報・公民・福祉・家庭〉、中学校教諭一種免許状〈家庭・社会・英語〉、栄養教諭一種免許状、養護教諭一種免許状の各教諭の免許状取得における教育実習は、全体を教職課程センターで管理している。

まず、実習先の依頼校については、学生の出身・卒業校のほか、各担当教員により実習校を確定し、教職課程センターで把握することとしている。特に福祉の教育実習においては、開講している学校が少ないために、担当教員及び提携校により依頼している。

実習に際しては、教育実習の前年度から、担当教員及び学生との間で、教育実習の時期、授業内容、教育実習までの準備について事前指導を行っている。また、実施後については、事後指導も行い実習の成果が得られるように配慮し、有意義な実習期間をおくることができたか、成績とともに評価をおこなっている。また、教育実習期間に学科教員による研究授業の参観も行っている。なお、手続き方法及び教育実習までの流れについては、教育実習日誌等に詳細に記されており、学生が個々の対応で困ることが無いように配慮されている。

e) 管理栄養士実習（栄養士実習を含む）

食物栄養学科では、栄養士養成のための校外実習として「給食運営臨地実習」と、管理栄養士養成のための臨地実習として「臨床栄養臨地実習Ⅰ」「臨床栄養臨地実習Ⅱ」「公衆栄養臨地実習」「給食経営管理臨地実習」を開講している。管理栄養士国家試験受験資格を取得するためには、「給食運営臨地実習」の1単位と他の4科目から3単位以上、合わせての4単位以上

の履修をしなければならない。実習では、「実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判定に基づく適切なマネジメントをおこなうために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図る」ことを目的として実施され、学内で修得する知識・技術を栄養管理の実践の場面に適用し、理論と実践をむすびつけて理解できる内容とするために実習施設との連携体制を図り、実施される。

実習先の確保状況では、平成14年度の開設から平成21年度までの実績があり、これらの実習施設は、今後も実習生の受け入れが可能であるとの承諾を得ている。また、平成22年度以降に新たに実習施設として加わる施設、さらには平成23年度に向け新規に開拓をする施設がわずかにある。具体的には、「臨床栄養臨地実習Ⅰ」「臨床栄養臨地実習Ⅱ」として、チーム医療の充実された医療施設、介護制度に基づく栄養ケアマネジメントを実施する実習施設、「公衆栄養臨地実習」として、地域社会の健康・栄養関連サービスに関して地域保健行政の実習施設などが、新規に開拓する施設としてあげられ、担当教員と施設の指導者との調整の段階に入っている。

実習先との契約内容（特に医療系の実習）に関して、個人情報保護については、誓約書に「実習中に知り得た患者・家族等の個人情報、実習期間中及び実習終了後においても他にもらしません。」という内容を含み、実習施設の病院長あてに提出をしている。また、施設によっては、病院で決められた書類により、文書の取り交わしを行っている。さらに、事故防止に関する取り決めについては、実習前に細菌検査を行い、証明書を施設側に提出している。なお、管理栄養士の実習であるため、患者に直接医療行為を行う実習はない。

実習前の準備状況では、感染予防対策として、麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘等の抗体検査を実施し、抗体価が低い場合は、ワクチンの接種を行うよう指導をしている。また、季節性インフルエンザの予防接種を受けさせている。

実習の事前指導では、臨地実習の目的・目標、施設の概要の把握、心構え等についての説明を行い、施設ごとに課題を作成し、その課題に沿って事前学習を行う。また、事後指導では、実習ノートの記録や課題の記録を基にまとめを行い、実習で修得した内容、反省などの報告書を作成させる。課題研究のまとめでは、グループごとに各種プレゼンテーションソフトを利用した発表をすることとし、プレゼンテーションの技法も学ぶ。

教員の巡回指導は、臨地実習の科目担当者のみならず食物栄養学科の全教員が、実習施設に伺い、学生の実習状況・実習内容の確認を施設指導担当者及び実習学生から得て、その内容を報告書として記録に残す。この報告書は、次年度の学生指導および実習施設の実習内容検討事項として利用し、常に実習水準の確保に教員全体で取り組んでいる。

成績評価及び単位認定方法では、学生の各種報告書、実習施設の指導担当者の報告書、巡回教員の報告書を中心とし、さらには事後指導である課題発表も含めて科目担当教員が行う。なお、施設の指導教員、巡回指導教員、科目担当者間に評価の差が生じている場合は、公正な評価ができるように、協議、検討する場を設けることとする。

f) 社会福祉士実習

社会福祉士については、2年次の後期（春休み期間中）と3年次の前期（夏休み期間中）にそれぞれ60時間の実習を行う前提（介護福祉士受験資格取得の場合は4年次の夏休みに120時間）で、事前・事後の社会福祉実習指導を実施している。実習先としては、主に埼玉県と

東京都の社会福祉施設、福祉事務所、社会福祉協議会、医療機関等51か所を確保しており、他に千葉県にも1施設を確保している。実習施設における実習指導者の配置状況は、社会福祉士登録証によって確認するとともに、日本社会福祉士会等が開催する実習指導者研修の受講を促している。実習中の教員による巡回は2週間に1回以上とし、学生への面接指導及び実習指導者との面談を実施している。実習終了後は、実習先からの評価と学生からの報告、実習ノート等を基に成績を評価し単位認定を行う。なお、年1回実習指導者を招いての実習報告会を実施するとともに、指導教員との意見交換の機会を持ち連携体制の強化に努めている。

g) 介護福祉士実習

介護福祉士については、1年次から3年次にかけて、国の定めた基準に従い、合計450時間と5日の実習を施設入所型の実習とグループホーム、通所施設、訪問介護事業所等において行うこととしており、施設については、東京都7埼玉県15、グループホーム等については、東京都8埼玉県19か所を確保している。実習施設における指導者は資格証明書によって確認し、巡回指導は週1回以上実施し、学生への面接指導及び実習指導者との面談を実施している。また、実習の前後には、技術等の確認と事例の検討等のため介護総合演習を行っている。実習終了後は、実習先からの評価と学生からの報告、実習ノート等を基に成績を評価し単位認定を行う。なお、年1回実習指導者を招いての実習報告会を実施するとともに、指導教員との意見交換の機会を持ち連携体制の強化に努めている。

サ 企業実習など学外実習を実施する場合は、その具体的計画

本学では、インターンシップ制度を導入している。学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度であり、社会につながる人材育成の一環として、社会の変化や産業界のニーズに対応し、社会における能力発揮と、社会とのつながりを考えられる力を育成することを目的としており、学生は企業でのインターンシップの学習プログラムにそって研修を行う。

本学において、2・3・4年次生を対象とし、実施期間は夏季休暇中（前期）、または春期休暇中（後期）を中心に約2週間（実質10日、実労60時間以上）実施する。インターンシップは、選択科目で2単位を認定している。評価は、学生からの学習成果レポートとともに、受入先からの評価表及び実習期間中に担当教員が受入先を訪問する巡回指導の中で実施状況をとらえ、総合的に判断する。

受入れ先の例としては、埼玉県庁、新座・朝霞・志木・戸田の各市役所のほか、日立製作所、リコー販売、オンワード樫山、蓼科情報、志正堂、広告社、プリンスホテル、ベルク、埼玉新聞社、産業経済新聞社、あさ出版、東急アド・コミュニケーションズなどがあげられる。

ス 編入学定員を設定する場合はその具体的計画

人間生活学部における、各学科の3年次編入学定員は、以下のとおりである。選抜方法は、法令に定める要件を備えていることを応募の条件として、英語と専門科目の2科目を受験科目として課し、前述の推薦入試に準じた方法により態度や意欲なども検討する。なお、編入学は平成25年4月からとする。

学科	3年次編入学定員
幼児教育学科	10名
児童教育学科	0名
人間発達心理学科	5名
食物栄養学科	10名
人間福祉学科	5名
生活情報学科	5名
メディアコミュニケーション学科	5名
合計	40名

ツ 管理運営

本学は単一学部となるため、これまでの管理運営方式を改め、学長を中心とする一元的な管理運営体制とする。学部長を置かず、学長と学長が指名する複数の担当副学長（総務担当副学長、教育担当副学長、募集・就職担当副学長）により、教学における管理体制を構築する。また、副学長の下にそれぞれの専門委員会を常置し、また必要に応じ学長は、学長補佐も置くことができることとしている。上記及び事務局長を含めたメンバーにより、運営会議を設置し、大学及び大学院の運営に関する重要な事項を審議し、管理運営の具体的な方針と対処について検討し、必要な場合は教授会に諮り、実施に当たる。

本学の重要事項を審議する機関として教授会を置き、学長がその議長となる。教授会の構成員は、学長のほか、副学長、学長補佐、専任の教授、准教授、講師及び助教とする。教授会では、教育課程の編成に関する事項や、学生の入学、退学、転学、留学、休学及び卒業に関する事項、学生の賞罰に関する事項、教員の人事に関する事項、学長候補者の推薦に関する事項、その他教育及び研究に関する重要事項を審議する。また、教授会から委任された事項を審議する学科代表者会議（代議委員会）、専門委員会を置く。

さらに、教学と経営が協議する場として、協議会を設ける。

テ 自己点検・評価

本学は、「十文字学園女子大学自己点検・評価委員会規則」に規定された自己点検・評価委員会が行った自己点検・評価について、(財)日本高等教育評価機構が実施する「平成20年度大学機関別認証評価」を受け、その結果、平成21年3月1日に、大学評価基準を満たしているとの通知を受けた。なお、自己評価報告書は大学のホームページに公開するとともに、冊子として関係機関に送付し、評価結果は機構のホームページにも公表されている。

今後も、自己点検・評価委員会を中心に、適宜自己点検・評価を行い、ホームページで掲載するほか、その情報を公開していくこととする。

ト 情報の提供

本学では大学が行う各種事業、教育研究活動等に関する情報を積極的に公開するために、インターネット及び各種印刷媒体を利用した下記項目等の情報提供を行っている。今後も情報提供の内容や方法について検討し、充実を図っていく。

a) インターネット

財務諸表をはじめとする学校法人十文字学園の事業に係る各種情報、学園・大学の沿革、建学の精神、大学院の教育理念や特徴、入学試験、カリキュラム、学費・奨学金、授業・教員紹介、教員の教育研究活動・社会貢献に関する情報、取得できる資格、卒業後の進路に関する情報、講演会・公開講座等の本学が行う各種行事・事業に関する情報、自己点検・評価報告書

b) 大学案内（冊子）

学園・大学の沿革、建学の精神、本学の教育理念や特徴、入学試験、カリキュラム、学費・奨学金、授業・教員紹介、教員の教育研究活動・社会貢献に関する情報、取得できる資格、卒業後の進路に関する情報

c) 学生便覧

学生の履修基準、学則等の情報

d) 入学選抜要項

入学試験に関する情報

e) 研究活動の報告

教員の研究活動等の状況に関する情報、学術論文（原著論文、総説等）、その他の論文（一般研究誌、研究報告等）、著書（学術書、啓蒙書等）、学会活動（口頭発表、ポスター発表等）、講演活動（学会発表以外の講演等）、社会活動（官公庁委員等）、その他（創作作品、公演、随筆等）

f) 自己点検・評価報告書

教育研究水準の向上のために実施する認証評価機関のガイドラインに沿った自己点検・評価の結果の報告書

g) 学生による授業アンケート結果報告書

FD（ファカルティ・ディベロップメント）として、毎年実施している学生の授業アンケートの結果報告書

ナ 授業内容方法の改善を図るための組織的な取組

教員の資質の維持向上、授業の内容・方法、研究指導の改善を図るための方策として、以下のような組織的取り組みを行う。

a) FD（ファカルティ・ディベロップメント）活動

本学では、これまでファカルティ・ディベロップメント委員会を中心として、組織的な取り組みにより、FD 活動の企画、運営、報告書作成等がなされ、FD 活動を積極的に推進してきた。具体的には、教授会の終了後に、各教員の授業の取り組みに関する発表会や、有識者による講演会を実施している。また、有志の教員による公開授業なども行ってきた。その他、定期的にFD 報告書を作成し、他大学へ送付し、学内では、図書館に所蔵し、閲覧に供している。

今後も、単一学部として、FD 研修会を随時開催し、本学の理念や教育目標、教員の心がまえ等の基礎事項を確認するとともに、授業・研究指導の実態・課題等に関する情報交換・討議を行って教育力向上を図っていく。

b) 授業評価の実施

本学は、平成15年より、社会情報学部で学生による最初に授業評価を実施し、人間生活学部でも、平成17年度から、実施している。現在は、全学ファカルティ・ディベロップメン

ト委員会を中心として、質問項目等の調整を行い実施している。実施形態は、原則授業の最終コマにおいて、学生に配布し、学生が取り纏め事務室へ提出している。その後、各個人毎の評価結果と全体の評価結果を、各教員へ配布するとともに、学生にも閲覧できるように、掲示している。

新学部発足によって FD 活動も一本化され、より有効なものとなることが期待され、これまで以上に授業の改善を行い教育力の向上を図っていく。

c) 自己点検・評価

上記テの「自己点検・自己評価」で述べたように、教育研究活動の状況について定期的に自己点検・評価を実施し、教育研究活動の向上及び教員の資質の維持向上を図る。

d) シラバス

科目ごとに授業のねらい・内容、授業計画、評価の方法、教材・参考文献、留意事項等を記載したシラバスを作成し、これに沿った授業を行う。学生にとっては、履修しようとする科目についてその内容、他の科目との関連や教育課程における位置付け等を理解するための情報源となっている。また一方、教員にとっては、計画的な授業の実施、授業改善を進めるための情報源となる。

e) 研究会・学会等への参加

教員自身が研究発表あるいは研鑽を行い、各分野での基礎・実践研究の前線の状況をつぶさに学ぶ。

ニ 社会的・職業的自立に関する指導及び体制

共通科目である、「キャリア教育」科目区分において「キャリアサポート」と、「自主社会活動」の2科目を開講する。「キャリアサポート」においては、様々な分野の第1線で活躍中の女性をゲスト講師として招聘し、学生たちがワークライフバランスのあるキャリア設計をするための指針となる内容の講義を開講する。本学部の専攻領域と関連のある分野とし、ゲスト講師の講義のほか、卒業後どのようなキャリアを考えるか、そのためにどのような準備をするか、学生が自発的に考えるために参加型ワークショップを取り入れるように授業を進める予定である。また、「自主社会活動」については、大学生のボランティアや社会活動への参加を促すことを目的に、学生が学内外における社会的な活動を30時間以上行い、それについてレポートを作成し、かつ、学内の報告会で発表した場合に、担当教員が評価する。活動の場と内容は、学外においては、社会福祉施設、児童館などの教育施設の活動、NGO、NPO、国際NGOなどが行うイベントの手伝いなど様々なボランティア活動、学内については、留学生支援ボランティアなどを予定している。このほか、各学科の専門科目においてインターンシップを開講して、学生の、社会的・職業的自立に関する指導及び体制を強化する。

また、新たに「キャリア教育センター」を創設し、本学におけるキャリア教育の中心機関とするとともに、募集・就職担当の副学長を置くこととし、そのもとに就職指導のための企画委員会を設置して、従来からの事務組織とともに全学を挙げて学生の社会的・職業的自立に取り組む体制を整備する。

以上

資料2(履修モデル2)

人間生活学部 児童教育学科履修モデル【小学校教諭の免許を取得の場合】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	履修時期					単位数			授業形態			備考				
			1 年 前 期	1 年 後 期	2 年 前 期	2 年 後 期	3 年 前 期	3 年 後 期	4 年 前 期	4 年 後 期	必 修	選 択	自 由		講 義	演 習	実 験・ 実 習	
共通科目	初年次ゼミナール	入門ゼミナール 読書入門	1前	○							1				○			
	十文字学	女性を学ぶ	女性を学ぶ 文学と女性	1・2・3・4前・後			○					2			○			オムニバス
		地域・社会を学ぶ	新座から学ぶ 日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前			○					2			○			オムニバス
		人間・環境を学ぶ	地球と環境 生命と生態系	1・2・3・4前			○					2			○			
		総合	総合科目 総合ゼミ	1・2・3・4前・後			○					2			○			
		保健体育	運動と健康 人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1前 1・2・3後 2・3・4後	○ ○							2 1 1 1			○		○ ○ ○	集中
	外国語	外国語 I (英語) 外国語 II (英語)	1通 2・3・4通	○			○				2			○	○			
	情報処理基礎	情報基礎論 情報処理演習 I 情報処理演習 II	1前 1前 1後	○ ○							2 1 1			○	○ ○			
	キャリア教育	キャリアサポート 自主社会活動	2・3前・後 1・2・3・4前・後			○					2 1			○	○			
		小計 (49科目)	—								12	22	0			—		—
	専門科目	教職の意義等に関する科目	教職入門	1前	○							2			○			
		教育の基礎理論に関する科目	教育学概論	1後		○						2			○			
教育心理学			1前	○							2			○				
学校関係法規			1後		○						2			○				
教育課程及び指導法に関する科目		教育課程・方法論	2前			○					2			○				
		初等国語科教育	2前			○					2			○				
		初等算数科教育	2前			○					2			○				
		初等理科教育	3前					○			2			○				
		初等体育科教育	2前				○				2			○				
		初等音楽科教育	3前					○			2			○				
		初等図画工作科教育	2前				○				2			○				
		初等社会科教育	3前					○			2			○				
		初等生活科教育	2後					○			2			○				
		初等家庭科教育	3前						○		2			○				
		道徳教育	3前						○		2			○				
		特別活動	2前								2			○				
		保育内容総論	3後							○	2			○				
		保育内容の指導法 (環境)	3前							○	2			○				
保育内容の指導法 (人間関係)		3前							○	2			○					
保育内容の指導法 (言葉)		3前							○	2			○					
保育内容の指導法 (音楽)		3前							○	2			○					
生徒指導、教育相談及び心理指導等に関する科目		生徒指導・進路指導	3前						○		2			○				
		教育相談	3前						○		2			○				
教育実習		学校参観	2通						○		1					○		集中
		教育実習事前事後指導	3前							○	1					○		
		教育基本実習	3後								1					○		
		教育応用実習	4前								3					○		
		幼稚園教育実習(事前・事後指導を含む)	3・4通								2					○		
教職実践演習		教職実践演習(幼・小)	4後							○	2			○				
教科に関する科目		国語	1後			○					2			○				
		算数	1後			○					2			○				
		音楽	1後			○					2			○				
	図画工作	1後			○					2			○					
	体育	1後			○					2			○					
	社会	2前				○				2			○					
	生活	1後				○				2			○					
	理科	2前					○			2			○					
	家庭	2後						○		2			○					
	教科または教職に関する科目	特別支援教育概論	1後			○					2			○				
特別支援教育指導法		2前				○				1			○					
学校関係法規特別講義		3後								2			○					
表現活動概論		3後								2			○					
表現活動(基礎)		2前					○			1			○					
表現活動(応用)		2後						○		1			○					
学習指導と学校図書館		2前						○		2			○					
学級経営と教科指導		3後								2			○					
教職基礎演習		1通						○		2			○					
教職発展演習		2通							○	2			○					
教職応用演習		3通								2			○					
介護等体験事前事後指導		2通								1			○			集中		
外国語活動		2後								2			○					
学芸総合演習		3前								1			○					
教材研究		2通								2			○					
授業研究	3通								2			○						
教育学特別講義	2後								2			○						
演習	卒業研究演習	3通							○	2			○					
	小計 (56科目)	—								49	56	0			—		—	
	卒業研究	4通								○	4			○			—	
	小計 (1科目)	—								4	0	0			—		—	
	合計 (106科目)	—								65	78	0			—		—	

資料3(履修モデル3)

人間生活学部 人間発達心理学履修モデル【認定心理士の申請資格を取得し、民間企業等へ就職する場合】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	履修時期								単位数			授業形態			備考	
			1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
共通科目	初年次ゼミナール	入門ゼミナール 読書入門	1前 1後	○								1 1				○ ○		
	十文字学	女性を学ぶ	女性を学ぶ 女性としごと	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前			○						2 2			○ ○		オムニバス
		地域・社会を学ぶ	現代社会を考える 社会の仕組みの理解	1・2・3・4前 1・2・3・4後	○								2 2			○ ○		
		人間・環境を学ぶ	地球と環境	1・2・3・4後									2			○		
		総合	総合科目	1・2・3・4前・後									2			○		
	保健体育	運動と健康	1前	○									2			○		
		人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1・2・3後 2・3・4後	○ ○				○ ○					1 1 1				○ ○ ○	集中
	外国語	外国語1(英語)	1通		○								2				○	
	情報処理基礎	情報基礎論	1前	○									2				○	
		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1後	○ ○									1 1				○ ○	
キャリア教育	キャリアサポート	2・3前・後						○				2				○		
	自主社会活動	1・2・3・4前・後						○				1				○		
	小計(49科目)	—										12	16	0		—	—	
専門科目	生涯発達科目	心理学概論	1前	○								2				○		
		発達心理学概論	1後		○								2				○	
		乳幼児期の心理学	2前			○							2				○	
		児童期の心理学	2前			○							2				○	
		青年期の心理学	2前			○							2				○	
		中高年期の心理学	3前				○						2				○	
		母子関係論	3後					○					2				○	
		文化と発達	3・4前						○				2				○	
		発達心理学特講	3・4後								○		2				○	
	心理臨床科目	臨床心理学概論	1後		○								2				○	
		発達臨床心理学	2前			○							2				○	
		カウンセリング基礎Ⅰ(理論)	1後		○								2				○	
		カウンセリング基礎Ⅱ(技法)	2・3前				○						2				○	
		精神保健概論	2・3後				○						2				○	
		児童期の心理臨床	2・3後				○						2				○	
		青年期の心理臨床	2・3後				○						2				○	
		中高年期の心理臨床	3・4後					○					2				○	
		障害者の心理学	3・4前						○				2				○	
		障害者の発達支援	3・4後							○			2				○	
	心理療法	3・4前							○			2				○		
	発達臨床フィールドワーク	3・4後								○		2				○		
	研究法・実習科目	心理学入門演習	2前		○								1				○	
		人間発達演習	3通								○		2				○	
		心理学方法論	2後				○						2				○	
		心理統計法	1前	○									2				○	
		心理学情報処理法	1後		○								2				○	
		心理学基礎実験	1後		○								1				○	
心理検査基礎		2前			○							2				○		
データ解析法		2・3後						○				2				○		
心理学実験実習		2・3後						○				2				○		
社会調査法		2・3前				○						2				○		
行動観察法		2・3後					○					2				○		
発達・教育相談		3・4後							○			2				○		
インターンシップ		2・3・4前・後								○		2				○		
発達支援活動	2・3・4後									○	2				○			
社会科目	社会心理学概論	1後		○								2				○		
	対人社会心理学	2・3・4前				○						2				○		
	人間関係の心理学	2・3・4後				○						2				○		
	産業・組織心理学	3・4前								○		2				○		
	キャリア心理学	3・4後									○	2				○		
職場のメンタルヘルス	3・4前										2				○			
生活科目	家族心理学	3・4前					○					2				○		
	性格心理学	1・2・3後					○					2				○		
	食の心理学	2・3・4前				○						2				○		
	健康心理学	3・4後									○	2				○		
創造性の心理学	3・4前						○				2				○			
教育・保健科目	教育心理学Ⅰ	1・2前			○							2				○		
	教育相談	3・4前										2				○		
	子どもの生活支援	2・3・4前								○		2				○		
	公衆衛生学	3・4前									○	2				○		
	救急処置活動	2・3・4後									○	2				○		
	小計(72科目)	—										34	66	0		—	—	
卒業研究	卒業研究	4通										4				○		
	小計(1科目)	—										4	0	0		—	—	
自由選択科目	ビジネス文書作成 (生活情報学科)	1後		○								2						
	新しいWebページ (生活情報学科)	3前										2						
	デジタル色彩 (生活情報学科)	2前			○							2						
	Webデザイン基礎 (メディアコミュニケーション学科)	2・3・4前										2						
	合計(122科目)	—										50	90	0		—	—	

資料4(履修モデル4)

人間生活学部 人間発達心理学科履修モデル [養護教諭免許を取得する場合]

科目区分	授業科目の名称	配当年次	履修時期								単位数			授業形態			備考	
			1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
共通科目	初年次ゼミナール	入門ゼミナール 読書入門	1前 1後	○ ○								1 1					○ ○	
	十文字学	女性を学ぶ	女性のからだと心 文学と女性	1・2・3・4前 1・2・3・4後			○						2 2				○ ○	
		地域・社会を学ぶ	日本国憲法の内容と精神 現代社会を考える	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前			○						2 2				○ ○	
		人間・環境を学ぶ	芸術と人間理解 生命と生態系	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前			○						2 2				○ ○	
	保健体育	運動と健康 人間と運動 身体運動	1前 1前 1・2・3後	○ ○								2 1 1						○ ○
	外国語	外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語)	1通 2・3・4通	○		○						2 2		2			○ ○	
	情報処理基礎	情報基礎論	1前	○									2				○	
		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1後	○ ○									1 1				○ ○	
	小計(49科目)	—										12	14	0		—	—	
生涯発達科目	心理学概論	1前	○									2				○		
	発達心理学概論	1後		○								2				○		
	乳幼児期の心理学	2前			○							2				○		
	児童期の心理学	2前			○							2				○		
	青年期の心理学	2前			○							2				○		
	中高年期の心理学	3前				○						2				○		
	母子関係論	3後										2				○		
	ライフサイクル論	3・4後										2		2		○		
	発達心理学特講	3・4後										2		2		○		
	心理臨床科目	臨床心理学概論	1後		○								2				○	
発達臨床心理学		2前			○							2				○		
カウンセリング基礎Ⅰ(理論)		1後		○								2				○		
カウンセリング基礎Ⅱ(技法)		2・3前			○							2		2		○		
幼児期の心理臨床		2・3後										2		2		○		
児童期の心理臨床		2・3後				○						2		2		○		
青年期の心理臨床		2・3後				○						2		2		○		
中高年期の心理臨床		3・4後										2		2		○		
障害者の心理学		3・4前										2		2		○		
障害者の発達支援		3・4後										2		2		○		
心理療法	3・4前										2		2		○			
発達臨床フィールドワーク	3・4後										2		2		○			
専攻科目	心理学入門演習	2前		○								1				○		
	人間発達演習	3通										2				○		
	発達心理学外書講読	3・4前										2		2		○		
	心理学方法論	2後				○						2		2		○		
	心理統計法	1前	○									2		2		○		
	心理学情報処理法	1後		○								2		2		○		
	心理学基礎実験	1後		○								1		1		○		
	心理検査法基礎	2前			○							2		2		○		
	心理学実験実習	2・3後				○						2		2		○		
	心理検査法応用	2・3後										2		2		○		
	行動観察法	2・3後				○						2		2		○		
	カウンセリング技法入門	3・4前					○					2		2		○		
発達・教育相談	3・4後										2		2		○			
発達支援活動	2・3・4後										2		2		○			
社会科目	社会心理学概論	1後		○								2				○		
	コミュニケーションの心理学	1・2・3後		○								2		2		○		
	人間関係の心理学	2・3・4後				○						2		2		○		
生活科目	グループダイナミクス	3・4前										2		2		○		
	家族心理学	3・4前										2		2		○		
	食の心理学	2・3・4前										2		2		○		
教育・保健科目	健康心理学	3・4後										2		2		○		
	教育心理学Ⅰ	1・2前	○									2		2		○		
	教育心理学Ⅱ	1・2後		○								2		2		○		
	生徒指導	3・4前										2		2		○		
	教育相談	3・4前										2		2		○		
	養護概説	2・3前			○							2		2		○		
	学校保健Ⅰ	1・2前	○									2		2		○		
	健康相談活動	3・4後										2		2		○		
	免疫学	1・2前	○									2		2		○		
	衛生学	1・2・3後		○								2		2		○		
	公衆衛生学	3・4前										2		2		○		
	看護学概論	2・3・4前				○						2		2		○		
	看護援助方法	2・3・4後					○					2		2		○		
	小児保健看護学	3・4前					○					2		2		○		
	救急処置活動	2・3・4後					○					2		2		○		
臨床看護実習	3・4後										2		2		○			
小計(72科目)	—	—										34	78	0		—	—	
卒業研究	卒業研究	4通										4				○		
	小計(1科目)	—	—									4	0	0		—	—	
合計(122科目)			—									50	92	0		—	—	

資料7(履修モデル7)

人間生活学部 人間福祉学科 履修モデル [社会福祉士国家試験受験資格取得の場合]

科目区分	授業科目の名称	配当年次	履修時期								単位数			授業形態			備考	
			1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
共通科目	初年次ゼミナール	入門ゼミナール 読書入門	1前 1後	○ ○							1 1					○ ○		
	十文字学	女性を学ぶ	女性を学ぶ	1・2・3・4前・後	○								2			○		オムニバス
		地域・社会を学ぶ	日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後		○							2			○		
		人間・環境を学ぶ	芸術と人間理解	1・2・3・4前・後		○							2			○		
		総合	総合科目	1・2・3・4前・後	○								2			○		
	保健体育	運動と健康	1前	○								2				○		
		人間と運動	1前	○								1					○	
		身体運動	1・2・3後		○							1					○	
	外国語	外国語Ⅰ(英語)	1通	○								2				○		
	情報処理基礎	情報基礎論	1前	○								2				○		
情報処理演習Ⅰ		1前	○								1							
情報処理演習Ⅱ		1後		○							1							
小計(49科目)		—									12	8	0					
専門科目	社会福祉基礎科目	社会福祉概論Ⅰ	1前	○							2				○			
		社会福祉概論Ⅱ	1後		○							2			○			
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ	2前			○						2			○			
		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ	2後				○					2			○			
		障害者福祉論	2前			○						2			○			
		医学一般	1前	○							2				○			
		権利擁護と成年後見制度	3前				○					2			○			
		心理学理論と心理的支援	3前				○					2			○			
		社会保障論Ⅰ	3前				○				2				○			
		ソーシャルワーク論Ⅰ	1後		○						2				○			
	社会学概論	1・2・3・4後				○					2			○				
	社会福祉の歴史	1・2・3・4前			○						2			○				
	養護原理	1・2・3・4前						○			2			○				
	ソーシャルワーク専門科目	ソーシャルワーク論Ⅱ	2前		○							2			○			
		ソーシャルワーク論Ⅲ	2後			○						2			○			
		ソーシャルワーク論Ⅳ	3前				○					2			○			
		ソーシャルワーク論Ⅴ	3後					○				2			○			
		ソーシャルワーク論Ⅵ	4前						○			2			○			
		就労支援サービス論	2後			○						2			○			
		児童・家庭福祉論	2前			○						2			○			
		地域福祉論Ⅰ	2前			○					2				○			
		地域福祉論Ⅱ	2後			○						2			○			
		社会調査の基礎	2前			○						2			○			
		福祉行財政と福祉計画	2後			○						2			○			
		社会理論と社会システム	2後			○						2			○			
		公的扶助論	3前				○				2				○			
保健医療サービス論		3前				○					2			○				
社会保障論Ⅱ	3後					○				2			○					
更生保護制度	3後					○				2			○					
社会福祉施設経営論	3後					○				2			○					
相談援助演習Ⅰ	1後		○							1			○					
相談援助演習Ⅱ	2前			○						1			○					
相談援助演習Ⅲ	2後				○					1			○					
相談援助演習Ⅳ	3前					○				1			○					
相談援助演習Ⅴ	3後						○			1			○					
社会福祉実践科目	社会福祉基礎実習	1前	○							1				○		集中		
	相談援助実習指導Ⅰ	2・3後			○						1			○				
	相談援助実習指導Ⅱ	3・4前				○					1			○				
	相談援助実習指導Ⅲ	3・4後					○				1			○				
	社会福祉実習	3・4通						○			4			○		集中		
社会福祉展開科目	人間福祉演習	3通						○		2				○				
	人間福祉特論A(基礎)	4前							○		2			○		オムニバス		
	人間福祉特論B(展開)	4後							○		2			○		オムニバス		
	精神保健福祉論	1・2・3・4後		○							2			○				
	ボランティア・コーディネーション	1・2・3・4後		○							2			○				
	ケア論	1・2・3・4前						○			2			○				
	レクリエーション援助法	1・2・3・4前			○						2			○				
	介護基礎Ⅰ(入門)	2・3前			○						2			○				
	介護基礎Ⅱ(応用)	2・3後				○					2			○				
リハビリテーション論	2・3前					○				2			○					
社会福祉関連科目	手話	2・3・4前・後				○					2			○				
	健康科学概論	1後		○							2			○				
	家族心理学	3・4前						○			2			○				
	グループダイナミクス	3・4前						○			2			○				
	特別支援教育概論	1後		○							2			○				
小計(114科目)	—									12	91	0						
卒業研究	4通							○		4				○				
小計(1科目)	—									4	0	0						
自由選択科目	住居デザイン (生活情報学科)	3後						○			2							
	ビジネス文書作成 (生活情報学科)	3前					○				2							
	食物史 (食物栄養学科)	1後		○							2							
	文章表現(基礎) (IT・コミュニケーション学科)	1後						○			2							
合計(164科目)	—								28	107	0							

資料8(履修モデル8)

人間生活学部 生活情報学科履修モデル [システムエンジニアを目指す場合]

科目区分	授業科目の名称	配当年次	履修時期								単位数			授業形態			備考			
			1 年前 期	1 年 後 期	2 年 前 期	2 年 後 期	3 年 前 期	3 年 後 期	4 年 前 期	4 年 後 期	必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習				
共通科目	初年次ゼミナール	入門ゼミナール 読書入門	1前 1後	○ ○									1 1				○ ○			
	十文字学	女性を学ぶ	女性を学ぶ	1・2・3・4前	○										2			○	オムニバス	
			女性とメディア	1・2・3・4後	○										2			○		
			女性としごと	1・2・3・4前	○											2			○	
			女性のからだと心	1・2・3・4前			○									2			○	
	地域・社会を学ぶ	グローバリゼーションと社会 社会の仕組みの理解	1・2・3・4後	○											2			○	オムニバス	
			1・2・3・4後		○											2			○	
	保健体育	運動と健康 人間と運動 身体運動	1前 1前 1・2・3後	○ ○ ○										2 1 1					○ ○	
			外国語	外国語Ⅰ(英語)	1通	○										2				○
				外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通			○									2			
情報処理基礎	情報基礎論 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1前 1後	○ ○ ○										2 1 1				○			
		キャリア教育	キャリアサポート	2・3前			○								2			○		
	小計(49科目)	—											12	16	0		—	—		
専門科目	A豊かな生活力を育てる	民法入門	1前	○										2			○			
		コミュニティビジネス	2・3後				○								2			○		
	Bキャリアを形成する	社会人基礎力	1後		○										2			○	集中	
		インターンシップ入門	2・3前			○									2			○		
		インターンシップ実習	2・3前					○							2				○	
		問題解決手法	2・3前						○						2			○		
		キャリアモデルケース研究	2後						○						2			○		
	Cビジネス社会を生きる	会計学基礎	1前	○											2			○		
		簿記入門	1後		○										2			○		
		経営学基礎	1後		○										2			○		
		ビジネス経済学	2前			○									2			○		
		マネープランニング	3前						○						2			○		
	Dビジネスで情報を生かす	株式投資入門	3後							○					2			○		
		情報社会論	1後		○										2			○		
		企業と情報	2前			○									2			○		
		会計情報システム	3前						○						2			○		
		インターネットビジネス	2後						○						2			○		
		調査と統計	2前			○									2			○		
		パソコン活用	1前	○											2			○		
		ビジネス文書作成	1後		○										2			○		
		データ活用	2前			○									2			○		
	E情報システムを創る	ビジネスデータ活用基礎	3前							○					2			○		
		ビジネスデータ活用応用	3後								○				2			○		
		Webページ作成基礎	2前			○									2			○		
		Webページ作成応用	2後				○								2			○		
		新しいWebページ	3前					○							2			○		
		データベース入門	2前			○									2			○		
データベース基礎		2後				○								2			○			
ネットワーク基礎		2前			○									2			○			
インターネットとセキュリティ		2後				○								2			○			
ネットワーク設定		3前					○							2			○			
サーバ設定		3後						○						2			○			
ソフトウェア基礎		1前	○											2			○			
ハードウェア基礎		1後		○										2			○			
情報数学		2前			○									2			○			
システム設計入門		2後					○							2			○			
システム設計基礎	3前						○						2			○				
プログラミング入門	1前	○											2			○				
プログラミング初級	1後		○										2			○				
プログラミング中級	2前			○									2			○				
プログラミング上級	2後				○								2			○				
ゲームプログラミング	3前							○					2			○				
Webアプリケーション	3後								○				2			○				
演習	生活情報総合講義	2前			○									2			○	オムニバス		
	プレゼミナール	2後				○								2				集中		
	演習Ⅰ	3前					○							2				集中		
	演習Ⅱ	3後							○					2				集中		
	小計(82科目)	—											30	64	0		—	—		
	卒業研究	4通											4				○			
	小計(1科目)	—											4	0	0		—	—		
合計(132科目)			—										46	80	0		—	—		

資料9(履修モデル9)

人間生活学部 生活情報学科履修モデル【Webデザイナー、CGを目指す場合】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	履修時期							単位数			授業形態			備考		
			1 年前 期	1 年後 期	2 年前 期	2 年後 期	3 年前 期	3 年後 期	4 年前 期	4 年後 期	必 修	選 択	自 由	講 義	演 習		実 験・ 実 習	
共通科目	初年次ゼミナール	入門ゼミナール 読書入門	1前 1後	○ ○								1 1				○ ○		
	十文字学	女性を学ぶ	女性とメディア	1・2・3・4後	○								2			○		
		地域・社会を学ぶ	グローバルゼーションと社会 社会の仕組みの理解	1・2・3・4後 1・2・3・4後	○ ○								2 2			○ ○		オムニバス
	保健体育	運動と健康	1前	○									2			○		
		人間と運動 身体運動	1前 1・2・3後	○ ○									1 1				○ ○	
	外国語	外国語Ⅰ(英語)	1通	○									2				○	
		外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通		○								2				○	
情報処理基礎	情報基礎論	1前	○									2			○			
	情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1後	○ ○									1 1						
	小計(49科目)	—										12	8	0		—	—	
専門科目	A豊かな生活力を育てる	消費生活と法律	2・3前				○						2			○		
		生活構造論	2・3前			○							2			○		
		グローバルゼーションと生活	2・3後						○				2			○		
		コミュニティビジネス	2・3後					○					2			○		
	Bキャリアを形成する	社会人基礎力	1後		○								2			○		
		インターンシップ入門 インターンシップ実習	2・3前 2・3前			○ ○							2 2			○ ○		集中
		キャリア開発論	2前			○							2			○		
	Cビジネス社会を生きる	会計学基礎	1前	○									2			○		
		簿記入門	1後		○								2			○		
		マーケティング論	2前			○							2			○		
		ブランド戦略	3後						○				2			○		
		経営学基礎 ビジネス経済学 ビジネスと法律	1後 2前 2後		○ ○ ○								2 2 2			○ ○ ○		
	Dビジネスで情報を生かす	情報社会論	1後		○								2			○		
		企業と情報	2前			○							2			○		
		会計情報システム	3前				○						2			○		
		インターネットビジネス	2後				○						2			○		
		調査と統計	2前			○							2			○		
パソコン活用 ビジネス文書作成 データ活用		1前 1後 2前	○ ○ ○									2 2 2			○ ○ ○		オムニバス	
E情報システムを創る	Webページ作成基礎	2前			○							2			○			
	Webページ作成応用	2後				○						2			○			
	新しいWebページ	3前					○					2			○			
	アニメーション入門	1後		○								2			○			
	アニメーション制作	2前			○							2			○			
	デジタルビデオ編集	3前					○					2			○			
	コンピュータミュージック	3後						○				2			○			
	デジタル色彩	2前				○						2			○			
	コンピュータグラフィックス	2前				○						2			○			
	3次元CG	2後					○					2			○			
	住居デザイン	3後						○				2			○			
	ネットワーク基礎	2前					○					2			○			
	インターネットとセキュリティ	2後						○				2			○			
ネットワーク設定	3前							○			2			○				
サーバ設定	3後								○		2			○				
ソフトウェア基礎	1前	○									2			○				
ハードウェア基礎	1後		○								2			○				
情報数学	2前				○						2			○				
プログラミング入門	1前	○									2			○				
プログラミング初級	1後			○							2			○				
プログラミング中級	2前				○						2			○				
プログラミング上級	2後					○					2			○				
ゲームプログラミング	3前						○				2			○				
Webアプリケーション	3後							○			2			○				
演習	生活情報総合講義	2前			○							2			○		オムニバス	
	ブレゼミナール	2後				○						2					集中	
	演習Ⅰ	3前					○					2					集中	
	演習Ⅱ	3後						○				2					集中	
	小計(82科目)	—										30	72	0		—	—	
	卒業研究	4通										4				○		
	小計(1科目)	—										4	0	0		—	—	
自由選択科目	映像編集	(メディアコミュニケーション学科)	2・3・4前				○					2			○		2	
	DTP基礎	(メディアコミュニケーション学科)	2・3・4前				○					2			○			
	DTP応用	(メディアコミュニケーション学科)	2・3・4後					○				2			○		2	
	情報とデザイン	(メディアコミュニケーション学科)	2・3・4前・後					○				2			○			
	合計(132科目)	—										46	88	0		—	—	

資料10(履修モデル10)

人間生活学部 生活情報学科履修モデル [会計・経営部門の企業へ就職を目指す場合]

科目区分	授業科目の名称	配当年次	履修時期				単位数			授業形態			備考		
			1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	必修	選択		自由	講義
共通科目	初年次ゼミナール	入門ゼミナール 読書入門	1前 1後	○ ○						1 1				○ ○	
	十文字学	女性を学ぶ	女性とメディア 女性としごと 女性の社会参画の国際比較	1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後	○ ○ ○						2 2 2			○ ○ ○	
		地域・社会を学ぶ	グローバルゼーションと社会 社会の仕組みの理解	1・2・3・4後 1・2・3・4後	○ ○						2 2			○ ○	
	保健体育	運動と健康	1前	○							2				
		人間と運動 身体運動	1前 1・2・3後	○ ○							1 1				○ ○
	外国語	外国語Ⅰ(英語)	1通	○							2				○
		外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通			○					2				○
	情報処理基礎	情報基礎論	1前	○							2				○
		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1後	○ ○							1 1				○ ○
		小計(49科目)	—								12	12	0		—
専門科目	A豊かな生活力を育てる	民法入門	1前	○							2			○	
		消費生活と法律	2・3前				○				2			○	
		生活環境論	2・3前			○					2			○	
		グローバルゼーションと生活	2・3後					○			2			○	
		コミュニティビジネス	2・3後				○				2			○	
		生活経済	2・3前			○					2			○	
		生活と産業	2・3後				○				2			○	
		女性と起業	2・3後					○			2			○	
		家族と労働法	2・3後				○				2			○	
	Bキャリアを形成する	社会人基礎力	1後		○						2			○	
		インターンシップ入門	2・3前			○					2			○	
		インターンシップ実習	2・3前				○				2			○	集中
		ライフコースと生活設計	2・3前			○					2			○	
		ワークライフバランス論	3前					○			2			○	
		問題解決手法	2・3前					○			2			○	
	Cビジネス社会を生きる	人材育成論	3後					○			2			○	
		会計学基礎	1前	○							2			○	
		簿記入門	1後		○						2			○	
		簿記基礎	2前			○					2			○	
		簿記初級	2後				○				2			○	
		簿記中級	3前					○			2			○	
		簿記上級	3後						○		2			○	
		マーケティング論	2前			○					2			○	
		ブランド戦略	3後						○		2			○	
		経営学基礎	1後			○					2			○	
		ビジネス経済学	2前				○				2			○	
		ビジネスと法律	2後				○				2			○	
		企業戦略論	3後						○		2			○	
		企業倫理	3前						○		2			○	
		マネープランニング	3前						○		2			○	
国際経営論	3後						○		2			○			
株式投資入門	3後						○		2			○			
Dビジネスで情報を生かす	情報社会論	1後		○						2			○		
	企業と情報	2前			○					2			○		
	会計情報システム	3前					○			2			○		
	インターネットビジネス	2後						○		2			○		
	調査と統計	2前			○					2			○		
	社会調査法Ⅰ(量的調査)	2後				○				2			○		
	社会調査法Ⅱ(質的調査)	2後					○			2			○		
	マーケティングリサーチ	3前						○		2			○		
	パソコン活用	1前	○							2			○		
	ビジネス文書作成	1後		○						2			○		
	データ活用	2前			○					2			○		
ビジネスデータ活用基礎	3前						○		2			○			
ビジネスデータ活用応用	3後						○		2			○			
E情報システムを創る	Webページ作成基礎	2前			○					2			○		
	ソフトウェア基礎	1前	○							2			○		
	ハードウェア基礎	1後		○						2			○		
	プログラミング入門	1前	○							2			○		
演習	生活情報総合講義	2前			○					2			○		
	プレゼミナール	2後				○				2			○	オムニバス	
	演習Ⅰ	3前					○			2			○	集中	
	演習Ⅱ	3後						○		2			○	集中	
	小計(82科目)	—								30	76	0		—	
	卒業研究	4通							○	4			○		
	小計(1科目)	—								4	0	0		—	
	合計(132科目)	—								46	88	0		—	

人間生活学部 生活情報学科履修モデル【企画・宣伝部門の企業へ就職を目指す場合】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	履修時期						単位数			授業形態			備考		
			1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	必修	選択	自由	講義		演習	実験・実習
共通科目	初年次ゼミナール	入門ゼミナール 読書入門	1前 1後	○ ○						1 1					○ ○		
	十文字学	女性を学ぶ	女性とメディア 女性としごと	1・2・3・4後 1・2・3・4前	○ ○						2 2				○ ○		
		地域・社会を学ぶ	グローバル化と社会 社会の仕組みの理解	1・2・3・4後 1・2・3・4後	○ ○						2 2				○ ○		オムニバス
	保健体育	運動と健康	1前 1前 身体運動	1前 1前 1・2・3後	○ ○ ○						2 1 1				○ ○ ○		
		外国語	外国語Ⅰ(英語)	1通	○						2				○		
			外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通			○					2			○		
	情報処理基礎	情報基礎論	1前	○							2				○		
		情報処理演習Ⅰ	1前	○							1						
情報処理演習Ⅱ		1後		○						1							
	小計(49科目)	—								12	10	0		—		—	
専門科目	A豊かな生活力を育てる	民法入門	1前	○							2			○			
		消費生活と法律	2・3前				○				2			○			
		グローバル化と生活	2・3後					○			2			○			
		コミュニティビジネス	2・3後					○			2			○			
		生活経済	2・3前			○					2			○			
		生活と産業	2・3後				○				2			○			
		女性と起業	2・3後					○			2			○			
	Bキャリアを形成する	社会人基礎力	1後		○						2			○			
		インターンシップ入門	2・3前			○					2			○			集中
		インターンシップ実習	2・3前				○				2			○			
		ライフコースと生活設計	2・3前			○					2			○			
		ワークライフバランス論	3前					○			2			○			
		問題解決手法	2・3前					○			2			○			
	Cビジネス社会を生きる	人材育成論	3後						○		2			○			
		会計学基礎	1前	○							2			○			
		簿記入門	1後		○						2			○			
		簿記基礎	2前								2			○			
		マーケティング論	2前			○					2			○			
		ブランド戦略	3後					○			2			○			
		経営学基礎	1後		○						2			○			
		ビジネス経済学	2前			○					2			○			
		ビジネスと法律	2後				○				2			○			
		企業戦略論	3後					○			2			○			
		企業倫理	3前					○			2			○			
	Dビジネスで情報を生かす	マネープランニング	3前					○			2			○			
		国際経営論	3後					○			2			○			
		株式投資入門	3後					○			2			○			
情報社会論		1後		○						2			○				
企業と情報		2前			○					2			○				
インターネットビジネス		2後				○				2			○				
調査と統計		2前			○					2			○				
社会調査法Ⅰ(量的調査)		2後				○				2			○				
社会調査法Ⅱ(質的調査)		2後				○				2			○				
マーケティングリサーチ		3前					○			2			○				
E情報システムを創る	パソコン活用	1前	○							2			○				
	ビジネス文書作成	1後		○						2			○				
	データ活用	2前				○				2			○				
	ビジネスデータ活用基礎	3前					○			2			○				
	ビジネスデータ活用応用	3後					○			2			○				
	We bページ作成基礎	2前			○					2			○				
	We bページ作成応用	2後				○				2			○				
	新しいWe bページ	3前					○			2			○				
	アニメーション入門	1後		○						2			○				
	アニメーション制作	2前			○					2			○				
	デジタル色彩	2前			○					2			○				
演習	コンピュータグラフィックス	2前			○					2			○				
	ソフトウェア基礎	1前	○							2			○				
	ハードウェア基礎	1後		○						2			○				
	情報数学	2前			○					2			○				
自由選択科目	プログラミング入門	1前	○							2			○				
	生活情報総合講義	2前			○					2			○			オムニバス	
	プレゼミナール	2後				○				2			○			集中	
自由選択科目	演習Ⅰ	3前				○				2			○			集中	
	演習Ⅱ	3後					○			2			○			集中	
	小計(82科目)	—								30	78	0		—		—	
	卒業研究	4通							○	4				○			
	小計(1科目)	—								4	0	0		—		—	
自由選択科目	サブカルチャー論	(特'イ7コミュニケーション学科)	1・2・3前後								2			○			
	DTP基礎	(特'イ7コミュニケーション学科)	2・3・4前							2			○				
	DTP応用	(特'イ7コミュニケーション学科)	2・3・4後							2			○				
	雑誌文化論	(特'イ7コミュニケーション学科)	2・3・4前・後							2			○				
	合計(132科目)	—								46	96	0		—		—	

資料12(履修モデル12)

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科履修モデル [メディアリテラシーとコミュニケーション能力をバランスよく学ぶ場合]

科目区分	授業科目の名称	配当年次	履修時期								単位数			授業形態			備考	
			1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期	必須	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
共通科目	初年次ゼミナール	入門ゼミナール 読書入門	1前 1後	○ ○									1 1				○ ○	
	十文字学	女性を学ぶ	女性とメディア	1・2・3・4後	○									2			○	
		地域・社会を学ぶ	現代社会を考える	1・2・3・4前	○									2			○	
		人間・環境を学ぶ	芸術と人間理解	1・2・3・4前・後		○								2			○	
	保健体育	運動と健康	1前	○										2			○	
		人間と運動	1前	○										1				○
		身体運動	1・2・3後		○									1				○
	外国語	外国語 I (英語)	1通	○										2			○	
		外国語 II (英語)	2・3・4通			○								2			○	
	情報処理基礎	情報基礎論	1前	○										2			○	
情報処理演習 I		1前	○										1			○		
情報処理演習 II		1後		○									1			○		
キャリア教育	キャリアサポート	2・3前・後				○							2			○		
	小計 (49科目)	—											12	10	0	—	—	
専門科目	学科基礎	メディア社会論	1前	○									2			○		
		言語表現論	1前	○										2			○	
		ニュースと社会	1後		○									2			○	
		プレゼンテーション技法	1後		○									2			○	
		脳とコミュニケーション	1後		○									2			○	
		文章表現 (基礎)	1後		○									2			○	
		文章表現 (応用)	2前			○								2			○	
		ディベート	2前			○								2			○	
		情報倫理	2前			○								2			○	
	メディア	メディア文化論	1・2・3前・後	○										2			○	
		放送概論	1・2・3前・後		○									2			○	
		環境と社会	1・2・3前・後		○									2			○	
		アジア入門	1・2・3前・後		○									2			○	
		マンガ・アニメ論	1・2・3前・後			○								2			○	
		インターネット社会論	2・3・4前・後					○						2			○	
		メディア産業論	2・3・4前・後					○						2			○	
		国際マスコミュニケーション論	2・3・4前・後					○						2			○	
		政治とメディア	2・3・4前・後						○					2			○	
		地域メディア論	2・3・4前・後					○						2			○	
		国際関係論	2・3・4前・後			○								2			○	
コミュニケーション	映像文化論	2・3・4前・後				○							2			○		
	雑誌文化論	2・3・4前・後					○						2			○		
	広告デザイン	2・3・4後					○						2			○		
	雑誌・ミニコミ編集	2・3・4前				○							2			○		
	DTP基礎	2・3・4前				○							2			○		
	DTP応用	2・3・4後					○						2			○		
	Webデザイン基礎	2・3・4前						○					2			○		
	Webデザイン応用	2・3・4後							○				2			○		
	ことばのしくみ	1・2・3前	○										2			○		
	ことばと文化	1・2・3前・後	○										2			○		
異文化コミュニケーション	1・2・3前・後			○								2			○			
サブカルチャー論	1・2・3前・後						○					2			○			
音声表現論	1・2・3前・後	○										2			○			
ことばと社会	2・3・4前・後						○					2			○			
情報とデザイン	2・3・4前・後						○					2			○			
文化と文学A (日本文学)	2・3・4前・後					○						2			○			
文化と文学C (英米小説と女性)	2・3・4後						○					2			○			
文章表現 (発展)	2・3・4前・後							○				2			○			
コンピュータグラフィックス	2・3・4前・後				○							2			○			
コンピュータミュージック	2・3・4前・後					○						2			○			
アニメーション制作	2・3・4前・後						○					2			○			
ナレーションA (日本語)	2・3・4前・後				○							2			○			
ランゲージスキル	日常英会話	1・2・3前・後						○					2			○		
	メディア英語	1・2・3前・後							○				2			○		
キャリア支援	インターンシップ入門	2・3・4前・後			○								2			○		
	インターンシップ実習	2・3・4前・後				○							2				○	
	社会人基礎力	2・3・4前・後				○							2			○		
演習	演習 I	3前						○					2					
	演習 II	3後							○				2					
	小計 (77科目)	—											22	76	0	—	—	
	卒業研究	4通									○		4			○		
	小計 (1科目)	—											4	0	0	—	—	
合計 (127科目)			—										38	86	0	—	—	

資料13(履修モデル13)

人間生活学部 メディアコミュニケーション学科履修モデル【社会への発信力を高める場合】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	履修時期								単位数			授業形態			備考
			1 年前期	1 年後期	2 年前期	3 年前期	3 年後期	4 年前期	4 年後期	必 須	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習		
共通科目	初年次ゼミナール	入門ゼミナール	1前	○								1				○	
		読書入門	1後		○							1				○	
	十文字学	女性を学ぶ	女性とメディア	1・2・3・4後		○								2		○	
		地域・社会を学ぶ	現代社会を考える	1・2・3・4前		○								2		○	
	グローバリゼーションと社会		1・2・3・4後			○							2		○		オムニバス
	保健体育	運動と健康	1前	○									2		○		
		人間と運動	1前		○								1			○	
		身体運動	1・2・3後			○							1			○	
		シーズンスポーツ	2・3・4後				○						1			○	集中
	外国語	外国語 I (英語)	1通		○								2			○	
		外国語 II (英語)	2・3・4通				○						2			○	
情報処理基礎	情報基礎論	1前	○									2			○		
	情報処理演習 I	1前		○								1			○		
	情報処理演習 II	1後			○							1			○		
	小計 (49科目)	-										12	9	0	-	-	
専門科目	学科基礎	メディア社会論	1前	○								2			○		
		言語表現論	1前		○								2			○	
		ニュースと社会	1後			○							2			○	
		プレゼンテーション技法	1後			○							2			○	
		脳とコミュニケーション	1後			○							2			○	
		文章表現 (基礎)	1後			○							2			○	
		文章表現 (応用)	2前				○						2			○	
		ディベート	2前				○						2			○	
	情報倫理	2前				○						2			○		
	メディア	メディア文化論	1・2・3前・後	○									2			○	
		放送概論	1・2・3前・後	○									2			○	
		環境と社会	1・2・3前・後					○					2			○	
		アジア入門	1・2・3前・後				○						2			○	
		エンターテインメントメディア論	1・2・3前・後					○					2			○	
		マンガ・アニメ論	1・2・3前・後					○					2			○	
		インターネット社会論	2・3・4前・後					○					2			○	
		メディア産業論	2・3・4前・後					○					2			○	
		国際マスコミュニケーション論	2・3・4前・後					○					2			○	
		コミュニケーションの心理学	2・3・4前・後					○					2			○	
		教育とメディア	2・3・4前・後					○					2			○	
		政治とメディア	2・3・4前・後						○				2			○	
		地域メディア論	2・3・4前・後						○				2			○	
		生活と政治行政	2・3・4前・後							○			2			○	
		国際関係論	2・3・4前・後					○					2			○	
		映像文化論	2・3・4前・後					○					2			○	
		雑誌文化論	2・3・4前・後					○					2			○	
		インターネットビジネス	2・3・4後						○				2			○	
		ブランド戦略	2・3・4後							○			2			○	
		広告デザイン	2・3・4後						○				2			○	
	雑誌・ミニコミ編集	2・3・4前						○				2			○		
	DTP基礎	2・3・4前						○				2			○		
	DTP応用	2・3・4後							○			2			○		
	Webデザイン基礎	2・3・4前							○			2			○		
	Webデザイン応用	2・3・4後								○		2			○		
	映像編集	2・3・4前								○		2			○		
	ラジオ番組制作	2・3・4後									○	2			○		
	コミュニケーション	ことばと文化	1・2・3前・後		○								2			○	
異文化コミュニケーション		1・2・3前・後				○						2			○		
サブカルチャー論		1・2・3前・後					○					2			○		
ことばと社会		2・3・4前・後						○				2			○		
情報とデザイン		2・3・4前・後							○			2			○		
コンピュータグラフィックス		2・3・4前・後								○		2			○		
アニメーション制作		2・3・4前・後									○	2			○		
ランゲージスキル	日常英会話入門	1・2・3前・後										2			○		
	メディア英語	1・2・3前・後										2			○		
	ビジネス英語	1・2・3前・後										2			○		
キャリア支援	インターンシップ入門	2・3・4前・後										2			○		
	インターンシップ実習	2・3・4前・後										2			○	集中	
	社会人基礎力	2・3・4前・後										2			○		
演習	演習 I	3前										2					
	演習 II	3後										2					
	小計 (77科目)	-										22	80	0	-	-	
	卒業研究	4通										4			○		
	小計 (1科目)	-										4	0	0	-	-	
自由選択科目	新しいWebページ (生活情報学科)	3前										2					
	デジタルビデオ編集 (生活情報学科)	3前						○				2					
	情報社会論 (生活情報学科)	1後						○				2					
	ビジネス文書作成 (生活情報学科)	1後						○				2					
合計 (127科目)		-										38	97	0	-	-	

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	ミヤマル マサシ 宮丸 凱史 <平成23年4月>		学士 (体育)		十文字学園女子大学・同短期大学部 学長 (平成19年4月)

(注) 高等専門学校にあつては校長について記入すること。

教 員 の 氏 名 等												
(人間生活学部 幼児教育学科)												
調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
1	専	教授	アカイ ミチコ 赤井 美智子 (工藤) <平成23年4月>		家政学修士		入門ゼミナール 読書入門 児童学概論 ※ 児童学演習 精神保健	1前 1後 1前 1通 2後	1 1 0.1 2 4	1 1 1 1 2	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)	5日
2	専	教授	カネカツ ヒロコ 金勝 裕子 <平成23年4月>		芸術学士		入門ゼミナール 読書入門 児童学概論 ※ 児童学演習 保育内容の指導法(音楽表現) 音楽基礎Ⅱ(ピアノ基礎技術) 音楽基礎Ⅲ(楽器演奏) 表現総論 ※ ミュージック・クリエーション 児童音楽文化論 児童音楽文化論演習 教職実践演習(幼) 卒業研究	1前 1後 1前 1通 3前・後 1後 2前 3前 2・4前・後 3・4後 3・4前 4後 4通	1 1 0.1 2 8 2 2 0.1 2 2 1 2 4 4	1 1 1 1 4 2 2 1 2 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)	5日
3	専	教授	カミガイチ ノブコ 上垣内 伸子 <平成23年4月>		家政学修士		入門ゼミナール 読書入門 ※ 児童学概論 児童学演習 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 幼児教育学 保育学 保育学演習 保育内容総論 保育内容の指導法(言葉) 表現総論 ※ 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 教職実践演習(幼) 保育実習総論Ⅰ 保育実習総論Ⅱ 保育所保育実習Ⅰ 保育所保育実習Ⅱ 施設実習Ⅰ 施設実習Ⅱ 保育インターンシップ 卒業研究	1前 1後 1前 1通 2後 2後 1前 3・4前 3・4後 3後 3前 3前 4通 4通 4後 3通 4前 3・4通 3・4通 3・4通 3・4通 3・4通 4通	1 1 0.1 2 1 1 4 2 1 4 0.1 1 4 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)	5日
4	専	教授	サイトウ レイコ 齋藤 麗子 <平成23年4月>		医学博士		入門ゼミナール 読書入門 女性のからだごと心 児童学概論 ※ 児童学演習 児童保健学Ⅰ 児童保健学Ⅱ 児童保健学実習 精神保健 健康教育学 健康教育学演習 表現総論 ※ 教職実践演習(幼) 卒業研究	1前 1後 1・2・3・4前 1前 1通 1後 2後 2前 2後 3・4前 3・4後 3前 4後 4通	1 1 2 0.1 2 4 4 3 4 2 0.1 2 4 1	1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成22年4月)	5日
5	専	特任 教授	スキハラ タカシ 杉原 隆 <平成23年4月>		体育学修士		入門ゼミナール 読書入門 体育基礎Ⅰ(子どもと運動) 児童学概論 ※	1前 1後 1・2前・後 1前	1 1 6 0.1	1 1 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 特任教授 (平成20年4月)	4日
6	専	教授	ソガ ロント 曾我 淑人 <平成23年4月>		芸術学修士		入門ゼミナール 読書入門 児童学概論 ※ 児童学演習 音楽基礎Ⅰ(歌唱法) 音楽基礎Ⅱ(ピアノ基礎技術)	1前 1後 1前 1通 1前 1後	1 1 0.1 2 4 2	1 1 1 1 2 2	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)	5日
	兼任	講師	ソガ ロント 曾我 淑人 <平成24年4月>		芸術学修士		歌唱演習 音楽基礎Ⅲ(楽器演奏)	2・3・4後 2前	1 2	1 2		

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
7	専	教授	ツボクラ キヨコ 坪倉 紀代子 <平成23年4月>		体育学士		入門ゼミナール 読書入門 身体運動 シーズンスポーツ 児童学概論 ※ 児童学演習 保育内容の指導法(身体表現) 体育基礎Ⅱ(身体表現) 表現総論 ※ ボディワーク 身体表現論 身体表現論演習 教職実践演習(幼) 卒業研究	1前 1後 1・2・3後 2・3・4後 1前 1通 3前 2後 3前 3・4後 3・4後 3・4後 4後 4通	1 1 1 1 0.1 2 8 4 0.1 1 2 1 2 4	1 1 1 1 1 1 4 2 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)	5日
8	専	教授	ヒラタ トモヒサ 平田 晋久 <平成23年4月>		芸術学士		入門ゼミナール 読書入門 芸術と人間理解 児童学概論 ※ 児童学演習 保育内容の指導法(造形表現) ネイチャー・ワーク 造形基礎Ⅰ(感じて表現) 造形基礎Ⅱ(考えて表現) 表現総論 ※ 造形発達と表現 造形保育論 造形保育論演習 教職実践演習(幼) 卒業研究	1前 1後 1・2・3・4前・後 1前 1通 2後 2前 1前 1後 3前 2・3・4後 3・4前 3・4後 4後 4通	1 1 8 0.1 2 4 1 8 4 0.4 2 2 1 2 1	1 1 4 1 4 1 1 4 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)	5日
9	専	教授	ヤマダ ヨウコ 山田 陽子 <平成23年4月>		学校教育学修士		入門ゼミナール 読書入門 児童学概論 ※ 児童学演習 保育方法 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 障がい児保育Ⅰ 保育・教育課程論 保育カリキュラム論 保育カリキュラム論演習 保育内容総論 保育内容の指導法(人間関係) 保育内容の指導法(言葉) 表現総論 ※ 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 教職実践演習(幼) 保育実習総論Ⅰ 保育実習総論Ⅱ 保育所保育実習Ⅰ 保育所保育実習Ⅱ 施設実習Ⅰ 施設実習Ⅱ 保育インターンシップ 卒業研究	1前 1後 1前 1通 2後 2後 2前 3前 3・4前 3・4後 3後 3前 3前 3前 3・4通 4通 4後 3通 4前 3・4通 3・4通 3・4通 3・4通 3・4通 4通	1 1 0.1 2 2 1 3 4 2 1 4 2 0.1 1 4 1 1 2 2 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 3 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	中部学院大学 人間福祉学部 子ども福祉学科 教授 (平成20年4月)	5日
10	専	准教授	オオミヤ アキコ 大宮 明子 <平成23年4月>		博士(人文科学)		入門ゼミナール 読書入門 児童学概論 ※ 児童学演習 児童学研究Ⅰ(量的研究) 児童学研究Ⅱ(質的研究) 保育心理学 言語発達心理学 言語発達心理学演習 表現総論 ※ 教職実践演習(幼) 卒業研究	1前 1後 1前 1通 3前 3後 1後 3・4前 3・4後 3前 3後 3・4通 3・4通 3・4通 4通	1 1 0.1 2 2 2 3 2 1 0.1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	独立行政法人 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター アソシエイトフェロー (平成22年4月)	5日

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
11	専	准教授	ナガタ ミズエ 長田 瑞恵 (鈴木) <平成23年4月>		人文科学博士		入門ゼミナール 読書入門 児童学概論 ※ 児童学演習 児童学研究法Ⅰ(量的研究) 生涯発達心理学 臨床発達心理学 発達心理学 発達心理学演習 表現総論 ※ 教職実践演習(幼) 卒業研究	1前 1後 1前 1通 3前 1前 2・3後 3・4前 3・4後 3前 4後 4通	1 1 0.1 2 2 2 2 1 0.1 2 4 1	1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 准教授 (平成21年4月)	5日
12	専	准教授	ノグチ タカコ 野口 隆子 <平成23年4月>		修士(心理学) ※		入門ゼミナール 読書入門 児童学概論 ※ 児童学演習 児童学研究法Ⅱ(質的研究) 保育者論 保育実践論 保育実践論演習 保育内容の指導法(環境) 表現総論 ※ 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 教職実践演習(幼) 保育実習総論Ⅰ 保育実習総論Ⅱ 保育所保育実習Ⅰ 保育所保育実習Ⅱ 施設実習Ⅰ 施設実習Ⅱ 保育インターンシップ 卒業研究	1前 1後 1前 1通 3後 3前 3・4前 3・4後 2後 3前 3・4通 4通 4後 3通 4前 3・4通 3・4通 3・4通 3・4通 4通	1 1 0.1 2 2 4 2 1 0.1 1 4 4 2 1 1 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 2 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 准教授 (平成22年4月)	5日
13	専	准教授	ムカイ ミホ 向井 美穂 (木村) <平成23年4月>		家政学修士 ※		入門ゼミナール 読書入門 児童学概論 ※ 児童学演習 保育内容の指導法(人間関係) 保育・教育相談 発達臨床論 発達臨床論演習 子育て支援論 表現総論 ※ 教職実践演習(幼) 保育実習総論Ⅰ 保育実習総論Ⅱ 保育所保育実習Ⅰ 保育所保育実習Ⅱ 施設実習Ⅰ 施設実習Ⅱ 保育インターンシップ 卒業研究	1前 1後 1前 1通 3前 3前 3・4前 3・4後 2後 3前 4後 3通 4前 3・4通 3・4通 3・4通 3・4通 3・4通 3・4通 4通	1 1 0.1 2 4 4 2 1 4 0.1 2 1 1 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 2 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 准教授 (平成21年4月)	5日
14	専	講師	グンジ アキコ 郡司 明子 <平成25年4月>		教育学修士		入門ゼミナール 読書入門 芸術と人間理解 児童学概論 ※ 児童学演習 保育内容の指導法(造形表現) ネイチャー・ワーク 造形基礎Ⅱ(考えて表現) 表現総論 ※ アート教育論 アート教育論演習 教職実践演習(幼) 卒業研究	1前 1後 1・2・3・4前・後 1前 1通 2後 2前 1後 3前 3・4前 3・4後 4後 4通	1 1 4 0.1 2 4 1 4 0.1 2 1 2 4 1	1 1 2 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1	国立大学法人 お茶の水女子大学附属小学校 教諭 (平成14年4月)	5日

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
15	専	講師	ヨコイ ヒロコ 横井 絃子 (服部) <平成23年4月>		修士(人文科学)		入門ゼミナール 読書入門 児童学概論 ※ 児童学演習 幼児教育基礎実習 幼児教育基礎演習 保育人間学 保育人間学演習 保育内容総論 保育内容の指導法(健康) 表現総論 ※ 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 教職実践演習(幼) 保育実習総論Ⅰ 保育実習総論Ⅱ 保育所保育実習Ⅰ 保育所保育実習Ⅱ 施設実習Ⅰ 施設実習Ⅱ 保育インターンシップ 卒業研究	1前 1後 1前 1通 2後 2後 3・4前 3・4後 3後 2前 3前 3・4通 4通 4後 3通 4前 3・4通 3・4通 3・4通 3・4通 3・4通 4通	1 1 0.1 2 1 1 2 1 2 6 0.1 1 4 2 1 1 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 講師 (平成21年4月)	5日
16	専	助教	スズキ ハルコ 鈴木 晴子 <平成23年4月>		修士※ 心理学		入門ゼミナール 読書入門 児童学概論 ※ 児童学演習 子ども家庭福祉Ⅰ 社会福祉援助技術 児童福祉論 児童福祉論演習 表現総論 ※ 幼稚園教育実習総論 幼稚園教育実習 教職実践演習(幼) 保育実習総論Ⅰ 保育実習総論Ⅱ 保育所保育実習Ⅰ 保育所保育実習Ⅱ 施設実習Ⅰ 施設実習Ⅱ 保育インターンシップ 卒業研究	1前 1後 1前 1通 1前 3前・後 3・4前 3・4後 3前 3・4通 4通 4後 3通 4通 3・4通 3・4通 3・4通 3・4通 3・4通 4通	1 1 0.1 2 4 6 2 1 0.1 1 4 2 1 1 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 助手 (平成21年4月)	5日
17	兼担	講師	アベ フミ 阿部 史 <平成23年4月>		L.L.M※ (アメリカ)		女性を学ぶ ※ 社会の仕組みの理解	1・2・3・4前・後 1・2・3・4後	2 2	4 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 講師 (平成21年4月)	
18	兼担	講師	アヤイ サクラコ 綾井 桜子 <平成23年4月>		博士(教育学)		保育制度・保育政策論	2後	4	2	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 講師 (平成19年4月)	
19	兼担	講師	アンソニー ルファ アンソニー ルファ <平成23年4月>		M. A. (イギリス)		外国語Ⅰ(スペイン語)	1通	6	3	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 教授 (平成22年4月)	
	兼任	講師	アンソニー ルファ アンソニー ルファ <平成24年4月>		M. A. (イギリス)		外国語Ⅰ(スペイン語) 外国語Ⅱ(英語) 外国語Ⅱ(スペイン語) 外国語Ⅲ(スペイン語) 外国語Ⅳ(スペイン語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2 2	3 1 1 1 1		
20	兼担	講師	イダ ロカ 飯田 路佳 <平成23年4月>		体育学修士		運動と健康 人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1前 1・2・3後 2・3・4後	4 2 2 1	2 2 2 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 講師 (平成19年4月)	
21	兼担	講師	イグチ イソオ 井口 磯夫 <平成23年4月>		教育学修士		情報基礎論	1前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成19年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
22	兼担	講師	オオトモ ユキコ 大友 由紀子 ＜平成23年4月＞		文学修士※		女性を学ぶ ※ 現代社会を考える 家族関係論	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前 2・3・4前	2 2 2	4 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成13年4月)	
23	兼担	講師	オオニシ マサユキ 大西 正行 ＜平成23年4月＞		経済学士		総合科目 総合ゼミ	1・2・3・4前・後 1・2・3・4通	4 2	2 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 特任教授 (平成20年4月)	
24	兼担	講師	オオヤマ ヒロユキ 大山 博幸 ＜平成23年4月＞		教育学修士		養護内容	2後	3	3	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 講師 (平成16年4月)	
25	兼担	講師	オガサワラ ノリコ 小笠原 典子 ＜平成23年4月＞		文学学士 法学学士		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅲ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	2 2 2 2	1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 特任准教授 (平成15年4月)	
26	兼担	講師	カタイギ ヒゲト 片居木 英人 ＜平成23年4月＞		政治学修士※		女性を学ぶ ※ 日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 4	4 2	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 准教授 (平成18年4月)	
27	兼担	講師	カトウ アキコ 加藤 陽子 (杉本) ＜平成23年4月＞		博士(人間科学)		若者と精神保健	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 講師 (平成20年4月)	
28	兼担	講師	カメダ アツコ 亀田 温子 ＜平成23年4月＞		文学修士		女性を学ぶ ※ 女性としごと	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前	2 2	4 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成12年4月)	
29	兼担	講師	カリノ コウジ 狩野 浩二 ＜平成23年4月＞		修士(教育学)		新卒から学ぶ ※ 教育学	1・2・3・4前 1後	0.6 4	1 2	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成22年4月)	
30	兼担	講師	カワグチ ヒゲトシ 川口 英俊 ＜平成23年4月＞		法学修士※		社会の仕組みの理解 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4後 1前 1後	2 1 1	1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成20年4月)	
31	兼担	講師	キタハラ シュンイチ 北原 俊一 ＜平成23年4月＞		博士(理学)		物質のなりたち 地球と環境	1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2	1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成18年4月)	
32	兼担	講師	クリハラ ナオキ 栗原 直樹 ＜平成23年4月＞		文学士		子ども家庭福祉Ⅱ	2・3・4後	1	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成21年4月)	
33	兼担	講師	コウゴ トモミ 向後 朋美 (田中) ＜平成23年4月＞		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成17年4月)	
34	兼担	講師	コミネ マサヒコ 込江 雅彦 ＜平成23年4月＞		経済学修士※		新卒から学ぶ ※ 現代社会を考える グローバリゼーションと社会 ※	1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4後	0.8 2 1	1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 准教授 (平成17年4月)	
35	兼担	講師	サイカワ トミオ 斎川 富夫 ＜平成23年4月＞		社会学修士※		現代社会を考える	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成17年4月)	
	兼任	講師	サイカワ トミオ 斎川 富夫 ＜平成26年4月＞		社会学修士※							

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
36	兼担	講師	サトウ アネラ 佐藤 陽 <平成23年4月>		社会福祉学修士		社会福祉 養護原理	1後 2前	4 4	2 2	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 准教授 (平成16年4月)	
37	兼担	講師	シタラ ヌウコ 設楽 優子 (松尾) <平成23年4月>		Master of Arts (Phonetics) with Distinction (イギリス)		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 講師 (平成12年4月)	
38	兼担	講師	シヤマラ トヨヒロ 島村 豊博 <平成23年4月>		文学修士		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅳ(英語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成16年4月)	
	兼任	講師	シヤマラ トヨヒロ 島村 豊博 <平成26年4月>		文学修士							
39	兼担	講師	シミズ レイコ 清水 玲子 <平成23年4月>		音楽学士		芸術と人間理解 音楽基礎Ⅱ(ピアノ基礎技術) 音楽基礎Ⅲ(楽器演奏) ミュージック・クリエーション	1・2・3・4前・後 1後 2前 2・4前・後	4 2 2 2	2 2 2 2	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成19年4月)	
40	兼担	講師	スズキ ヒロタカ 鈴木 弘貴 <平成23年4月>		国際関係学修士※		グローバルイノベーションと社会 ※	1・2・3・4後	1	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成13年4月)	
41	兼担	講師	ツノダ シンジ 角田 真二 <平成23年4月>		工学修士		教育方法	2・3前	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成22年4月)	
42	兼担	講師	ツブキ タカシ 津吹 卓 <平成24年4月>		農学博士		生命と生態系	1・2・3・4前	2	1	十文字中学・高等学校 教諭 (昭和52年4月)	
	兼任	講師	ツブキ タカシ 津吹 卓 <平成23年4月>		農学博士							
43	兼担	講師	ナガレダ ナオ 流田 直 <平成23年4月>		教育学士		生活概説	2前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成19年4月)	
	兼任	講師	ナガレダ ナオ 流田 直 <平成25年4月>		教育学士							
44	兼担	講師	ハシモト ヒロコ 橋本 ヒロ子 <平成23年4月>		情報図書館学修士		女性を学ぶ ※ 女性とメディア 女性の社会参画の国際比較 キャリアサポート 自主社会活動	1・2・3・4前・後 1・2・3・4後 1・2・3・4後 2・3前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 4 2	4 1 1 2 2	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成15年4月)	
45	兼担	講師	ヒラタ ナオキ 平田 智秋 <平成23年4月>		博士(体育科学)		運動と健康 人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1前 1・2・3後 2・3・4後	2 4 3 1	1 4 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 講師 (平成18年4月)	
46	兼担	講師	ホシノ アツコ 星野 敦子 <平成23年4月>		学術博士		教育方法	2・3前	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 教授 (平成19年4月)	
47	兼担	講師	マサダ ヨシフミ 増田 吉史 <平成23年4月>		教育学士		算数概説	2前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成19年4月)	
48	兼担	講師	マツキ セイコ 松木 正子 <平成23年4月>		教育学士		国語概説	2前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成22年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
49	兼担	講師	マツナガ シュウイチ 松永 修一 ＜平成23年4月＞		文学修士※		新座から学ぶ ※	1・2・3・4前	0.6	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成22年4月)	
50	兼担	講師	ミナカワ ミエコ 皆川 美恵子 (森尻) ＜平成23年4月＞		人文学士博士		児童文化	2後	1	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成19年4月)	
51	兼担	講師	ミヤギ ミチコ 宮城 道子 (野崎) ＜平成23年4月＞		社会学修士※		女性を学ぶ ※ 女性としごと 地域福祉論	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前 2・3前	2 2 2	4 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成20年4月)	
52	兼担	講師	モリタ カツユキ 森田 勝之 ＜平成23年4月＞		文学士		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成15年4月)	
53	兼担	教授	ヤナギモト ユウジ 柳本 雄次 ＜平成23年4月＞		特殊教育学修士※		障害児保育Ⅱ	3前	3	3	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 特任教授 (平成22年4月)	
54	兼担	講師	ヤマモト サトル 山本 悟 ＜平成23年4月＞		体育学修士		人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ 体育基礎Ⅰ(子どもと運動)	1前 1・2・3後 2・3・4後 1・2前・後	3 3 1 2	3 3 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成22年4月)	
55	兼任	講師	アズマ ショウコ 東 聖子 ＜平成23年4月＞		博士(人文学)		文学と女性	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 教授 (平成8年4月)	
56	兼任	講師	アン ウォーカー アン ウォーカー ＜平成24年4月＞		M. A. English Literature (ニュージーランド)		外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通	6	3	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年4月)	
57	兼任	講師	イチカワ セツコ 市川 節子 ＜平成23年4月＞		芸術学士		音楽基礎Ⅱ(ピアノ基礎技術) 音楽基礎Ⅲ(楽器演奏)	1後 2前	4 2	4 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成17年4月)	
58	兼任	講師	イトウ ミキ 伊藤 美紀 (仲西) ＜平成24年4月＞		教育学修士		臨床心理学 青年心理学	3前 2・3・4後	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成15年4月)	
59	兼任	講師	イワサキ テイコ 岩崎 頼子 ＜平成24年4月＞		家政学士		保育方法	2後	2	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年4月)	
60	兼任	講師	ウエダ ケイコ 上田 啓子 ＜平成23年4月＞		教育学士		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1後	1 1	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成16年4月)	
61	兼任	講師	ウチノ ノブユキ 内野 伸之 ＜平成23年4月＞		法学修士		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
62	兼任	講師	オオキハラ アツシ 扇原 淳 ＜平成23年4月＞		博士(医学)		人間と運動 身体運動	1前 1・2・3後	3 3	3 3	早稲田大学 人間科学術院 人間科学部 健康福祉科学科 准教授 (平成21年4月)	
63	兼任	講師	オオバヤシ ケイゴ 大林 啓吾 ＜平成23年4月＞		博士(法学)		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後	4	2	帝京大学 法学部 講師 (平成19年3月)	
64	兼任	講師	オオハラ トモコ 大原 知子 ＜平成23年4月＞		博士(文学)		外国語Ⅰ(フランス語) 外国語Ⅱ(フランス語) 外国語Ⅲ(フランス語) 外国語Ⅳ(フランス語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成12年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
65	兼任	講師	オオリ ナオコ 大里 奈穂子 <平成23年4月>		修士(人文科学)		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語)	1通 2・3・4通	6 2	3 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年10月)	
66	兼任	講師	オダ アキコ 小田 明子 <平成24年4月>		外国語教育修士		外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	2・3・4通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年9月)	
67	兼任	講師	カクライ カヨコ 加倉井 佳世子 <平成23年4月>		芸術学士		音楽基礎Ⅱ(ピアノ基礎技術) 音楽基礎Ⅲ(楽器演奏) ミュージック・クリエーション	1後 2前 2・4前・後	4 2 2	4 2 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
68	兼任	講師	カトウ アキコ 加藤 暁子 <平成23年4月>		コミュニケーション学修士		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1後	1 1	1 1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 准教授 (平成22年4月)	
69	兼任	講師	カトウ マサル 加藤 優 <平成23年4月>		体育学修士		運動と健康	1前	8	4	埼玉県立大学 准教授 (平成11年4月)	
70	兼任	講師	カミト アクミ 神谷 明美 <平成24年4月>		芸術学士		音楽基礎Ⅰ(歌唱法)	1前	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	
71	兼任	講師	コ ソウウ 胡 祖耀 <平成23年4月>		農学修士※		外国語Ⅰ(中国語) 外国語Ⅱ(中国語) 外国語Ⅲ(中国語) 外国語Ⅳ(中国語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成16年4月)	
72	兼任	講師	コウノ トモコ 河野 智子 <平成23年4月>		修士※(人文科学)		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	
73	兼任	講師	コバヤシ ミノル 小林 実 <平成23年4月>		博士(文学)		文学と女性	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 講師 (平成20年4月)	
74	兼任	講師	サカキハラ リエコ 榎原 理枝子 <平成23年4月>		文学修士		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語) 外国語Ⅲ(英語)	1通 2・3・4通 2・3・4通	4 2 2	2 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成12年4月)	
75	兼任	講師	サトウ ノリコ 佐藤 典子 <平成23年4月>		体育学士		人間と運動 身体運動	1前 1・2・3後	2 2	2 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年4月)	
76	兼任	講師	サトウ リノ 佐藤 里野 <平成23年4月>		MA in Performance Studies (アメリカ)		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	お茶の水女子大学 英文研究室 7thデパート・アシスタント (平成17年10月)	
77	兼任	講師	シミズ フミコ 清水 文子 <平成23年4月>		体育学士		人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1・2・3後 2・3・4後	1 1 1	1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年4月)	
78	兼任	講師	シミズ マリコ 清水 真理子 <平成24年4月>		芸術学士		音楽基礎Ⅱ(ピアノ基礎技術) 音楽基礎Ⅲ(楽器演奏)	1後 2前	4 2	4 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年4月)	
79	兼任	講師	ソガベ ナツコ 曽我部 夏子 (塚越) <平成24年4月>		博士(学術)		食と発達	2・3前・後	8	4	駒沢女子大学 人間健康学部 講師 (平成21年4月)	
80	兼任	講師	チアシ コウイチ 千足 耕一 <平成24年4月>		博士(医学)		シーズンスポーツ	2・3・4後	1	1	東京海洋大学 海洋科学部 海洋政策文化学科 准教授 (平成20年9月)	
81	兼任	講師	テルヌマ アキコ 照沼 晃子 <平成23年4月>		芸術学士		保育内容の指導法(造形表現) 造形基礎Ⅱ(考えて表現)	2後 1後	4 4	2 2	関東学院大学 人間環境学部 准教授 (平成19年4月)	
82	兼任	講師	ニイダ チトシ 仁井田 千寿 <平成24年4月>		体育学士		体育基礎Ⅱ(身体表現)	2後	4	2	大泉保育福祉専門学校 講師 (平成7年4月)	
83	兼任	講師	ニコラス ルーツ ニコラス ルーツ <平成24年4月>		MA, Ed (アメリカ) Master of Arts (オーストラリア)		外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通	6	3	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	
84	兼任	講師	ニタ ミエコ 似田 美恵子 <平成23年4月>		文学准学士		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅲ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
85	兼任	講師	ニノミヤ ヌタカ 二宮 稔 <平成24年4月>		理学修士		子どもと自然	2後	3	3	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成16年4月)	
86	兼任	講師	ノムラ キョウコ 野村 京子 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年3月)	
87	兼任	講師	ハシモト カツミ 橋本 克己 <平成23年4月>		教育学修士		現代社会を考える	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 教授 (平成22年4月)	
88	兼任	講師	ハマノ ノリコ 浜野 範子 <平成23年4月>		芸術修士		音楽基礎Ⅱ(ピアノ基礎技術) 音楽基礎Ⅲ(楽器演奏)	1後 2前	4 2	4 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
89	兼任	講師	オハシ アキコ 帆足 暎子 <平成24年4月>		家政学士		乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ	2後 3前	6 2	3 2	ほあし 子どものこころクリニック 副院長 (平成15年3月)	
90	兼任	講師	ホシ ミワコ 星 三和子 (渡邊) <平成25年4月>		教育学修士※		多文化保育論	3・4前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 教授 (平成17年4月)	
91	兼任	講師	マエダ ヨウコ 前田 庸子 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅱ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
92	兼任	講師	マキタニ アツコ 槇谷 厚子 <平成25年4月>		文学士		保育計画	3後	2	1	学校法人希望学園 浦和のぞみ幼稚園 園長 (平成19年4月)	
93	兼任	講師	ミヤザキ ヨリコ 宮崎 順子 <平成23年4月>		人文学修士		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
94	兼任	講師	ミヤモト マサハル 宮本 正治 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成15年4月)	
95	兼任	講師	ヤギ マチコ 八木 真千子 <平成24年4月>		文学学士		外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	2・3・4通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
96	兼任	講師	ヤギ レイコ 八木 玲子 <平成23年4月>		博士(学術)		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1後	1 1	1 1	国際科学振興財団 専任研究員 (平成19年11月)	
97	兼任	講師	ヤスツネ カヨコ 安恒 佳代子 <平成23年4月>		文学士		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅲ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
98	兼任	講師	ヤベ ナオコ 矢部 尚子 <平成23年4月>		芸術学士		音楽基礎Ⅱ(ピアノ基礎技術) 音楽基礎Ⅲ(楽器演奏)	1後 2前	4 2	4 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年4月)	

(注)

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校に就任に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

教 員 の 氏 名 等												
（人間生活学部 児童教育学科）												
調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
1	専	教授	アコシマ シダミ 阿子島 茂美 <平成23年4月>		教育学修士		入門ゼミナール 読書入門 特別支援教育指導法 介護等体験事前事後指導 教材研究 授業研究	1前 1後 2前 2通 3通	1 1 1 1 2 2	1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 留学生別科 特任教授 (平成22年4月)	5日
2	専	教授	イグチ イソオ 井口 磯夫 <平成23年4月>		教育学修士		入門ゼミナール 読書入門 情報基礎論 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 教職基礎演習	1前 1後 1前 1前 1後 1通	1 1 2 1 1 2	1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成19年4月)	5日
3	専	教授	イワイ ユウイチ 岩井 雄一 <平成23年4月>		教育学士		入門ゼミナール 読書入門 特別支援教育概論 介護等体験事前事後指導	1前 1後 1後 2通	1 1 2 1	1 1 1 1	東京都 教職員研修センター 教育経営課 教授 (平成22年4月)	5日
4	専	教授	カネコ ヒロシ 金子 廣志 <平成24年7月>		文学士		教職実践演習(幼・小)	4後	2	1	新座市 教育委員会 教育長 (平成18年4月)	5日
5	専	教授	カリノ コウジ 狩野 浩二 <平成23年4月>		修士(教育学)		入門ゼミナール 読書入門 新座から学ぶ 教職入門 教育学概論 教育課程・方法論 学校参観 教育実習事前事後指導 教育基本実習 教育応用実習 幼稚園教育実習(事前・事後指導を含む) 教職実践演習(幼・小) 表現活動概論 表現活動(基礎) 表現活動(応用) 教職基礎演習 介護等体験事前事後指導 教材研究 授業研究 教育学特別講義 卒業研究演習 卒業研究	1前 1後 ※1・2・3・4前 1前 1後 2前 2通 3前 3後 4前 3・4通 4後 3後 2前 2後 1通 2通 2通 3通 2後 3通 3通 4通	1 1 0.6 2 2 1 1 1 1 3 4 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成22年4月)	5日
6	専	教授	クロセ タダミチ 黒瀬 任通 <平成23年4月>		教育学士		入門ゼミナール 読書入門 教職基礎演習	1前 1後 1通	1 1 2	1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科	5日
	兼任	講師	クロセ タダミチ 黒瀬 任通 <平成24年4月>		教育学士		初等社会科教育 社会	3前 2前	2 2	1 1	児童教育専攻 教授 (平成20年4月)	
7	専	教授	シミズ レイコ 清水 玲子 <平成23年4月>		音楽学士		入門ゼミナール 読書入門 芸術と人間理解 初等音楽科教育 保育内容の指導法(音楽) 学校参観 教育実習事前事後指導 教育基本実習 教育応用実習 幼稚園教育実習(事前・事後指導を含む) 教職実践演習(幼・小) 音楽 教職基礎演習 介護等体験事前事後指導 教材研究 授業研究 卒業研究演習 卒業研究	1前 1後 1・2・3・4前・後 3前 3前 2通 3前 3後 4前 3・4通 4後 1後 1通 2通 2通 3通 3通 4通	1 1 4 2 2 1 1 3 4 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成19年4月)	5日

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
8	専	教授	タカハシ キョウコ 高橋 京子 <平成23年4月>		教育学修士		保育内容総論	3後	2	1	三鷹市立 北野小学校 校長 (平成19年4月)	5日
9	専	教授	ツブキ タカシ 津吹 卓 <平成24年4月>		農学博士		入門ゼミナール 読書入門 生命と生態系 教育課程・方法論 初等理科教育 保育内容の指導法(環境) 学校参観 教育実習事前事後指導 教育基本実習 教育応用実習 幼稚園教育実習(事前・事後指導を含む) 教職実践演習(幼・小) 理科 教職基礎演習 介護等体験事前事後指導 教材研究 授業研究 卒業研究演習 卒業研究	1前 1後 1・2・3・4前 2前 3前 3前 2通 3前 3後 4前 3・4通 4後 2前 1通 2通 2通 3通 3通 4通	1 1 2 2 2 1 1 1 1 3 4 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字中学・ 高等学校 教諭 (昭和52年4月)	5日
	兼任	講師	ツブキ タカシ 津吹 卓 <平成23年4月>		農学博士		生命と生態系	1・2・3・4前	2	1		
10	専	教授	ナガレダ ナオ 流田 直 <平成23年4月>		教育学士		入門ゼミナール 読書入門 初等生活科教育 学校参観 生活 家庭 教職基礎演習 介護等体験事前事後指導 教材研究	1前 1後 2後 2通 1後 2後 1通 2通 2通	1 1 2 1 2 2 2 1 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成19年4月)	5日
	兼任	講師	ナガレダ ナオ 流田 直 <平成25年4月>		教育学士		初等生活科教育 初等家庭科教育 生活 家庭	2後 3前 1後 2後	2 2 2 2	1 1 1 1		
11	専	教授	マスダ ヨシフミ 増田 吉史 <平成23年4月>		教育学士		入門ゼミナール 読書入門 初等算数科教育 学校参観 教育実習事前事後指導 教育基本実習 教育応用実習 幼稚園教育実習(事前・事後指導を含む) 教職実践演習(幼・小) 算数 学校関係法規特別講義 学級経営と教科指導 教職基礎演習 教職発展演習 教職応用演習 介護等体験事前事後指導 教材研究 授業研究 卒業研究演習 卒業研究	1前 1後 2前 2通 3前 3後 4前 3・4通 4後 1後 3後 3後 1通 2通 3通 2通 2通 3通 3通 4通	1 1 2 1 1 1 3 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成19年4月)	5日
12	専	教授	マツキ セイコ 松本 正子 <平成23年4月>		教育学士		入門ゼミナール 読書入門 初等国語科教育 保育内容の指導法(言葉) 学校参観 教育実習事前事後指導 教育基本実習 教育応用実習 幼稚園教育実習(事前・事後指導を含む) 教職実践演習(幼・小) 国語 教職基礎演習 介護等体験事前事後指導 教材研究 授業研究 卒業研究演習 卒業研究	1前 1後 2前 3前 2通 3前 3後 4前 3・4通 4後 1後 1通 2通 2通 3通 3通 4通	1 1 2 2 1 1 3 4 4 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成22年4月)	5日

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
13	専	教授	ミナカワ ミエコ 皆川 美恵子 (森尻) <平成23年4月>		人文科学博士		入門ゼミナール 読書入門 保育内容総論 学校参観 教育実習事前事後指導 教育基本実習 教育応用実習 幼稚園教育実習(事前・事後指導を含む) 教職実践演習(幼・小) 教職基礎演習 介護等体験事前事後指導 学芸総合演習 教材研究 授業研究 教育学特別講義 卒業研究演習 卒業研究	1前 1後 3後 2通 3前 3後 4前 3・4通 4後 1通 2通 3前 2通 3通 2後 3通 4通	1 1 2 1 1 1 3 4 2 1 1 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成19年4月)	5日
14	専	教授	ヤマモト サトル 山本 悟 <平成23年4月>		体育学修士		入門ゼミナール 読書入門 人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ 初等体育科教育 学校参観 教育実習事前事後指導 教育基本実習 教育応用実習 幼稚園教育実習(事前・事後指導を含む) 教職実践演習(幼・小) 体育 教職基礎演習 介護等体験事前事後指導 教材研究 授業研究 卒業研究演習 卒業研究	1前 1後 1前 1・2・3後 2・3・4後 2前 2通 3前 3後 4前 3・4通 4後 1後 1通 2通 2通 3通 3通 4通	1 1 3 3 1 1 1 1 3 1 4 2 2 2 2 2 2 4	1 1 3 3 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成22年4月)	5日
15	専	教授	ヤナギモト ユウジ 柳本 雄次 <平成23年4月>		特殊教育学修士※		入門ゼミナール 読書入門 特別支援教育概論 介護等体験事前事後指導	1前 1後 1後 2通	1 1 2 1	1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 特任教授 (平成22年4月)	5日
16	専	講師	アヤイ サクラコ 綾井 桜子 <平成23年4月>		博士(教育学)		入門ゼミナール 読書入門 学校関係法規 道徳教育 学校参観 教育実習事前事後指導 教育基本実習 教育応用実習 幼稚園教育実習(事前・事後指導を含む) 教職実践演習(幼・小) 教職基礎演習 介護等体験事前事後指導 教材研究 授業研究 教育学特別講義 卒業研究演習 卒業研究	1前 1後 1後 3前 2通 3前 3前 3後 4前 3・4通 4後 1通 2通 2通 3通 2後 3通 4通	1 1 2 2 1 1 1 1 3 4 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 講師 (平成19年4月)	5日
17	兼任	講師	アベ フミ 阿部 史 <平成23年4月>		L.L.M.※ (アメリカ)		女性を学ぶ 社会の仕組みの理解	※ 1・2・3・4前・後 1・2・3・4後	2 2	4 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 講師 (平成21年4月)	
18	兼任	講師	アンソニー ルファ アンソニー ルファ <平成23年4月>		M. A. (イギリス)		外国語Ⅰ(スペイン語)	1通	6	3	十文字学園女子大学 社会情報学部	
	兼任	講師	アンソニー ルファ アンソニー ルファ <平成24年4月>		M. A. (イギリス)		外国語Ⅰ(スペイン語) 外国語Ⅱ(英語) 外国語Ⅱ(スペイン語) 外国語Ⅲ(スペイン語) 外国語Ⅳ(スペイン語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2 2	3 1 1 1 1	社会情報学科 教授 (平成22年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
19	兼担	講師	イダ ロカ 飯田 路佳 <平成23年4月>		体育学修士		運動と健康 人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1前 1・2・3後 2・3・4後	4 2 2 1	2 2 2 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 講師 (平成19年4月)	
20	兼担	講師	オオトモ ユキコ 大友 由紀子 <平成23年4月>		文学修士※		女性を学ぶ 現代社会を考える	※ 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前	2 2	4 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成13年4月)	
21	兼担	講師	オオニシ マサユキ 大西 正行 <平成23年4月>		経済学士		総合科目 総合ゼミ	1・2・3・4前・後 1・2・3・4通年	4 2	2 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 特任教授 (平成20年4月)	
22	兼担	講師	オガワラ ノリコ 小笠原 典子 <平成23年4月>		文学学士 法学学士		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅲ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	2 2 2 2	1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 特任准教授 (平成15年4月)	
23	兼担	講師	カザマ フミアキ 風間 文明 <平成23年4月>		修士※(心理学)		保育内容の指導法(人間関係)	3前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 准教授 (平成22年4月)	
24	兼担	講師	カタイギ ヒサト 片居木 英人 <平成23年4月>		政治学修士※		女性を学ぶ 日本国憲法の内容と精神	※ 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 4	4 2	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 准教授 (平成18年4月)	
25	兼担	講師	カトウ フキコ 加藤 陽子 (杉本) <平成23年4月>		博士(人間科学)		若者と精神保健 保育内容の指導法(人間関係)	1・2・3・4後 3前	2 2	1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 講師 (平成20年4月)	
26	兼担	講師	カメダ アツコ 亀田 温子 <平成23年4月>		文学修士		女性を学ぶ 女性としごと	※ 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前	2 2	4 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成12年4月)	
27	兼担	講師	カワグチ ヒサトシ 川口 英俊 <平成23年4月>		法学修士※		社会の仕組みの理解	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成20年4月)	
28	兼担	講師	キタハラ シュンイチ 北原 俊一 <平成23年4月>		博士(理学)		物質のなりたち 地球と環境	1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2	1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成18年4月)	
29	兼担	講師	クニシ フキコ 郡司 明子 <平成25年4月>		教育学修士		芸術と人間理解 初等図画工作科教育 図画工作	1・2・3・4前・後 2前 1後	4 2 2	2 1 1	国立大学法人 お茶の水女子大学附属小学校 教諭 (平成14年4月)	
30	兼担	講師	クウゴ トモミ 向後 朋美 (田中) <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成17年4月)	
31	兼担	講師	クニエ マサヒコ 込江 雅彦 <平成23年4月>		経済学修士※		新座から学ぶ 現代社会を考える グローバルゼーションと社会	※ 1・2・3・4前 1・2・3・4前 ※ 1・2・3・4後	0.8 2 1	1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 准教授 (平成17年4月)	
32	兼担	講師	サイカワ トミオ 斉川 富夫 <平成23年4月>		社会学修士※		現代社会を考える	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成17年4月)	
	兼任	講師	サイカワ トミオ 斉川 富夫 <平成26年4月>		社会学修士※							
33	兼担	講師	サイトウ レイコ 齋藤 麗子 <平成23年4月>		医学博士		女性のからだと心	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成22年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数	
34	兼任	講師	シタラ ヨウコ 設楽 優子 (松原) <平成23年4月>		Master of Arts (Phonetics) with Distinction (イギリス)		外国語 I (英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 講師 (平成12年4月)		
35	兼任	講師	シマムラ トヨヒロ 島村 豊博 <平成23年4月>		文学修士		外国語 I (英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成16年4月)		
	兼任	講師	シマムラ トヨヒロ 島村 豊博 <平成26年4月>		文学修士		外国語IV(英語)	2・3・4通	2	1			
36	兼任	講師	スズキ ヒロタカ 鈴木 弘貴 <平成23年4月>		国際関係学修士※		グローバル化と社会	※	1・2・3・4後	1	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成13年4月)	
37	兼任	講師	ツボクラ キヨコ 坪倉 紀代子 <平成23年4月>		体育学士		身体運動	1・2・3後	1	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)		
							シーズンスポーツ	2・3・4後	1	1			
38	兼任	講師	ハシモト ヒロコ 橋本 ヒロ子 <平成23年4月>		情報図書館学修士		女性を学ぶ	※	1・2・3・4前・後	2	4	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成15年4月)	
							女性とメディア		1・2・3・4後	2	1		
							女性の社会参画の国際比較		1・2・3・4後	2	1		
							キャリアサポート		2・3前・後	4	2		
39	兼任	講師	ヒラタ チアキ 平田 智秋 <平成23年4月>		博士(体育科学)		運動と健康		1前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 講師 (平成18年4月)	
							人間と運動		1前	4	4		
							身体運動		1・2・3後	3	3		
							シーズンスポーツ		2・3・4後	1	1		
40	兼任	講師	ヒラタ トモヒサ 平田 智久 <平成23年4月>		芸術学士		芸術と人間理解		1・2・3・4前・後	8	4	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成13年4月)	
							初等図画工作科教育		2前	2	1		
41	兼任	講師	フセ ハルミ 布施 晴美 <平成23年4月>		リハビリテーション修士		保育内容の指導法(人間関係)		3前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 准教授 (平成17年4月)	
42	兼任	講師	マツナガ シュウイチ 松永 修一 <平成23年4月>		文学修士※		新座から学ぶ	※	1・2・3・4前	0.6	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成22年4月)	
43	兼任	講師	ミヤキ ミチコ 宮城 道子 (野崎) <平成23年4月>		社会学修士※		女性を学ぶ	※	1・2・3・4前・後	2	4	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成20年4月)	
							女性としごと		1・2・3・4前	2	1		
44	兼任	講師	モリタ カツユキ 森田 勝之 <平成23年4月>		文学士		外国語 I (英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成15年4月)		
45	兼任	講師	ワタイ マサナス 綿井 雅康 <平成23年4月>		教育学修士※		教育心理学		1前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 教授 (平成20年8月)	
46	兼任	講師	アズマ ショウコ 東 聖子 <平成23年4月>		博士(人文科学)		文学と女性		1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 教授 (平成8年4月)	
47	兼任	講師	アン ウォーカー アン ウォーカー <平成24年4月>		M. A. English Literature (ニュージーランド)		外国語 II (英語)		2・3・4通	6	3	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年4月)	
48	兼任	講師	ウエハラ コウギ 上原 行義 <平成24年4月>		文学士		特別活動		2前	2	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
							生徒指導・進路指導		3前	2	1		
							教育相談		3前	2	1		

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
49	兼任	講師	ウチノ ノブユキ 内野 伸之 <平成23年4月>		法学修士		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
50	兼任	講師	オオボハラ アツシ 扇原 淳 <平成23年4月>		博士(医学)		人間と運動 身体運動	1前 1・2・3後	3 3	3 3	早稲田大学 人間科学学術院 人間科学部 健康福祉科学科 准教授 (平成21年4月)	
51	兼任	講師	オオバヤシ ケイゴ 大林 啓吾 <平成23年4月>		博士(法学)		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後	4	2	帝京大学 法学部 講師 (平成19年3月)	
52	兼任	講師	オオハラ トモコ 大原 知子 <平成23年4月>		博士(文学)		外国語Ⅰ(フランス語) 外国語Ⅱ(フランス語) 外国語Ⅲ(フランス語) 外国語Ⅳ(フランス語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成12年4月)	
53	兼任	講師	オオリ ナオコ 大里 奈穂子 <平成23年4月>		修士(人文科学)		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語)	1通 2・3・4通	6 2	3 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年10月)	
54	兼任	講師	オダ アキコ 小田 明子 <平成24年4月>		外国語教育修士		外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	2・3・4通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年9月)	
55	兼任	講師	カトウ マサル 加藤 優 <平成23年4月>		体育学修士		運動と健康	1前	8	4	埼玉県立大学 准教授 (平成11年4月)	
56	兼任	講師	コ ソヨウ 胡 祖耀 <平成23年4月>		農学修士※		外国語Ⅰ(中国語) 外国語Ⅱ(中国語) 外国語Ⅲ(中国語) 外国語Ⅳ(中国語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成16年4月)	
57	兼任	講師	コノ トモコ 河野 智子 <平成23年4月>		修士※(人文科学)		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	
58	兼任	講師	コバヤシ ミノル 小林 実 <平成23年4月>		博士(文学)		文学と女性	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 講師 (平成20年4月)	
59	兼任	講師	コンノ ジュンコ 紺野 順子 <平成24年4月>		文学士		学習指導と学校図書館	2前	2	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成12年4月)	
60	兼任	講師	サカキバラ リエコ 榎原 理枝子 <平成23年4月>		文学修士		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語) 外国語Ⅲ(英語)	1通 2・3・4通 2・3・4通	4 2 2	2 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成12年4月)	
61	兼任	講師	サトウ ノリコ 佐藤 典子 <平成23年4月>		体育学士		人間と運動 身体運動	1前 1・2・3後	2 2	2 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年4月)	
62	兼任	講師	サトウ リノ 佐藤 里野 <平成23年4月>		MA in Performance Studies (アメリカ)		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	お茶の水女子大学 英文研究室 アガミツタ・アツタト (平成17年10月)	
63	兼任	講師	シマダ ミオリ 島田 美織 <平成24年4月>		M. A. in TESOL (アメリカ)		外国語活動	2後	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 非常勤講師 (平成21年4月)	
64	兼任	講師	シミズ フミコ 清水 文子 <平成23年4月>		体育学士		人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1・2・3後 2・3・4後	1 1 1	1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年4月)	
65	兼任	講師	タキタ セツコ 瀧田 節子 <平成23年4月>		芸術学士		図画工作	1後	2	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	
66	兼任	講師	チアシ コウイチ 千足 耕一 <平成24年4月>		博士(医学)		シーズンスポーツ	2・3・4後	1	1	東京海洋大学 海洋科学部 海洋政策文化学科 准教授 (平成20年9月)	
67	兼任	講師	ニコラス ルーツ ニコラス ルーツ <平成24年4月>		MA. Ed (アメリカ) Master of Arts (オーストラリア)		外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通	6	3	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
68	兼任	講師	ニタ ミエコ 似田 美恵子 <平成23年4月>		文学准学士		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅲ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
69	兼任	講師	ノムラ キョウコ 野村 京子 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年3月)	
70	兼任	講師	ハシモト カツミ 橋本 克己 <平成23年4月>		教育学修士		現代社会を考える	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 教授 (平成22年4月)	
71	兼任	講師	マエダ ヨウコ 前田 庸子 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅱ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
72	兼任	講師	ミヤザキ ヨリコ 宮崎 順子 <平成23年4月>		人文科学修士		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
73	兼任	講師	ミヤモト マサル 宮本 正治 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成15年4月)	
74	兼任	講師	ヤギ マチコ 八木 真千子 <平成24年4月>		文学学士		外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	2・3・4通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
75	兼任	講師	ヤギ レイコ 八木 玲子 <平成23年4月>		博士(学術)		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1後	1 1	1 1	国際科学振興財団 専任研究員 (平成19年11月)	
76	兼任	講師	ヤスツネ カヨコ 安恒 佳代子 <平成23年4月>		文学士		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅲ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	

(注)

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校に就任に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

教 員 の 氏 名 等												
(人間生活学部 人間発達心理学科)												
調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
1	専	教授	イトウ ケイコ 伊藤 恵子 <平成24年4月>		博士(教育学)		入門ゼミナール 読書入門 心理学概論 母子関係論 ライフサイクル論 発達臨床心理学 幼児期の心理臨床 心理療法 心理学入門演習 人間発達演習 心理検査法基礎 卒業研究	1前 1後 1前 3後 3・4後 2前 2・3後 3・4前 2前 3通 2前 4通	1 1 2 2 2 2 2 1 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京未来大学 こども心理学部 こども心理学科 こども心理専攻 教授 (平成21年4月)	5日
2	専	教授	ウチダ ノブコ 内田 伸子 <平成23年4月>		学術博士		入門ゼミナール 読書入門 発達心理学概論 乳幼児期の心理学 文化と発達 発達心理学特講 発達臨床フィールドワーク 心理学入門演習 人間発達演習 発達心理学外書講読 心理検査法基礎 行動観察法 卒業研究	1前 1後 1後 2前 3・4前 3・4後 3・4後 2前 3通 3・4前 2前 2・3後 4通	1 1 2 2 2 2 2 1 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 教授 (平成21年4月)	5日
3	専	教授	オカムラ ヨシコ 岡村 佳子 <平成23年4月>		人文科学修士※		入門ゼミナール 読書入門 心理学概論	1前 1後 1前	1 1 2	1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 教授 (平成16年4月)	5日
	兼任	講師	オカムラ ヨシコ 岡村 佳子 <平成24年4月>		人文科学修士※		食の心理学	2・3・4前	2	1		
4	専	教授	カンワバ シュウジ 柏葉 修治 <平成23年4月>		博士(社会福祉学)		入門ゼミナール 読書入門 心理学概論 発達心理学特講 カウンセリング基礎Ⅰ(理論) カウンセリング基礎Ⅱ(技法) 児童期の心理臨床 心理学入門演習 人間発達演習 心理学基礎実験 心理検査法基礎 インターンシップ 卒業研究	1前 1後 1前 3・4後 1後 2・3前 2・3後 2前 3通 1後 2前 2・3・4前・後 4通	1 1 2 2 2 2 2 1 2 1 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1	道都大学 社会福祉学部 教授 (平成18年4月)	5日
5	専	教授	フセ ハルミ 布施 晴美 <平成23年4月>		リハビリテーション修士		入門ゼミナール 読書入門 人間発達演習 子どもの生活支援 看護学概論 看護援助方法 小児保健看護学 臨床看護実習 卒業研究	1前 1後 3通 2・3・4前 2・3・4前 2・3・4後 3・4前 3・4後 4通	1 1 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 准教授 (平成17年4月)	5日
6	専	教授	ワタイ マサユキ 綿井 雅康 <平成23年4月>		教育学修士※		入門ゼミナール 読書入門 情報処理演習Ⅰ 発達心理学特講 心理学入門演習 人間発達演習 心理統計法 心理学基礎実験 心理検査法基礎 発達支援活動 コミュニケーションの心理学 認知心理学 教育心理学Ⅰ 教育心理学Ⅱ 卒業研究	1前 1後 1前 3・4後 2前 3通 1前 1後 2前 2・3・4後 1・2・3後 2・3・4後 1・2前 1・2後 4通	1 1 1 2 1 2 2 1 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 教授 (平成20年8月)	5日

調査番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
7	専	准教授	クノキ ケイコ 鵜木 恵子 (渡邊) <平成23年4月>		博士(人文科学)		入門ゼミナール 読書入門 臨床心理学概論 青年期の心理臨床 人間発達演習 心理学基礎実験 心理検査法基礎 心理検査法応用 カウンセリング技法入門 職場のメンタルヘルス 卒業研究	1前 1後 1後 2・3後 3通 1後 2前 2・3後 3・4前 3・4前 4通	1 1 2 2 2 1 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 准教授 (平成22年4月)	5日
8	専	准教授	カザマ フミアキ 風間 文明 <平成23年4月>		修士※(心理学)		入門ゼミナール 読書入門 青年期の心理学 発達心理学特講 人間発達演習 心理学情報処理法 心理学基礎実験 データ解析法 社会調査法 人間関係の心理学 グループダイナミクス 産業・組織心理学 卒業研究	1前 1後 2前 3・4後 3通 1後 1後 2・3後 2・3前 2・3・4後 3・4前 3・4前 2 4通	1 1 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 准教授 (平成22年4月)	5日
9	専	准教授	ヒラタ ナアキ 平田 智秋 <平成23年4月>		博士(体育科学)		入門ゼミナール 読書入門 運動と健康 人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ 人間発達演習 心理学方法論 心理学基礎実験 心理学実験実習 身体運動の心理学 卒業研究	1前 1後 1前 1前 1・2・3後 2・3・4後 3通 2後 1後 2・3後 2・3・4前 4通	1 1 2 4 3 1 2 2 1 2 2 2 4	1 1 1 4 3 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 講師 (平成18年4月)	5日
10	専	講師	カトウ フキコ 加藤 陽子 (杉本) <平成23年4月>		博士(人間科学)		入門ゼミナール 読書入門 若者と精神保健 児童期の心理学 人間発達演習 心理学基礎実験 心理検査法基礎 発達・教育相談 性格心理学 教育相談 卒業研究	1前 1後 1・2・3・4後 2前 3通 1後 2前 3・4後 1・2・3後 3・4前 4通	1 1 2 2 2 1 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 講師 (平成20年4月)	5日
11	専	講師	サイトウ チカガ 齋藤 千景 (伊藤) <平成23年4月>		修士(教育学)		入門ゼミナール 読書入門 人間発達演習 養護概説 学校保健Ⅰ 健康相談活動 救急処置活動 卒業研究	1前 1後 3通 2・3前 1・2前 3・4後 2・3・4後 4通	1 1 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1	東京都立 六本木高等学校 養護教諭 (平成19年4月)	5日
12	専	講師	ヤマシタ トモミ 山下 倫実 <平成24年4月>		博士(学術)		入門ゼミナール 読書入門 青年期の心理学 人間発達演習 心理学基礎実験 心理検査法基礎 社会調査法 社会心理学概論 キャリア心理学 消費行動の心理学 卒業研究	1前 1後 2前 3通 1後 2前 2・3前 1後 3・4後 3・4後 4通	1 1 2 2 1 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	流通経済大学 教育学習支援センター 所員 (平成20年3月)	5日
13	兼任	講師	アベ フミ 阿部 史 <平成23年4月>		L.L.M.※ (アメリカ)		女性を学ぶ 社会の仕組みの理解	※ 1・2・3・4前・後 1・2・3・4後	2 2	4 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 講師 (平成21年4月)	

調査番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
14	兼担	講師	アンソニー ルファ <平成23年4月>		M. A. (イギリス)		外国語 I (スペイン語)	1通	6	3	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 教授 (平成22年4月)	
	兼任	講師	アンソニー ルファ <平成24年4月>		M. A. (イギリス)		外国語 I (スペイン語) 外国語 II (英語) 外国語 II (スペイン語) 外国語 III (スペイン語) 外国語 IV (スペイン語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1		
15	兼担	講師	イダ ロカ 飯田 路佳 <平成23年4月>		体育学修士		運動と健康 人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1前 1・2・3後 2・3・4後	4 2 2 1	2 2 2 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 講師 (平成19年4月)	
16	兼担	講師	オオトモ コキコ 大友 由紀子 <平成23年4月>		文学修士※		女性を学ぶ ※ 現代社会を考える	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前	2 2	4 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成13年4月)	
17	兼担	講師	オオニシ マサユキ 大西 正行 <平成23年4月>		経済学士		総合科目 総合ゼミ	1・2・3・4前・後 1・2・3・4通	4 2	2 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 特任教授 (平成20年4月)	
18	兼担	講師	オガサワラ ノリコ 小笠原 典子 <平成23年4月>		文学学士 法学学士		外国語 I (日本語) 外国語 II (日本語) 外国語 III (日本語) 外国語 IV (日本語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	2 2 2 2	1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 特任准教授 (平成15年4月)	
19	兼担	講師	カタギ ヒゲト 片居木 英人 <平成23年4月>		政治学修士※		女性を学ぶ ※ 日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 4	4 2	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 准教授 (平成18年4月)	
20	兼担	講師	カメダ アツコ 亀田 温子 <平成23年4月>		文学修士		女性を学ぶ ※ 女性としごと	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前	2 2	4 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成12年4月)	
21	兼担	講師	カリノ コウジ 狩野 浩二 <平成23年4月>		修士(教育学)		新座から学ぶ ※	1・2・3・4前	0.6	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成22年4月)	
22	兼担	講師	カワグチ ヒゲトシ 川口 英俊 <平成23年4月>		法学修士※		社会の仕組みの理解	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成20年4月)	
23	兼担	講師	キタハラ シュンイチ 北原 俊一 <平成23年4月>		博士(理学)		物質のなりたち 地球と環境 情報基礎論	1・2・3・4前 1・2・3・4後 1前	2 2 2	1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成18年4月)	
24	兼担	講師	ダンジ アキコ 郡司 明子 <平成25年4月>		教育学修士		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後	4	2	国立大学法人 お茶の水女子大学附属小学校 教諭 (平成14年4月)	
25	兼担	講師	コウゴ トモミ 向後 朋美 (田中) <平成23年4月>		文学修士※		外国語 I (英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成17年4月)	
26	兼担	講師	コミネ マサヒコ 込江 雅彦 <平成23年4月>		経済学修士※		新座から学ぶ ※	1・2・3・4前	0.8	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 准教授 (平成17年4月)	
							現代社会を考える	1・2・3・4前	2	1		
							グローバリゼーションと社会 ※	1・2・3・4後	1	1		
27	兼担	講師	サイカワ トミオ 齊川 富夫 <平成23年4月>		社会学修士※		現代社会を考える	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成17年4月)	
	兼任	講師	サイカワ トミオ 齊川 富夫 <平成26年4月>		社会学修士※							

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
28	兼担	講師	サイトウ レイコ 齋藤 麗子 ＜平成23年4月＞		医学博士		女性のからだと心	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成22年4月)	
29	兼担	講師	シタワ ユウコ 設楽 優子 (松尾) ＜平成23年4月＞		Master of Arts (Phonetics) with Distinction (イギリス)		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 講師 (平成12年4月)	
30	兼担	講師	シムムラ トヨヒロ 島村 豊博 ＜平成23年4月＞		文学修士		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成16年4月)	
	兼任	講師	シムムラ トヨヒロ 島村 豊博 ＜平成26年4月＞		文学修士		外国語Ⅳ(英語)	2・3・4通	2	1	社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成16年4月)	
31	兼担	講師	シミズ レイコ 清水 玲子 ＜平成23年4月＞		音楽学士		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後	4	2	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成19年4月)	
32	兼担	講師	スズキ ヒロタカ 鈴木 弘貴 ＜平成23年4月＞		国際関係学修士※		グローバルイゼーションと社会	※ 1・2・3・4後	1	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成13年4月)	
33	兼担	講師	ツブキ タカシ 津吹 卓 ＜平成24年4月＞		農学博士		生命と生態系	1・2・3・4前	2	1	十文字中学・高等学校 教諭 (昭和52年4月)	
	兼任	講師	ツブキ タカシ 津吹 卓 ＜平成23年4月＞		農学博士							
34	兼担	講師	ツボクラ キヨコ 坪倉 紀代子 ＜平成23年4月＞		体育学士		身体運動	1・2・3後	1	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)	
							シーズンスポーツ	2・3・4後	1	1		
35	兼担	講師	ハンモト ヒロコ 橋本 ヒロ子 ＜平成23年4月＞		図書館情報学修士		女性を学ぶ	※ 1・2・3・4前・後	2	4	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成15年4月)	
							女性とメディア	1・2・3・4後	2	1		
							女性の社会参画の国際比較	1・2・3・4後	2	1		
							キャリアサポート	2・3前・後	4	2		
							自主社会活動	1・2・3・4前・後	2	2		
36	兼担	講師	ヒラタ トモヒサ 平田 習久 ＜平成23年4月＞		芸術学士		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後	8	4	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)	
37	兼担	講師	ホシノ アツコ 星野 敦子 ＜平成23年4月＞		学術博士		情報処理演習Ⅱ	1後	1	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 教授 (平成19年4月)	
38	兼担	講師	マツナガ シュウイチ 松永 修一 ＜平成23年4月＞		文学修士※		新座から学ぶ	※ 1・2・3・4前	0.6	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成22年4月)	
39	兼担	講師	ミヤギ ミチコ 宮城 道子 (野崎) ＜平成23年4月＞		社会学修士※		女性を学ぶ	※ 1・2・3・4前・後	2	4	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成20年4月)	
							女性としごと	1・2・3・4前	2	1		
40	兼担	講師	モリタ カツユキ 森田 勝之 ＜平成23年4月＞		文学士		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成15年4月)	
41	兼担	講師	ヤマモト サトル 山本 悟 ＜平成23年4月＞		体育学修士		人間と運動	1前	3	3	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成22年4月)	
							身体運動	1・2・3後	3	3		
							シーズンスポーツ	2・3・4後	1	1		

調査番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
42	兼任	講師	アズマ ショウコ 東 聖子 <平成23年4月>		博士(人文学)		文学と女性	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 教授 (平成8年4月)	
43	兼任	講師	アン ウォーカー アン ウォーカー <平成24年4月>		M. A. English Literature (ニュージーランド)		外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通	6	3	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年4月)	
44	兼任	講師	ウチノ ノブユキ 内野 伸之 <平成23年4月>		法学修士		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
45	兼任	講師	エガワ ビンセイ 江川 政成 <平成25年4月>		文学修士		創造性の心理学 生徒指導	3・4前 3・4前	2 2	1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 教授 (平成16年4月)	
46	兼任	講師	オオギハラ アツシ 扇原 淳 <平成23年4月>		博士(医学)		人間と運動 身体運動	1前 1・2・3後	3 3	3 3	早稲田大学 人間科学学術院 人間科学部 健康福祉科学科 准教授 (平成21年4月)	
47	兼任	講師	オウギモト ケイジ 扇元 敬司 <平成23年4月>		医学博士 農学博士		免疫学	1・2前	2	1	日本獣医生命科学大学 獣医学部 客員教授 (平成7年4月)	
48	兼任	講師	オホバヤシ ケイゴ 大林 啓吾 <平成23年4月>		博士(法学)		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後	4	2	帝京大学 法学部 講師 (平成19年3月)	
49	兼任	講師	オオハラ トモコ 大原 知子 <平成23年4月>		博士(文学)		外国語Ⅰ(フランス語) 外国語Ⅱ(フランス語) 外国語Ⅲ(フランス語) 外国語Ⅳ(フランス語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成12年4月)	
50	兼任	講師	オオリ ナオコ 大裡 奈穂子 <平成23年4月>		修士(人文学)		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語)	1通 2・3・4通	6 2	3 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年10月)	
51	兼任	講師	オダ アキコ 小田 明子 <平成24年4月>		外国語教育修士 文学士		外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	2・3・4通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 講師 (平成19年9月)	
52	兼任	講師	カノウ マサル 加藤 優 <平成23年4月>		体育学修士		運動と健康	1前	8	4	埼玉県立大学 准教授 (平成11年4月)	
53	兼任	講師	カマタ ツネオ 鎌田 恒夫 <平成23年4月>		博士(農学)		衛生学 公衆衛生学	1・2・3後 3・4前	2 2	1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 教授 (平成16年4月)	
54	兼任	講師	カワモト カツヒサ 川元 克秀 <平成25年4月>		博士(情報科学)		中高年期の心理学 中高年期の心理臨床	3前 3・4後	2 2	1 1	埼玉大学 教育学部 助教授 (平成12年4月)	
55	兼任	講師	コ ソヨウ 胡 祖耀 <平成23年4月>		農学修士※		外国語Ⅰ(中国語) 外国語Ⅱ(中国語) 外国語Ⅲ(中国語) 外国語Ⅳ(中国語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成16年4月)	
56	兼任	講師	コウノ トモコ 河野 留子 <平成23年4月>		修士※(人文学)		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	
57	兼任	講師	コバヤシ ミノル 小林 実 <平成23年4月>		博士(文学)		文学と女性	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 講師 (平成20年4月)	
58	兼任	講師	サイトウ タツル 齊藤 千鶴 (馬場) <平成25年4月>		博士(心理学)		家族心理学 健康心理学	3・4前 3・4後	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	
59	兼任	講師	サカキハラ ヨウイチ 榎原 洋一 <平成24年4月>		博士(医学)		精神保健概論	2・3後	2	1	お茶の水女子大学 子ども発達教育研究センター 教授 (平成16年)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
60	兼任	講師	サカキバシ リエコ 榎原 理枝子 <平成23年4月>		文学修士		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語) 外国語Ⅲ(英語)	1通 2・3・4通 2・3・4通	4 2 2	2 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成12年4月)	
61	兼任	講師	サトウ ノリコ 佐藤 典子 <平成23年4月>		体育学士		人間と運動 身体運動	1前 1・2・3後	2 2	2 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年4月)	
62	兼任	講師	サトウ リフ 佐藤 里野 <平成23年4月>		MA in Performance Studies (アメリカ)		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	お茶の水女子大学 英文研究室 7th・8th・9th・10th (平成17年10月)	
63	兼任	講師	シオタ イツコ 塩田 伊都子 (紀伊) <平成23年4月>		心理学修士		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ 社会心理学概論 対人社会心理学	1前 1後 1後 2・3・4前	1 1 2 2	1 1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成13年4月)	
64	兼任	講師	シミズ フミコ 清水 文子 <平成23年4月>		体育学士		人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1・2・3後 2・3・4後	1 1 1	1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年4月)	
65	兼任	講師	タバタ コウジ 田畑 光司 <平成25年4月>		教育学修士		障害者の心理学 障害者の発達支援	3・4前 3・4後	2 2	1 1	埼玉学園大学 准教授 (平成17年4月)	
66	兼任	講師	チアシ コウイチ 千足 耕一 <平成24年4月>		博士(医学)		シーズンスポーツ	2・3・4後	1	1	東京海洋大学 海洋科学部 海洋政策文化学科 准教授 (平成20年9月)	
67	兼任	講師	ニコラス ルーツ ニコラス ルーツ <平成24年4月>		MA, Ed (アメリカ) Master of Arts (オーストラリア)		外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通	6	3	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	
68	兼任	講師	ニタ ミユコ 似田 美恵子 <平成23年4月>		文学准学士		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅲ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
69	兼任	講師	ノムラ キョウコ 野村 京子 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年3月)	
70	兼任	講師	ハンモト カツミ 橋本 克己 <平成23年4月>		教育学修士		現代社会を考える	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 教授 (平成22年4月)	
71	兼任	講師	マエダ ヨウコ 前田 庸子 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅱ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
72	兼任	講師	ミナガキ ヨリコ 宮崎 順子 <平成23年4月>		人文学修士		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
73	兼任	講師	ミヤモト マサハル 宮本 正治 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成15年4月)	
74	兼任	講師	ヤギ マチコ 八木 真千子 <平成24年4月>		文学学士		外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	2・3・4通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
75	兼任	講師	ヤスツネ カヨコ 安恒 佳代子 <平成23年4月>		文学士		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅲ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	

(注)

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校に採定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

教 員 の 氏 名 の 等												
(人間生活学部 食物栄養学科)												
調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職務に従事する 週当たり平均日数
1	専	教授	イクガワ シンキ 池川 繁樹 <平成23年4月>		博士(医学)		入門ゼミナール 読書入門 健康管理概論 運動生理学 人間生活生理学 応用栄養学Ⅲ 食物栄養学演習 健康運動指導実習 卒業研究	1前 1後 3前 3前 3前 3後 ※4通 ※3前 4通	1 1 4 2 4 4 0.8 1.2 4	1 1 2 2 2 2 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 教授 (平成21年4月)	5日
2	専	教授	イデ タカシ 井手 隆 <平成23年4月>		農学博士		入門ゼミナール 読書入門 食品学Ⅱ 食品化学 食品衛生学 食品衛生学実験 食品機能論 食物栄養学演習 卒業研究	1前 1後 1後 2後 1後 2前 3後 ※4通 4通	1 1 4 2 4 3 2 0.8 4	1 1 2 1 2 3 1 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 教授 (平成21年4月)	5日
3	専	教授	オダニ スミコ 小谷 スミ子 <平成23年4月>		医学博士		入門ゼミナール 読書入門 食育論 食と環境 卒業研究	1前 1後 2後 4前 4通	1 1 2 2 4	1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 教授 (平成22年4月)	5日
4	専	教授	クリサキ ジュンイチ 栗崎 純一 <平成23年4月>		農学博士		入門ゼミナール 読書入門 食品学Ⅰ 食品化学実験 食品加工学 食品加工学実習 生物有機化学 食物栄養学演習 卒業研究	1前 1後 1前 1後 2前 2前 1後 ※4通 4通	1 1 4 3 3 3 2 0.8 4	1 1 2 3 3 3 1 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 教授 (平成18年4月)	5日
5	専	教授	シムラ フミオ 志村 二三夫 <平成23年4月>		保健学博士		入門ゼミナール 読書入門 解剖生理学 解剖生理学実験 人間生命科学 分子栄養学 食物栄養学演習 卒業研究	1前 1後 1後 2前 2後 3後 ※4通 4通	1 1 4 3 2 2 0.8 4	1 1 2 3 1 1 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 教授 (平成14年4月)	5日
6	専	教授	タナカ シゲル 田中 茂 <平成23年4月>		博士(保健学)		入門ゼミナール 読書入門 公衆衛生学 公衆衛生学実験 健康情報処理実習 食のリスクアナリシス論 食物栄養学演習 インダストリアルハイジーン論Ⅰ インダストリアルハイジーン論Ⅱ 卒業研究	1前 1後 1前 1後 2前 4前 ※4通 3後 4前 4通	1 1 4 3 3 2 0.8 2 2 4	1 1 2 3 3 1 3 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 教授 (平成14年4月)	5日
7	専	教授	ナガサワ ノブエ 長澤 伸江 <平成23年4月>		博士(医学)		入門ゼミナール 読書入門 公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 公衆栄養学臨地実習 食物栄養学演習 卒業研究	1前 1後 3前 3後 3後 3前 ※3・4通 4通 ※4通 4通	1 1 4 4 2 1 0.3 1 0.8 4	1 1 2 2 2 1 1 1 3	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 教授 (平成20年4月)	5日
8	専	教授	ハットリ トミコ 服部 富子 <平成23年4月>		家政学士		入門ゼミナール 読書入門 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学Ⅲ 臨床栄養学実習Ⅰ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 臨床栄養学臨地実習Ⅰ 臨床栄養学臨地実習Ⅱ 食物栄養学演習 卒業研究	1前 1後 2後 3前 3前 3前 ※3・4通 3・4後・前 3・4後・前 ※4通 4通	1 1 4 4 3 1 0.3 1 0.5 0.8 4	1 1 2 2 3 1 1 1 1 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 教授 (平成21年4月)	5日

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職務に従事する 週当たり平均日数
9	専	教授	ハマグチ ケイコ 濱口 恵子 <平成23年4月>		家政学士		入門ゼミナール 読書入門 人間生物化学実験 食物栄養学概論 ※ 基礎栄養学 基礎栄養学実験	1前 1後 2後 1後 1前 1前	1 1 3 2.7 4 3	1 1 3 2 2 3	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 教授 (平成18年4月)	5日
	兼任	講師	ハマグチ ケイコ 濱口 恵子 <平成26年4月>		家政学士		人間生物化学実験 食物栄養学概論 ※ 基礎栄養学 基礎栄養学実験	2後 1後 1前 1前	3 2.7 4 3	3 2 2 3		
10	専	教授	モリ ミキオ 森 三樹雄 <平成23年4月>		博士(医学)		入門ゼミナール 読書入門 医学概論 病態生理学 系統別疾病学 健康科学概論 食物栄養学演習 ※ 卒業研究	1前 1後 2前 2後 3後 1後 4通 4通	1 1 4 4 4 2 0.8 4	1 1 2 2 2 1 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 教授 (平成18年4月)	5日
11	専	教授	ヤマモト シゲル 山本 茂 <平成23年4月>		保健学博士		人間栄養学概論	1前	2	1	お茶の水女子大学 大学院 人間文化創成科学研究科 教授 (平成18年4月)	5日
12	専	准教授	イノウエ クミコ 井上 久美子 <平成23年4月>		博士(栄養学)		入門ゼミナール 読書入門 食物栄養学概論 ※ 栄養教育論Ⅱ 栄養教育論実習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ ※ 給食経営管理臨地実習 食物栄養学演習 ※ 卒業研究	1前 1後 1後 2後 4前 3前 3・4通 3通 4通 4通	1 1 1.3 4 3 1 0.3 1 0.8 4	1 1 2 3 1 1 1 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 講師 (平成18年4月)	5日
13	専	准教授	イワモト タマミ 岩本 珠美 <平成23年4月>		栄養学博士		入門ゼミナール 読書入門 臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅳ 臨床栄養学実習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ ※ 臨床栄養学臨地実習Ⅰ 臨床栄養学臨地実習Ⅱ 実践臨床カウンセリング論(演習を含む) 食物栄養学演習 ※ 卒業研究	1前 1後 2前 3後 3後 3前 3・4通 3・4後・前 3・4後・前 4前 4通 4通	1 1 4 4 3 1 0.3 1 0.5 2 0.8 4	1 1 2 2 3 1 1 1 1 1 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 准教授 (平成21年4月)	5日
14	専	准教授	コバヤシ ミチコ 小林 三智子 <平成23年4月>		博士(歯学)		入門ゼミナール 読書入門 応用栄養学Ⅰ 応用栄養学Ⅱ 応用栄養学実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ ※ 給食運営臨地実習 食物栄養学演習 ※ 卒業研究	1前 1後 2前 2後 3前 3前 3・4通 3通 4通 4通	1 1 4 4 3 1 0.3 1 0.8 4	1 1 2 2 3 1 1 1 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 准教授 (平成20年4月)	5日
15	専	准教授	ナグラ ヒデコ 名倉 秀子 <平成23年4月>		博士(学術)		入門ゼミナール 読書入門 調理学実習Ⅲ(実験を含む) 給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理論実習 給食経営管理臨地実習 食物栄養学演習 ※ 卒業研究	1前 1後 2前 2前 2後 2後 3通 4通 4通	1 1 1 4 4 2 1 0.8 4	1 1 1 2 2 2 1 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 准教授 (平成14年4月)	5日
16	専	講師	キムラ ヤスコ 木村 靖子 <平成23年4月>		家政学修士		入門ゼミナール 読書入門 調理学 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 調理学実習Ⅲ(実験を含む) 給食経営管理論実習 食物栄養学演習 ※ 卒業研究	1前 1後 1前 1前 1後 2前 2後 4通 4通	1 1 2 2 2 2 1 0.8 4	1 1 1 2 2 2 1 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 講師 (平成21年4月)	5日

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職務に従事する 週当たり平均日数
17	専	講師	トクノ ユウコ 徳野 裕子 <平成23年4月>		博士(学術)		入門ゼミナール 読書入門 栄養教育論 I 栄養教育論実習 I 公衆栄養学実習 総合演習 I 総合演習 II ※ 給食運営臨地実習 保健指導カウンセリング論(演習を含む) 食物栄養学演習 ※ 健康運動指導実習 ※ 卒業研究	1前 1後 2前 2後 3後 3前 3・4通 3通 4後 4通 ※ 3前 ※ 4通	1 1 4 3 1 1 0.3 1 2 0.8 0.8 4	1 1 2 3 1 1 1 1 1 3 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 講師 (平成14年4月)	5日
18	専	助教	カシノ リョウコ 梶野 涼子 <平成23年4月>		栄養学修士		食品化学実験 食品加工学実習	1後 2前	3 3	3 3	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 助手 (平成20年4月)	5日
19	専	助教	ササキ ナホ 佐々木 菜穂 <平成23年4月>		博士(農学)		解剖生理学実験 応用栄養学実習	2前 3前	3 3	3 3	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 助手 (平成21年4月)	5日
20	専	助教	ヤマザキ ユウコ 山崎 優子 <平成23年4月>		栄養学学士		人間生物化学実験 基礎栄養学実験	2後 1前	3 3	3 3	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 助手 (平成20年4月)	5日
21	兼担	講師	アダチ カズヒサ 安達 一寿 <平成23年4月>		博士(教育学)		情報処理演習 I 情報処理演習 II	1前 1後	1 1	1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 教授 (平成21年10月)	
22	兼担	講師	アベ フミ 阿部 史 <平成23年4月>		L.L.M. ※ (アメリカ)		女性を学ぶ ※ 社会の仕組みの理解	1・2・3・4前・後 1・2・3・4後	2 2	4 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 講師 (平成21年4月)	
23	兼担	講師	アンソニー ルファ アンソニー ルファ <平成23年4月>		M.A. (イギリス)		外国語 I (スペイン語)	1通	6	3	十文字学園女子大学 社会情報学部	
	兼任	講師	アンソニー ルファ アンソニー ルファ <平成24年4月>		M.A. (イギリス)		外国語 I (スペイン語) 外国語 II (英語) 外国語 III (スペイン語) 外国語 IV (スペイン語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2 2	3 1 1 1 1	社会情報学科 教授 (平成22年4月)	
24	兼担	講師	イイダ ロカ 飯田 路佳 <平成23年4月>		体育学修士		運動と健康 人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ エアロビック運動 I (水泳・水中運動) エアロビック運動 II (エアロビックダンス) エアロビック運動 III (ジョギング・ウォーキング)	1前 1前 1・2・3後 2・3・4後 2前 2後 3前	4 2 2 1 1 1 1	2 2 2 1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 講師 (平成19年4月)	
25	兼担	講師	オオトモ ユキコ 大友 由紀子 <平成23年4月>		文学修士 ※		女性を学ぶ ※ 現代社会を考える	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前	2 2	4 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成13年4月)	
26	兼担	講師	オオニシ マサユキ 大西 正行 <平成23年4月>		経済学士		総合科目 総合ゼミ	1・2・3・4前・後 1・2・3・4通	4 2	2 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 特任教授 (平成20年4月)	
27	兼担	講師	オガサワラ ノリコ 小笠原 典子 <平成23年4月>		文学学士 法学学士		外国語 I (日本語) 外国語 II (日本語) 外国語 III (日本語) 外国語 IV (日本語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	2 2 2 2	1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 特任准教授 (平成15年4月)	
28	兼担	講師	カタイギ ヒゲト 片居木 英人 <平成23年4月>		政治学修士 ※		女性を学ぶ ※ 日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 4	4 2	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 准教授 (平成18年4月)	

調査番号	専任等区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
29	兼任	講師	カトウ アキコ 加藤 陽子 (杉本) <平成23年4月>		博士(人間科学)		若者と精神保健	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 講師 (平成20年4月)	
30	兼任	講師	カメダ アツコ 亀田 温子 <平成23年4月>		文学修士		女性を学ぶ 女性としごと	※ 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前	2 2	4 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成12年4月)	
31	兼任	講師	カリノ コウジ 狩野 浩二 <平成23年4月>		修士(教育学)		新座から学ぶ	※ 1・2・3・4前	0.6	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成22年4月)	
32	兼任	講師	カワグチ ヒゲトシ 川口 英俊 <平成23年4月>		法学修士※		社会の仕組みの理解	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成20年4月)	
33	兼任	講師	キタハラ シュンイチ 北原 俊一 <平成23年4月>		博士(理学)		物質のなりたち 地球と環境 情報基礎論	1・2・3・4前 1・2・3・4後 1前	2 2 2	1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成18年4月)	
34	兼任	講師	グンジ アキコ 郡司 明子 <平成25年4月>		教育学修士		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後	4	2	国立大学法人 お茶の水女子大学附属小学校 教諭 (平成14年4月)	
35	兼任	講師	コウゴ トモミ 向後 朋美 (田中) <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成17年4月)	
36	兼任	講師	コミニ マサヒコ 込江 雅彦 <平成23年4月>		経済学修士※		新座から学ぶ 現代社会を考える グローバル化と社会	※ 1・2・3・4前 1・2・3・4前 ※ 1・2・3・4後	0.8 2 1	1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 准教授 (平成17年4月)	
37	兼任	講師	サイトウ レイコ 齋藤 麗子 <平成23年4月>		医学博士		女性のからだ心	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成22年4月)	
38	兼任	講師	サイカワ トミオ 斉川 富夫 <平成23年4月>		社会学修士※		現代社会を考える	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成17年4月)	
		兼任	サイカワ トミオ 斉川 富夫 <平成26年4月>		社会学修士※							
39	兼任	講師	シタラ コウコ 設楽 優子 (松尾) <平成23年4月>		Master of Arts (Phonetics) with Distinction (イギリス)		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 講師 (平成12年4月)	
40	兼任	講師	シヤマラ トヨヒロ 島村 豊博 <平成23年4月>		文学修士		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅳ(英語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成16年4月)	
		兼任	シヤマラ トヨヒロ 島村 豊博 <平成26年4月>		文学修士							
41	兼任	講師	シミズ レイコ 清水 玲子 <平成23年4月>		音楽学士		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後	4	2	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成19年4月)	
42	兼任	講師	スズキ ヒロタカ 鈴木 弘貴 <平成23年4月>		国際関係学修士※		グローバル化と社会	※ 1・2・3・4後	1	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成13年4月)	

調査番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
43	兼任	講師	ツブキ タカシ 津吹 卓 <平成24年4月>		農学博士		生命と生態系	1・2・3・4前	2	1	十文字中学・高等学校 教諭 (昭和52年4月)	
	兼任	講師	ツブキ タカシ 津吹 卓 <平成23年4月>		農学博士							
44	兼任	講師	ツボクラ キヨコ 坪倉 紀代子 <平成23年4月>		体育学士		身体運動 シーズンスポーツ	1・2・3後 2・3・4後	1 1	1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)	
45	兼任	講師	ナガタ ミズエ 長田 瑞恵 (鈴木) <平成23年4月>		人文科学博士		生涯発達人間学	1・2・3後	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 准教授 (平成21年4月)	
46	兼任	講師	ハシモト ヒロコ 橋本 ヒロ子 <平成23年4月>		図書館情報学修士		女性を学ぶ ※	1・2・3・4前・後	2	4	十文字学園女子大学	
							女性とメディア	1・2・3・4後	2	1	社会情報学部	
							女性の社会参画の国際比較	1・2・3・4後	2	1	コミュニケーション学科	
							キャリアサポート	2・3前・後	4	2	教授	
							自主社会活動	1・2・3・4前・後	2	2	(平成15年4月)	
47	兼任	講師	ヒラタ ナオキ 平田 智秋 <平成23年4月>		博士(体育科学)		運動と健康	1前	2	1	十文字学園女子大学	
							人間と運動	1前	4	4	人間生活学部	
							身体運動	1・2・3後	3	3	人間発達心理学科	
							シーズンスポーツ	2・3・4後	1	1	講師	
							エアロビック運動Ⅰ(水泳・水中運動)	2前	1	1	(平成18年4月)	
						エアロビック運動Ⅲ(ジョギング・ウォーキング)	3前	1	1			
48	兼任	講師	ヒラタ トモヒサ 平田 智久 <平成23年4月>		芸術学士		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後	8	4	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)	
49	兼任	講師	マツナガ シュウイチ 松永 修一 <平成23年4月>		文学修士※ 文学士		新座から学ぶ ※	1・2・3・4前	0.6	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成22年4月)	
50	兼任	講師	ミヤウチ トシヒコ 宮内 寿彦 <平成23年4月>		福祉社会学修士		社会福祉概論	4後	4	2	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 講師 (平成22年4月)	
51	兼任	講師	ミヤギ ミチコ 宮城 道子 (野崎) <平成23年4月>		社会学修士※		女性を学ぶ ※	1・2・3・4前・後	2	4	十文字学園女子大学	
							女性としごと	1・2・3・4前	2	1	人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成20年4月)	
52	兼任	講師	モリタ カツユキ 森田 勝之 <平成23年4月>		文学士		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成15年4月)	
53	兼任	講師	ヤマト サトル 山本 悟 <平成23年4月>		体育学修士		人間と運動	1前	3	3	十文字学園女子大学	
							身体運動	1・2・3後	3	3	人間生活学部	
							シーズンスポーツ	2・3・4後	1	1	児童幼児教育学科	
							エアロビック運動Ⅰ(水泳・水中運動)	2前	1	1	児童教育専攻	
							エアロビック運動Ⅲ(ジョギング・ウォーキング)	3前	1	1	教授 (平成22年4月)	
54	兼任	講師	アズマ ショウコ 東 聖子 <平成23年4月>		博士(人文科学)		文学と女性	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 教授 (平成8年4月)	
55	兼任	講師	アン ウォーガー アン ウォーガー <平成24年4月>		M. A. English Literature (ニュージーランド)		外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通	6	3	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年4月)	
56	兼任	講師	ウエダ ケイコ 上田 啓子 <平成23年4月>		教育学士		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1後	1 1	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成16年4月)	
57	兼任	講師	ウチノ ノブユキ 内野 伸之 <平成23年4月>		法学修士		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職務に従事する 週当たり平均日数
58	兼任	講師	ウメガキ ケインウ 梅垣 敬三 <平成26年4月>		薬学博士		食薬理学 ※	4前	1.9	1	独立行政法人 国立健康栄養研究所 情報センター長 (平成20年4月)	
59	兼任	講師	オオギハラ アツシ 扇原 淳 <平成23年4月>		博士(医学)		人間と運動 身体運動	1前 1・2・3後	3 3	3 3	早稲田大学 人間科学学術院 人間科学部 健康福祉科学科 准教授 (平成21年4月)	
60	兼任	講師	オウギモト ケイジ 扇元 敬司 <平成25年4月>		医学博士 農学博士		病原物質・微生物学 微生物学実験	3前 3後	4 3	2 3	日本獣医生命科学大学 獣医学部 客員教授 (平成7年4月)	
61	兼任	講師	オオタハラ ミホ 大田原 美保 <平成25年4月>		家政学修士		食品の官能評価・鑑別論	3後	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成12年4月)	
62	兼任	講師	オオバヤシ ケイゴ 大林 啓吾 <平成23年4月>		博士(法学)		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後	4	2	帝京大学 法学部 講師 (平成19年3月)	
63	兼任	講師	オハラ トモコ 大原 知子 <平成23年4月>		博士(文学)		外国語Ⅰ(フランス語) 外国語Ⅱ(フランス語) 外国語Ⅲ(フランス語) 外国語Ⅳ(フランス語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成12年4月)	
64	兼任	講師	オオムラ ショウゴ 大村 省吾 <平成26年4月>		農学士		フードコーディネーター論	4前	2	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成17年4月)	
65	兼任	講師	オオリ ナオコ 大埋 奈穂子 <平成23年4月>		修士(人文科学)		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語) World of the Food and Nutrition	1通 2・3・4通 3後	6 2 2	3 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年10月)	
66	兼任	講師	オダ アキコ 小田 明子 <平成24年4月>		外国語教育修士		外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	2・3・4通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年9月)	
67	兼任	講師	カトウ マサル 加藤 優 <平成23年4月>		体育学修士		運動と健康	1前	8	4	埼玉県立大学 准教授 (平成11年4月)	
68	兼任	講師	カネコ チエコ 金子 智栄子 <平成26年4月>		家政学修士		カウンセリング論(演習を含む)	4前	4	2	文教学院大学 人間学部 教授 (平成14年4月)	
69	兼任	講師	コ ソウウ 胡 祖耀 <平成23年4月>		農学修士※		外国語Ⅰ(中国語) 外国語Ⅱ(中国語) 外国語Ⅲ(中国語) 外国語Ⅳ(中国語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成16年4月)	
70	兼任	講師	コウノ トモコ 河野 智子 <平成23年4月>		修士※(人文科学)		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	
71	兼任	講師	コジマ アヤコ 小島 彩子 <平成26年4月>		博士(学術)		食薬理学 ※	4前	0.1	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成18年10月)	
72	兼任	講師	コバヤシ ミノル 小林 実 <平成23年4月>		博士(文学)		文学と女性	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 講師 (平成20年4月)	
73	兼任	講師	サカキハラ リエコ 榎原 理枝子 <平成23年4月>		文学修士		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語) 外国語Ⅲ(英語)	1通 2・3・4通 2・3・4通	4 2 2	2 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成12年4月)	
74	兼任	講師	サトウ ノリコ 佐藤 典子 <平成23年4月>		体育学士		人間と運動 身体運動	1前 1・2・3後	2 2	2 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年4月)	
75	兼任	講師	サトウ リノ 佐藤 里野 <平成23年4月>		MA in Performance Studies (アメリカ)		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語) World of the Food and Nutrition	1通 2・3・4通 3後	2 2 2	1 1 1	お茶の水女子大学 英文研究室 フーズ・ミック・フーズ (平成17年10月)	
76	兼任	講師	サワノ ツトム 沢野 勉 <平成23年4月>		農学士		食文化人類学 食物史 フーズスペシャリスト論	2後 1後 4前	2 2 2	1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年4月)	
77	兼任	講師	シミズ フミコ 清水 文子 <平成23年4月>		体育学士		人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1・2・3後 2・3・4後	1 1 1	1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年4月)	

調査番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
78	兼任	講師	タナカ ヒロハル 田中 秀治 <平成24年4月>		医学博士		安全・救急法演習	2前	1	1	国士館大学院救急シブメコース 教授 (平成18年4月)	
79	兼任	講師	チアシ コウイチ 千足 耕一 <平成24年4月>		博士(医学)		シーズスポーツ	2・3・4後	1	1	東京海洋大学 海洋科学部 海洋政策文化学科 准教授 (平成20年9月)	
80	兼任	講師	ツグ ミツコ 栢植 光代 <平成23年4月>		家政学修士		調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅳ 食生活論	1前 3後 3前	1 1 2	1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年4月)	
81	兼任	講師	ナカムラ タカオ 中村 孝雄 <平成26年4月>		法学士		衛生行政Ⅰ 衛生行政Ⅱ	4前 4後	2 2	1 1	独立行政法人 労働者健康福祉機構 埼玉産業保健推進センター 法令相談員 (平成15年4月)	
82	兼任	講師	ニコラス ルーツ ニコラス ルーツ <平成24年4月>		MA, E.d (アメリカ) Master of Arts (オーストラリア)		外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通	6	3	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	
83	兼任	講師	ニタ ミユコ 似田 美恵子 <平成23年4月>		文学准学士		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅲ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
84	兼任	講師	ノムラ キョウコ 野村 京子 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年3月)	
85	兼任	講師	ハシモト カヅミ 橋本 克己 <平成23年4月>		教育学修士		現代社会を考える	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 教授 (平成22年4月)	
86	兼任	講師	ヒロセ マミコ 広瀬 真美子 <平成23年4月>		修士(学術)		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1後	1 1	1 1	東京家政大学 非常勤講師 (平成8年4月)	
87	兼任	講師	マエダ ヨウコ 前田 庸子 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅱ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
88	兼任	講師	マサダ マツノブ 増沢 光信 <平成26年4月>		MS (アメリカ)		食品商品学	4前	2	1	ノブレイ技術事業所 (平成12年12月)	
89	兼任	講師	ミヤガキ ヨリコ 宮崎 順子 <平成23年4月>		人文科学修士		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
90	兼任	講師	ミヤモト マサハル 宮本 正治 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成15年4月)	
91	兼任	講師	ヤギ マチコ 八木 真千子 <平成24年4月>		文学学士		外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	2・3・4通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
92	兼任	講師	ヤスフネ カヨコ 安恒 佳代子 <平成23年4月>		文学士		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅲ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
93	兼任	講師	ヤマダ カズヒコ 山田 和彦 <平成23年4月>		保健学博士		人間生物化学 栄養化学	1後 3前	4 2	2 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
94	兼任	講師	ヤマダ サブローウ 山田 三郎 <平成24年4月>		農学博士		食料経済(食品流通経済を含む)	2後	2	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成13年4月)	
95	兼任	講師	ヤマモト セイコ 山本 誠子 <平成23年4月>		家政学修士		調理学 調理学実習Ⅱ	1前 1後	2 1	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成22年4月)	

(注)

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の出発定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

教 員 の 氏 名 等													
(人間生活学部 人間福祉学科)													
調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職務に従事する 週当たり平均日数	
1	専	教授	アライ ユキエ 新井 幸恵 <平成23年4月>		社会学修士		入門ゼミナール 読書入門 介護過程基礎Ⅰ 介護過程基礎Ⅱ 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ-1 介護実習Ⅱ-2 人間福祉演習 精神保健福祉論 介護基礎Ⅰ(入門)	1前 1後 1後 2前 1後 2後 3前 3後 1後 2通 3通 3通 1・2・3・4後 2・3前	1 1 2 2 1 1 1 1 2 4 4 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 准教授 (平成16年4月)	5日	
	兼任	講師	アライ ユキエ 新井 幸恵 <平成26年4月>		社会学修士		精神保健福祉論	1・2・3・4後	2	1	1		
2	専	教授	カタイギ ヒサト 片居木 英人 <平成23年4月>		政治学修士※		入門ゼミナール 読書入門 女性を学ぶ ※ 日本国憲法の内容と精神 社会福祉概論Ⅱ 社会保障Ⅰ 福祉行財政と福祉計画 社会保障Ⅱ 更生保護制度 社会福祉基礎実習 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉実習 人間福祉演習 人間福祉特論A(基礎) ※ 人間福祉特論B(展開) ※ 卒業研究	1前 1後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後 1後 3前 2後 3後 3後 1前 2・3後 3・4前 3・4後 3・4通 3通 4前 4後 4通	1 1 2 4 2 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 1 0.8 0.1 4	1 1 4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 准教授 (平成18年4月)	5日	
	兼任	講師	カタイギ ヒサト 片居木 英人 <平成26年4月>		政治学修士※		卒業研究	4通	4	1	1		
3	専	教授	クラハラ ナオキ 栗原 直樹 <平成23年4月>		文学士		入門ゼミナール 読書入門 ソーシャルワーク論Ⅰ 社会福祉の歴史 養護原理 ソーシャルワーク論Ⅱ 児童・家庭福祉論 社会福祉施設経営論 社会福祉基礎実習 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉実習 人間福祉演習 児童・家庭福祉特論 人間福祉特論A(基礎) ※ 人間福祉特論B(展開) ※ 卒業研究	1前 1後 1後 2前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 2前 2前 3後 1前 2・3後 3・4前 3・4後 3・4通 3通 2後 4前 4後 4通	1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1 2 2 1 0.3 0.1 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成21年4月)	5日	
	兼任	講師	クラハラ ナオキ 栗原 直樹 <平成26年4月>		文学士		卒業研究	4通	4	1	1		
4	専	教授	サイカワ トミノ 斉川 富夫 <平成23年4月>		社会学修士※		入門ゼミナール 読書入門 現代社会を考える 社会理論と社会システム 人間福祉演習	1前 1後 1・2・3・4前 2後 3通	1 1 2 2 2	1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成17年4月)	5日	
	兼任	講師	サイカワ トミノ 斉川 富夫 <平成26年4月>		社会学修士※		現代社会を考える 社会理論と社会システム	1・2・3・4前 2後	2 2	1 1	1 1		
5	専	教授	ミヤキ ミチコ 宮城 道子 (野崎) <平成23年4月>		修士※ (社会学)		入門ゼミナール 読書入門 女性を学ぶ ※ 女性とごとき 女性と福祉 社会調査の基礎 人間福祉演習 社会調査の応用 人間福祉特論A(基礎) ※ 人間福祉特論B(展開) ※ 市民活動論 卒業研究	1前 1後 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 2前 3通 2後 4前 4後 1・2・3・4後 4通	1 1 2 2 2 2 2 2 0.3 0.5 2 4	1 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成20年4月)	5日	
	兼任	講師	ミヤキ ミチコ 宮城 道子 (野崎) <平成26年4月>		修士※ (社会学)		卒業研究	4通	4	1	1		

調書番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数			
6	専	教授	ヤスオカ フミコ 安岡 美美子 <平成23年4月>		社会福祉学修士		入門ゼミナール 読書入門 相談援助演習Ⅰ 社会福祉基礎実習	1前 1後 1後 1前	1 1 1 1	1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成20年4月)	5日			
	兼任	講師	ヤスオカ フミコ 安岡 美美子 <平成24年4月>		社会福祉学修士		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ 高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ 相談援助演習Ⅰ	2前 2後 1後	2 2 3	1 1 3					
7	専	准教授	オオヤマ ヒロユキ 大山 博幸 <平成23年4月>		教育学修士		入門ゼミナール 読書入門 ソーシャルワーク論Ⅲ ソーシャルワーク論Ⅳ 相談援助演習Ⅱ 社会福祉基礎実習 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉実習 人間福祉演習 人間福祉特論A(基礎) 人間福祉特論B(展開) ケア論 卒業研究	1前 1後 2後 3前 2前 1前 2・3後 3・4前 3・4後 3・4通 3通 4前 4後 1・2・3・4前 4通	1 1 2 2 3 1 1 1 1 8 2 0.1 0.3 2 4	1 1 1 1 3 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 講師 (平成16年4月)	5日			
	8	専	准教授	サトウ フキヲ 佐藤 陽 <平成23年4月>		社会福祉学修士		入門ゼミナール 読書入門 ソーシャルワーク論Ⅴ ソーシャルワーク論Ⅵ 地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ 相談援助演習Ⅳ 社会福祉基礎実習 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 社会福祉実習 人間福祉演習 人間福祉特論A(基礎) 人間福祉特論B(展開) ボランティア・コーディネーション 卒業研究	1前 1後 3後 4前 2前 2後 3前 1前 2・3後 3・4前 3・4後 3・4通 3通 4前 4後 1・2・3・4後 4通	1 1 2 2 2 2 3 1 1 1 1 8 2 0.1 0.3 2 4	1 1 1 1 1 1 3 1 1 1 2 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 准教授 (平成16年4月)	5日		
		9	専	准教授	ナカムラ サチコ 中村 幸子 <平成23年4月>		社会福祉学修士※		入門ゼミナール 読書入門 生活支援技術展開Ⅱ 介護過程展開Ⅱ こころからのしくみⅠ こころからのしくみⅡ 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ-1 介護実習Ⅱ-2 人間福祉演習 人間福祉特論B(展開) 介護基礎Ⅱ(応用) 卒業研究	1前 1後 3前 3前 2前 2後 1後 2後 3前 3後 1後 2通 3通 3通 4後 2・3後 4通	1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 4 4 2 0.1 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 4 4 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 准教授 (平成21年4月)	5日	
			10	専	講師	オオタ マチコ 太田 真智子 <平成26年4月>		社会福祉学修士		入門ゼミナール 読書入門 障害者福祉論 就労支援サービス論 生活支援技術概論 日常生活支援技術Ⅰ 日常生活支援技術Ⅱ 日常生活支援技術Ⅲ 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ-1 介護実習Ⅱ-2 人間福祉演習 人間福祉特論A(基礎) 人間福祉特論B(展開) 卒業研究	1前 1後 2前 2後 1前 1前 1後 1後 1後 1後 2後 3前 3後 1後 2通 3通 3通 4後 4後 4通	1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 4 4 2 0.1 0.3 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 4 4 1 1 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 助手 (平成17年4月)	5日

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職務に従事する 週当たり平均日数
11	専	講師	メジマ ヤスコ 野島 靖子 <平成23年4月>		社会福祉学修士		入門ゼミナール 読書入門 生活支援技術概論 日常生活支援技術Ⅰ 日常生活支援技術Ⅱ 日常生活支援技術Ⅲ 生活支援技術応用Ⅰ 生活支援技術応用Ⅱ 介護過程基礎Ⅰ 介護過程基礎Ⅱ 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ-1 介護実習Ⅱ-2 人間福祉演習 人間福祉特論A(基礎) ※ 人間福祉特論B(展開) ※ 介護基礎Ⅰ(入門) 卒業研究	1前 1後 1前 1前 1後 1後 2前 2後 1後 2前 1後 2後 3前 3後 1後 2通 3通 3通 4前 4後 2・3前 4通	1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 4 4 2 0.1 0.1 2 4	1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 講師 (平成21年4月)	5日
12	専	講師	ミヤウチ トシヒコ 宮内 寿彦 <平成23年4月>		福祉社会学修士		入門ゼミナール 読書入門 社会福祉概論Ⅰ 基礎介護論Ⅰ 基礎介護論Ⅱ コミュニケーション技術Ⅰ コミュニケーション技術Ⅱ 介護過程展開Ⅰ 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅲ 介護総合演習Ⅳ 介護実習Ⅰ 介護実習Ⅱ-1 介護実習Ⅱ-2 人間福祉演習 人間福祉特論A(基礎) ※ 人間福祉特論B(展開) ※ 福祉機器論 卒業研究	1前 1後 1前 1前 1後 1後 2前 2後 1後 2後 3前 3後 1後 2通 3通 3通 4前 4後 2・3前 4通	1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 2 4 4 2 0.1 0.1 2 4	1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 講師 (平成22年4月)	5日
13	兼担	講師	アベ フミ 阿部 史 <平成23年4月>		L.L.M. ※ (アメリカ)		女性を学ぶ ※ 社会の仕組みの理解 民法入門 家族と労働法	1・2・3・4前・後 1・2・3・4後 1前 2・3・4後	2 2 2 2	4 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 講師 (平成21年4月)	
14	兼担	講師	アンソニー ルファ アンソニー ルファ <平成23年4月>		M.A. (イギリス)		外国語Ⅰ(スペイン語)	1通	6	3	十文字学園女子大学 社会情報学部	
	兼任	講師	アンソニー ルファ アンソニー ルファ <平成24年4月>		M.A. (イギリス)		外国語Ⅰ(スペイン語) 外国語Ⅱ(英語) 外国語Ⅲ(スペイン語) 外国語Ⅳ(スペイン語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1	社会情報学科 教授 (平成22年4月)	
15	兼担	講師	イダ ロカ 飯田 路佳 <平成23年4月>		体育学修士		運動と健康 人間と運動 身体運動 シーズスポーツ	1前 1前 1・2・3後 2・3・4後	4 2 2 1	2 2 2 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 講師 (平成19年4月)	
16	兼担	講師	イグチ イソオ 井口 歳夫 <平成23年4月>		教育学修士		情報基礎論	1前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成19年4月)	
17	兼担	講師	イトウ ケイコ 伊藤 恵子 <平成24年4月>		博士(教育学)		心理学理論と心理的支援	3前	2	1	東京未来大学 こども心理学部 こども心理学科 こども心理専攻 教授 (平成21年4月)	
18	兼担	講師	イワイ ユウイチ 岩井 雄一 <平成23年4月>		教育学士		特別支援教育概論	1後	2	1	東京都 教職員研修センター 教育経営課 教授 (平成22年4月)	

調査番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
19	兼担	講師	ウチダ ノブコ 内田 伸子 <平成23年4月>		学術博士		乳幼児期の心理学	2前	2	1	お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 教授 (平成21年4月)	
20	兼担	講師	オオトモ ユキコ 大友 由紀子 <平成23年4月>		文学修士※		女性を学ぶ 現代社会を考える 家族生活論 生活構造論	※ 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前	2 2 2 2	4 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成13年4月)	
21	兼担	講師	オオニシ マサユキ 大西 正行 <平成23年4月>		経済学士		総合科目 総合ゼミ 文章表現(発展)	1・2・3・4前・後 1・2・3・4通 2前	4 2 2	2 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 特任教授 (平成20年4月)	
22	兼担	講師	オガサワラ ノリコ 小笠原 典子 <平成23年4月>		文学学士 法学学士		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅲ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	2 2 2 2	1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 特任准教授 (平成15年4月)	
23	兼担	講師	オカモト タカシ 岡本 卓 <平成23年4月>		文学士		文章表現(発展)	2前	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成19年4月)	
24	兼担	講師	カザマ フミアキ 風間 文明 <平成23年4月>		修士※(心理学)		グループダイナミクス	3・4前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 准教授 (平成22年4月)	
25	兼担	講師	カトウ アキコ 加藤 陽子 (杉本) <平成23年4月>		博士(人間科学)		若者と精神保健	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 講師 (平成20年4月)	
26	兼担	講師	カメダ アツコ 亀田 温子 <平成23年4月>		文学修士		女性を学ぶ 女性としごと	※ 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前	2 2	4 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成12年4月)	
27	兼担	講師	カリノ コウジ 狩野 浩二 <平成23年4月>		修士(教育学)		新座から学ぶ	※ 1・2・3・4前	0.6	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成22年4月)	
28	兼担	講師	カワグチ ヒゲトシ 川口 英俊 <平成23年4月>		法学修士※		社会の仕組みの理解 生活と政治行政	1・2・3・4後 2・3・4前・後	2 4	1 2	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成20年4月)	
29	兼担	講師	キタハラ シュンイチ 北原 俊一 <平成23年4月>		博士(理学)		物質のなりたち 地球と環境 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1・2・3・4前 1・2・3・4後 1前 1後	2 2 1 1	1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成18年4月)	
30	兼担	講師	クニジ アキコ 郡司 明子 <平成25年4月>		教育学修士		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後	4	2	国立大学法人 お茶の水女子大学附属小学校 教諭 (平成14年4月)	
31	兼担	講師	コウゴ トモミ 向後 朋美 (田中) <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成17年4月)	
32	兼担	講師	コミネ マサヒコ 込江 雅彦 <平成23年4月>		経済学修士※		新座から学ぶ 現代社会を考える グローバル化と社会	※ 1・2・3・4前 1・2・3・4前 ※ 1・2・3・4後	0.8 2 1	1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 准教授 (平成17年4月)	
33	兼担	講師	サイトウ レイコ 齋藤 麗子 <平成23年4月>		医学博士		女性のからだと心	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成22年4月)	

調査番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数	
34	兼担	講師	シタラ コウコ 設楽 優子 (松尾) <平成23年4月>		Master of Arts (Phonetics) with Distinction (イギリス)		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 講師 (平成12年4月)		
35	兼担	講師	シヤマラ トヨヒロ 島村 豊博 <平成23年4月>		文学修士		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成16年4月)		
	兼任	講師	シヤマラ トヨヒロ 島村 豊博 <平成26年4月>		文学修士		外国語Ⅳ(英語)	2・3・4通	2	1			
36	兼担	講師	シミズ レイコ 清水 玲子 <平成23年4月>		音楽学士		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後	4	2	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成19年4月)		
37	兼担	講師	スズキ ヒロユカ 鈴木 弘貴 <平成23年4月>		国際関係学修士※		グローバルイゼーションと社会	※	1・2・3・4後	1	1	十文字学園女子大学	
							文章表現(発展)		2前	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成13年4月)	
38	兼担	講師	タナカ シゲル 田中 茂 <平成23年4月>		博士(保健学)		公衆衛生学	1前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 教授 (平成14年4月)		
39	兼担	講師	ツノダ シンジ 角田 真二 <平成23年4月>		工学修士		ユニバーサルデザイン論	2・3後	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成22年4月)		
40	兼担	講師	ツブキ タカシ 津吹 卓 <平成24年4月>		農学博士		生命と生態系	1・2・3・4前	2	1	十文字中学・高等学校 教諭 (昭和52年4月)		
	兼任	講師	ツブキ タカシ 津吹 卓 <平成23年4月>		農学博士								
41	兼担	講師	ツボクラ キヨコ 坪倉 紀代子 <平成23年4月>		体育学士		身体運動	1・2・3後	1	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)		
							シーズンスポーツ	2・3・4後	1	1			
42	兼担	講師	ハンモト ヒロコ 橋本 ヒロ子 <平成23年4月>		図書館情報学修士		女性を学ぶ	※	1・2・3・4前・後	2	4	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成15年4月)	
							女性とメディア		1・2・3・4後	2	1		
							女性の社会参画の国際比較		1・2・3・4後	2	1		
							キャリアサポート		2・3前・後	4	2		
							自主社会活動		1・2・3・4前・後	2	2		
43	兼担	講師	ヒラタ チアキ 平田 晋秋 <平成23年4月>		博士(体育科学)		運動と健康		1前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 講師 (平成18年4月)	
							人間と運動		1前	4	4		
							身体運動		1・2・3後	3	3		
							シーズンスポーツ		2・3・4後	1	1		
44	兼担	講師	ヒラタ トモヒサ 平田 晋久 <平成23年4月>		芸術学士		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後	8	4	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)		
45	兼担	講師	フセ ハルミ 布施 晴美 <平成23年4月>		リハビリテーション修士		リハビリテーション論	2・3前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 准教授 (平成17年4月)		
46	兼担	講師	マツナガ シュウイチ 松永 修一 <平成23年4月>		文学修士※		新座から学ぶ	※	1・2・3・4前	0.6	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成22年4月)	
							文章表現(発展)		2前	2	1		
							言語表現論		1前	2	1		
47	兼担	講師	モリ ミキナ 森 三樹雄 <平成23年4月>		博士(医学)		健康科学概論	1後	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 食物栄養学科 教授 (平成18年4月)		

調査番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
48	兼任	講師	モリタ カツユキ 森田 勝之 ＜平成23年4月＞		文学士		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成15年4月)	
49	兼任	講師	ヤナギモト ユウジ 柳本 雄次 ＜平成23年4月＞		特殊教育学修士※		特別支援教育概論	1後	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 特任教授 (平成22年4月)	
50	兼任	講師	ヤマモト サトル 山本 悟 ＜平成23年4月＞		体育学修士		人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1・2・3後 2・3・4後	3 3 1	3 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成22年4月)	
51	兼任	講師	アズマ ショウコ 東 聖子 ＜平成23年4月＞		博士(人文科学)		文学と女性	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 教授 (平成8年4月)	
52	兼任	講師	アン ウォーカー アン ウォーカー ＜平成24年4月＞		M. A. English Literature (ニュージーランド)		外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通	6	3	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年4月)	
53	兼任	講師	イトウ ウジタカ 伊藤 氏貴 ＜平成24年4月＞		博士(芸術)		文章表現(発展)	2前	2	1	明治大学 文学部 講師 (平成19年4月)	
54	兼任	講師	ウチノ ノブユキ 内野 伸之 ＜平成23年4月＞		法学修士		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
55	兼任	講師	エンドウ タダシ 遠藤 忠 ＜平成23年4月＞		博士(心理学)		発達と老化Ⅱ	1前	2	1	日本大学 文理学部 人文科学研究所 研究員 (平成18年4月)	
56	兼任	講師	オオキハラ アツシ 扇原 淳 ＜平成23年4月＞		博士(医学)		人間と運動 身体運動	1前 1・2・3後	3 3	3 3	早稲田大学 人間科学学術院 人間科学部 健康福祉科学科 准教授 (平成21年4月)	
57	兼任	講師	オオバヤシ ケイゴ 大林 啓吾 ＜平成23年4月＞		博士(法学)		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後	4	2	帝京大学 法学部 講師 (平成19年3月)	
58	兼任	講師	オオハラ トモコ 大原 知子 ＜平成23年4月＞		博士(文学)		外国語Ⅰ(フランス語) 外国語Ⅱ(フランス語) 外国語Ⅲ(フランス語) 外国語Ⅳ(フランス語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成12年4月)	
59	兼任	講師	オオリ ナオコ 大里 奈穂子 ＜平成23年4月＞		修士(人文科学)		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語)	1通 2・3・4通	6 2	3 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年10月)	
60	兼任	講師	オカダ トオル 岡田 徹 ＜平成25年4月＞		応用社会学修士		国際福祉論	3・4後	2	1	立教大学 コミュニティ福祉学部 教授 (平成18年4月)	
61	兼任	講師	オダ アキコ 小田 明子 ＜平成24年4月＞		外国語教育修士		外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	2・3・4通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年9月)	
62	兼任	講師	オダ ツヤコ 織田 つや子 ＜平成24年4月＞		社会学修士		介護と倫理	2前	2	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成22年4月)	
63	兼任	講師	カトウ マサル 加藤 優 ＜平成23年4月＞		体育学修士		運動と健康	1前	8	4	埼玉県立大学 准教授 (平成11年4月)	
64	兼任	講師	カワモト カツヒデ 川元 克秀 ＜平成25年4月＞		博士(情報科学)		中高年期の心理学	3・4後	2	1	埼玉大学 教育学部 准教授 (平成12年4月)	
65	兼任	講師	カンノ ミヨコ 菅野 清子 ＜平成23年4月＞		なし		レクリエーション援助法	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成17年4月)	

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等の 職務に就事する 週当たり平均日数
66	兼任	講師	クボタ ナオコ 久保田 直子 <平成24年4月>		社会学士		介護と自立	2後	2	1	社会福祉法人いずみ 東村山市 身障通所授産所 (平成20年6月)	
67	兼任	講師	コ ソヨウ 胡 祖耀 <平成23年4月>		農学修士※		外国語Ⅰ(中国語) 外国語Ⅱ(中国語) 外国語Ⅲ(中国語) 外国語Ⅳ(中国語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成16年4月)	
68	兼任	講師	コウノ トモコ 河野 智子 <平成23年4月>		修士※(人文科学)		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	
69	兼任	講師	コヅカ ナナエ 狐塚 七重 <平成24年4月>		家政学士		介護と環境	2後	2	1	東京都福祉保健局 高齢社会対策部 施設支援課 (平成21年4月)	
70	兼任	講師	コバケン ミノル 小林 実 <平成23年4月>		博士(文学)		文学と女性	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 講師 (平成20年4月)	
71	兼任	講師	サイトウ チヅル 齊藤 千鶴 (馬場) <平成25年4月>		博士(心理学)		家族心理学	3・4前	2	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	
72	兼任	講師	サカモト リエコ 榎原 理枝子 <平成23年4月>		文学修士		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語) 外国語Ⅲ(英語)	1通 2・3・4通 2・3・4通	4 2 2	2 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成12年4月)	
73	兼任	講師	サカモト カヨコ 坂本 佳代子 <平成25年4月>		家政学修士		相談援助演習Ⅴ	3後	3	3	坂本福祉相談事務所 (平成21年4月)	
74	兼任	講師	サトウ ノリコ 佐藤 典子 <平成23年4月>		体育学士		人間と運動 身体運動	1前 1・2・3後	2 2	2 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年4月)	
75	兼任	講師	サトウ リノ 佐藤 里野 <平成23年4月>		MA in Performance Studies (アメリカ)		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	お茶の水女子大学 英文研究室 7th・8th・9th・10th (平成17年10月)	
76	兼任	講師	シノダ イツコ 塩田 伊都子 (紀伊) <平成24年4月>		心理学修士		対人社会心理学	2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成13年4月)	
77	兼任	講師	シミズ フミコ 清水 文子 <平成23年4月>		体育学士		人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1・2・3後 2・3・4後	1 1 1	1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年4月)	
78	兼任	講師	スギウラ ノリアキ 杉浦 史晃 <平成25年4月>		体育学士		生活支援技術展開Ⅰ	3前	1	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年4月)	
79	兼任	講師	タカキ シュンジ 高木 俊治 <平成23年4月>		医学修士※		発達と老化Ⅰ 障がいの理解Ⅰ	1前 2前	2 2	1 1	埼玉県立コロニー嵐山郷 医館 (平成20年12月)	
80	兼任	講師	タカハラ サワ 高倉 佐和 (菊地) <平成23年4月>		工学博士		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1後	1 1	1 1	東京歯科大学 市川総合病院 助産師 (平成21年4月)	
81	兼任	講師	タカセ シュウジ 高世 秀仁 <平成23年4月>		医学博士		医学一般 こころとからだのしくみⅡ	1前 2後	2 2	1 1	信愛病院 緩和ケア部長 (平成20年11月)	
82	兼任	講師	タカマ ジョウジ 高間 譲治 <平成23年4月>		工学修士※		生活環境支援技術 福祉住環境論	2後 1・2・3・4前	1 2	1 1	㈱アーバンナウ 代表取締役 (平成6年4月)	
83	兼任	講師	タナカ ミツエ 田中 満枝 <平成25年4月>		社会学修士		権利擁護と成年後見制度	3前	2	1	つばさ社会福祉士事務所 所長 (平成11年10月)	
84	兼任	講師	タニ チハル 谷 千春 <平成24年4月>		なし		手話	2・3・4前・後	4	2	NPO手話技能検定協会 理事長 (平成19年6月)	
85	兼任	講師	タバタ コウジ 田畑 光司 <平成25年4月>		教育学修士		障害者の心理学	3・4前	2	1	埼玉学園大学 准教授 (平成17年4月)	
86	兼任	講師	チナン コウイチ 千足 耕一 <平成24年4月>		博士(医学)		シーズンスポーツ	2・3・4後	1	1	東京海洋大学 海洋科学部 海洋政策文化学科 准教授 (平成20年9月)	

調査番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
87	兼任	講師	トダ キョウコ 戸田 京子 <平成24年4月>		体育学士		認知症の理解Ⅱ	2後	1	1	介護老人保健施設 大泉学園ふきのとう 事務管理部 事務長 (平成20年4月)	
88	兼任	講師	ナカジマ ソノエ 中島 園恵 <平成25年4月>		社会福祉学修士		介護サービス計画	3後	2	1	有限会社オーガ・ネット 代表取締役 (平成17年1月)	
89	兼任	講師	ナガトモ ニウゾウ 長友 祐三 <平成25年4月>		社会学修士		公的扶助論 公的扶助特論	3前 3後	2 2	1 1	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 准教授 (平成18年4月)	
90	兼任	講師	ナカノ イズミ 中野 いずみ <平成25年4月>		社会学修士		高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅰ 高齢者に対する支援と介護保険制度Ⅱ 保健医療サービス論	2前 2後 3前	2 2 2	1 1 1	静岡福祉大学 社会福祉学部 教授 (平成22年4月)	
91	兼任	講師	ニコラス ルーツ ニコラス ルーツ <平成24年4月>		MA, E.d (アメリカ) Master of Arts (オーストラリア)		外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通	6	3	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	
92	兼任	講師	ニタ ミエコ 似田 美恵子 <平成23年4月>		文学准学士		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅲ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
93	兼任	講師	ノムラ キョウコ 野村 京子 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年3月)	
94	兼任	講師	ハシモト カツミ 橋本 克己 <平成23年4月>		教育学修士		現代社会を考える	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 教授 (平成22年4月)	
95	兼任	講師	ハタケヤマ チハル 畠山 千春 <平成24年4月>		社会学士		障がいの理解Ⅱ	2後	2	1	東京都清瀬療護園 副園長 (平成20年4月)	
96	兼任	講師	フタワタリ ツトム 二渡 努 <平成24年4月>		社会福祉学修士		相談援助演習Ⅲ	2後	3	3	日本福祉教育専門学校 介護福祉学科 講師 (平成17年4月)	
97	兼任	講師	マエダ ヨウコ 前田 庸子 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅱ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
98	兼任	講師	マツヤマ ヨシオ 松山 義夫 <平成25年4月>		社会学修士		介護と地域	3後	2	1	社会福祉士 松山事務所 (平成20年9月)	
99	兼任	講師	マルヤマ アキラ 丸山 晃 <平成24年4月>		社会学修士		障害者福祉論 就労支援サービス論	2前 2後	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成22年4月)	
100	兼任	講師	ミヤザキ ヨリコ 宮崎 順子 <平成23年4月>		人文科学修士		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
101	兼任	講師	ミヤモト マサハル 宮本 正治 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成15年4月)	
102	兼任	講師	ムラカミ ケツオ 村上 哲雄 <平成24年4月>		医学博士		認知症の理解Ⅰ	2前	2	1	社会福祉法人 親愛報恩会 信愛病院 副院長 (平成16年4月)	
103	兼任	講師	ヤギ マチコ 八木 真千子 <平成24年4月>		文学学士		外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	2・3・4通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
104	兼任	講師	ヤスツネ カヨコ 安恒 佳代子 <平成23年4月>		文学士		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅲ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
105	兼任	講師	ヤマグチ ノリコ 山口 典子 <平成23年4月>		家政学修士		生活学概論 家事生活支援技術	1・2・3・4後 2前	2 1	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成13年9月)	

(注)

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

教 員 の 氏 名 等												
(人間生活学部 生活情報学科)												
調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 相当日平均日数
1	専	教授	イズミ ナオコ 泉 直子 <平成23年4月>		博士(工学)		入門ゼミナール 読書入門 インターンシップ実習 パソコン活用 ※ ビジネスデータ活用基礎 ビジネスデータ活用応用 データベース入門 データベース基礎 生活情報総合講義 ※ プレゼミナール 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 2・3前 1前 3前 3後 2前 2後 ※ 2前 2後 3前 3後 4通	1 1 2 0.3 4 4 4 4 0.1 2 2 2 2 4	1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 教授 (平成17年4月)	5日
2	専	教授	カメダ アツコ 亀田 温子 <平成23年4月>		文学修士		入門ゼミナール 読書入門 女性を学ぶ ※ 女性としごと 社会人基礎力 インターンシップ実習 ワークライフバランス論 人材育成論 キャリアモデルケース研究 キャリア開発論 生活情報総合講義 ※ プレゼミナール 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 ※ 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前 1後 2・3前 3前 3後 2後 2前 ※ 2後 3前 3後 4通	1 1 2 2 4 2 2 2 0.1 2 2 2 2 4	1 1 4 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成12年4月)	5日
3	専	教授	クハラ タカシ 栗原 隆史 <平成23年4月>		博士(経営情報学)		入門ゼミナール 読書入門 インターンシップ実習 パソコン活用 ※ アニメーション制作 コンピュータグラフィックス 3次元CG ハードウェア基礎 生活情報総合講義 ※ プレゼミナール 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 2・3前 1前 2前 2前 2後 1後 ※ 2後 3前 3後 4通	1 1 2 0.3 4 4 4 4 0.1 2 2 2 4	1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 教授 (平成17年4月)	5日
4	専	教授	タカラ アキラ 田倉 昭 <平成23年4月>		博士(理学)		入門ゼミナール 読書入門 インターンシップ実習 パソコン活用 ※ 新しいWebページ ネットワーク基礎 インターネットとセキュリティ ネットワーク設定 サーバ設定 生活情報総合講義 ※ プレゼミナール 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 2・3前 1前 3前 2前 2後 3前 3後 ※ 2後 3前 3後 4通	1 1 2 0.3 4 2 2 4 4 0.1 2 2 2 4	1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 教授 (平成17年4月)	5日
5	専	教授	ナカノ シゲコ 中尾 茂子 <平成23年4月>		理学士		入門ゼミナール 読書入門 情報基礎論 情報処理演習Ⅱ インターンシップ実習 パソコン活用 ※ ビジネス文書作成 Webページ作成基礎 Webページ作成応用 生活情報総合講義 ※ プレゼミナール 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 1前 1後 2・3前 1前 1後 2前 2後 ※ 2後 3前 3後 4通	1 1 2 1 2 0.3 4 4 4 0.1 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 教授 (平成17年4月)	5日

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数									
6	専	教授	ナガサカ トシフミ 長坂 敏史 <平成23年4月>		商学士		入門ゼミナール	1前	1	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 教授 (平成15年4月)	5日									
							読書入門	1後	1	1											
							女性と起業	2・3後	4	2											
							インターンシップ実習	2・3前	2	1											
							キャリアモデルケース研究	2後	2	1											
							会計学基礎	1前	4	2											
							簿記入門	1後	4	2											
							簿記基礎	2前	4	2											
							簿記初級	2後	4	2											
							簿記中級	3前	4	2											
							簿記上級	3後	4	2											
							経営学基礎	1後	4	2											
							企業戦略論	3後	4	2											
							企業と情報	2前	4	2											
							会計情報システム	3前	4	2											
							生活情報総合講義	※ 2前	0.1	1											
							プレゼミナール	2後	2	1											
演習Ⅰ	3前	2	1																		
演習Ⅱ	3後	2	1																		
卒業研究	4通	4	1																		
7	専	教授	ハシモト ヒロコ 橋本 ヒロ子 <平成23年4月>		図書館情報学修士		入門ゼミナール	1前	1	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成15年4月)	5日									
							読書入門	1後	1	1											
							女性を学ぶ	※ 1・2・3・4前・後	2	4											
							女性とメディア	1・2・3・4後	2	1											
							女性の社会参画の国際比較	1・2・3・4後	2	1											
							キャリアサポート	2・3前・後	4	2											
							自主社会活動	1・2・3・4前・後	2	2											
							インターンシップ入門	2・3前	2	1											
							インターンシップ実習	2・3前	2	1											
							生活情報総合講義	※ 2前	0.1	1											
							プレゼミナール	2後	2	1											
							演習Ⅰ	3前	2	1											
							演習Ⅱ	3後	2	1											
							卒業研究	4通	4	1											
							8	専	教授	ホシノ アツコ 星野 敦子 <平成23年4月>				学術博士		入門ゼミナール	1前	1	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 教授 (平成19年4月)	5日
																読書入門	1後	1	1		
																インターンシップ実習	2・3前	2	1		
調査と統計	2前	4	2																		
社会調査法Ⅰ(量的調査)	2後	4	2																		
マーケティングリサーチ	3前	4	2																		
生活情報総合講義	※ 2前	0.1	1																		
プレゼミナール	2後	2	1																		
演習Ⅰ	3前	2	1																		
演習Ⅱ	3後	2	1																		
卒業研究	4通	4	1																		
9	専	教授	ワキムラ ノブユキ 牧村 信之 <平成23年4月>		修士(理学)						入門ゼミナール	1前				1	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 教授 (平成16年4月)	5日		
											読書入門	1後				1	1				
											インターンシップ実習	2・3前				2	1				
											パソコン活用	※ 1前				0.3	1				
											システム設計入門	2後				4	2				
											プログラミング中級	2前				4	2				
							生活情報総合講義	※ 2前	0.1	1											
							プレゼミナール	2後	2	1											
							兼任	講師	ワキムラ ノブユキ 牧村 信之 <平成25年4月>	修士(理学)		システム設計入門	2後	4	2						
												システム設計基礎	3前	4	2						
プログラミング中級	2前	4	2																		
					Webアプリケーション	3後	4	2													
10	専	准教授	オオトモ ユキコ 大友 由紀子 <平成23年4月>		文学修士※		入門ゼミナール	1前	1	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成13年4月)	5日									
							読書入門	1後	1	1											
							女性を学ぶ	※ 1・2・3・4前・後	2	4											
							現代社会を考える	1・2・3・4前	2	1											
							情報処理演習Ⅱ	1後	1	1											
							生活構造論	2・3前	2	1											
							家族生活論	2・3後	2	1											
							インターンシップ実習	2・3前	2	1											
							ライフコースと生活設計	2・3前	2	1											
							社会調査法Ⅱ(質的調査)	2後	4	2											
							生活情報総合講義	※ 2前	0.1	1											
							プレゼミナール	2後	2	1											
							演習Ⅰ	3前	2	1											
							演習Ⅱ	3後	2	1											
							卒業研究	4通	4	1											

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 相当平均日数
11	専	准教授	オノ コウジロウ 小野 裕次郎 <平成23年4月>		工学博士		入門ゼミナール 読書入門 インターンシップ実習 パソコン活用 アニメーション入門 ソフトウェア基礎 プログラミング入門 ゲームプログラミング 生活情報総合講義 プレゼミナール 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 2・3前 ※ 1前 1後 1前 1前 3前 ※ 2前 2後 3前 3後 4通	1 1 2 0.3 4 4 4 4 0.1 2 2 2 4	1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 准教授 (平成17年4月)	5日
12	専	准教授	コミニ マサヒコ 込江 雅彦 <平成23年4月>		経済学修士※		入門ゼミナール 読書入門 新座から学ぶ 現代社会を考える グローバルゼーションと社会 情報処理演習Ⅰ 生活経済 生活と産業 インターンシップ実習 ビジネス経済学 マネージメント 株式投資入門 インターネットビジネス 生活情報総合講義 プレゼミナール 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 ※ 1・2・3・4前 1・2・3・4前 ※ 1・2・3・4後 1前 2・3前 2・3後 2・3前 2前 3前 3後 2後 ※ 2前 2後 3前 3後 4通	1 1 0.8 2 1 1 2 2 2 2 2 2 0.1 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 准教授 (平成17年4月)	5日
13	専	准教授	シンギョウチ コウジ 新行内 康慈 <平成23年4月>		博士(先端科学技術)		入門ゼミナール 読書入門 インターンシップ実習 パソコン活用 データ活用 情報数学 プログラミング初級 プログラミング上級 生活情報総合講義 プレゼミナール 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 2・3前 ※ 1前 2前 2前 1後 2後 ※ 2前 2後 3前 3後 4通	1 1 2 0.3 4 4 4 4 0.1 2 2 2 4	1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 准教授 (平成19年4月)	5日
14	専	講師	アベ フミ 阿部 史 <平成23年4月>		L.L.M.※ (アメリカ)		入門ゼミナール 読書入門 女性を学ぶ 社会の仕組みの理解 情報処理演習Ⅰ 民法入門 消費生活と法律 家族と労働法 インターンシップ実習 ビジネスと法律 生活情報総合講義 プレゼミナール 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 ※ 1・2・3・4前・後 1・2・3・4後 1前 1前 2・3前 2・3後 2・3前 2後 ※ 2前 2後 3前 3後 4通	1 1 2 2 1 2 2 2 2 2 0.1 2 2 2 4	1 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 講師 (平成21年4月)	5日
15	兼担	講師	アンソニー ルファ アンソニー ルファ <平成23年4月>		M.A. (イギリス)		外国語Ⅰ(スペイン語)	1通	6	3	十文字学園女子大学 社会情報学部	
	兼任	講師	アンソニー ルファ アンソニー ルファ <平成24年4月>		M.A. (イギリス)		外国語Ⅰ(スペイン語) 外国語Ⅱ(英語) 外国語Ⅲ(スペイン語) 外国語Ⅳ(スペイン語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1	社会情報学部 教授 (平成22年4月)	
16	兼担	講師	イダ ロカ 飯田 路佳 <平成23年4月>		体育学修士		運動と健康 人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1前 1・2・3後 2・3・4後	4 2 2 1	2 2 2 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 講師 (平成19年4月)	
17	兼担	講師	オオニシ マサユキ 大西 正行 <平成23年4月>		経済学士		総合科目 総合ゼミ	1・2・3・4前・後 1・2・3・4通	4 2	2 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 特任教授 (平成20年4月)	

調査番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学等の職務に従事する週当たり平均日数
18	兼担	講師	オガサワラ ノリコ 小笠原 典子 <平成23年4月>		文学学士 法学学士		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅲ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	2 2 2 2	1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 特任准教授 (平成15年4月)	
19	兼担	講師	カタイギ ヒサト 片居木 英人 <平成23年4月>		政治学修士※		女性を学ぶ 日本国憲法の内容と精神	※ 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 4	4 2	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 准教授 (平成18年4月)	
20	兼担	講師	カトウ アキコ 加藤 陽子 (杉本) <平成23年4月>		博士(人間科学)		若者と精神保健	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 講師 (平成20年4月)	
21	兼担	講師	カリノ コウジ 狩野 浩二 <平成23年4月>		修士(教育学)		新座から学ぶ	※ 1・2・3・4前	0.6	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成22年4月)	
22	兼担	講師	カワグチ ヒサトシ 川口 英俊 <平成23年4月>		法学修士※		社会の仕組みの理解	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成20年4月)	
23	兼担	講師	キタハラ シュンイチ 北原 俊一 <平成23年4月>		博士(理学)		物質のなりたち 地球と環境	1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2	1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成18年4月)	
24	兼担	講師	グンジ アキコ 郡司 明子 <平成25年4月>		教育学修士		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後	4	2	国立大学法人 お茶の水女子大学附属小学校 教諭 (平成14年4月)	
25	兼担	講師	コウゴ トモミ 向後 朋美 (田中) <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成17年4月)	
26	兼担	講師	サイカワ トミオ 齊川 富夫 <平成23年4月>		社会学修士※		現代社会を考える	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成17年4月)	
	兼任	講師	サイカワ トミオ 齊川 富夫 <平成26年4月>		社会学修士※							
27	兼担	講師	サイトウ レイコ 齋藤 麗子 <平成23年4月>		医学博士		女性のからだと心	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成22年4月)	
28	兼担	講師	シタワ ユウコ 設楽 優子 (松尾) <平成23年4月>		Master of Arts (Phonetics) with Distinction (イギリス)		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 講師 (平成12年4月)	
29	兼担	講師	シマムラ トヨヒロ 島村 豊博 <平成23年4月>		文学修士		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅳ(英語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成16年4月)	
	兼任	講師	シマムラ トヨヒロ 島村 豊博 <平成26年4月>		文学修士							
30	兼担	講師	シミズ レイコ 清水 玲子 <平成23年4月>		音楽学士		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後	4	2	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成19年4月)	
31	兼担	講師	スズキ ヒロタカ 鈴木 弘貴 <平成23年4月>		国際関係学修士※		グローバルバージョンと社会	※ 1・2・3・4後	1	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成13年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 当 年 次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
32	兼担	講師	ツブキ タカシ 津吹 卓 <平成24年4月>		農学博士		生命と生態系	1・2・3・4前	2	1	十文字中学・高等学校 教諭 (昭和52年4月)	
	兼任	講師	ツブキ タカシ 津吹 卓 <平成23年4月>		農学博士							
33	兼担	講師	ツボクラ キヨコ 坪倉 紀代子 <平成23年4月>		体育学士		身体運動 シーズンスポーツ	1・2・3後 2・3・4後	1 1	1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)	
34	兼担	講師	ヒラタ テアキ 平田 智秋 <平成23年4月>		博士(体育科学)		運動と健康 人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1前 1・2・3後 2・3・4後	2 4 3 1	1 4 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 講師 (平成18年4月)	
35	兼担	講師	ヒラタ トモヒサ 平田 智久 <平成23年4月>		芸術学士		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後	8	4	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)	
36	兼担	講師	マツナガ シュウイチ 松永 修一 <平成23年4月>		文学修士※		新座から学ぶ ※	1・2・3・4前	0.6	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成22年4月)	
37	兼担	講師	ミヤキ ミチコ 宮城 道子 (野崎) <平成23年4月>		社会学修士※		女性を学ぶ ※ 女性としごと NPO活動と組織	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前 2・3前	2 2 2	4 1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成20年4月)	
38	兼担	講師	モリタ カツユキ 森田 勝之 <平成23年4月>		文学士		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成15年4月)	
39	兼担	講師	ヤマモト サトル 山本 悟 <平成23年4月>		体育学修士		人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1・2・3後 2・3・4後	3 3 1	3 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成22年4月)	
40	兼任	講師	アズマ ショウコ 東 聖子 <平成23年4月>		博士(人文科学)		文学と女性	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 短期大学 文学科 教授 (平成8年4月)	
41	兼任	講師	アン ウォーカー アン ウォーカー <平成24年4月>		M. A. English Literature (ニュージーランド)		外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通	6	3	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年4月)	
42	兼任	講師	ウチノ ノブユキ 内野 伸之 <平成23年4月>		法学修士		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
43	兼任	講師	オオギハラ アツシ 扇原 淳 <平成23年4月>		博士(医学)		人間と運動 身体運動	1前 1・2・3後	3 3	3 3	早稲田大学 人間科学学術院 人間科学部 健康福祉科学科 准教授 (平成21年4月)	
44	兼任	講師	オオバヤシ ケイゴ 大林 啓吾 <平成23年4月>		博士(法学)		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後	4	2	帝京大学 法学部 講師 (平成19年3月)	
45	兼任	講師	オオハラ トモコ 大原 知子 <平成23年4月>		博士(文学)		外国語Ⅰ(フランス語) 外国語Ⅱ(フランス語) 外国語Ⅲ(フランス語) 外国語Ⅳ(フランス語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成12年4月)	
46	兼任	講師	オオリ ナオコ 大里 奈穂子 <平成23年4月>		修士(人文科学)		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語)	1通 2・3・4通	6 2	3 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年10月)	
47	兼任	講師	オカモト タイジ 岡本 泰次 <平成23年4月>		物理学修士		情報社会論	1後	2	1	富士通株式会社 嘱託 (平成17年6月)	

調査番号	専任等区分	職位	フリガナ氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現職(就任年月)	申請に係る大学の職務に従事する週当たり平均日数
48	兼任	講師	フリガナ 小田 明子 <平成24年4月>		外国語教育修士		外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	2・3・4通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年9月)	
49	兼任	講師	カサハラ シンイチロウ 笠原 伸一郎 <平成25年4月>		経営学修士		国際経営論	3後	2	1	専修大学 経営学部 教授 (平成8年4月)	
50	兼任	講師	カトウ マサル 加藤 優 <平成23年4月>		体育学修士		運動と健康	1前	8	4	埼玉県立大学 准教授 (平成11年4月)	
51	兼任	講師	カモザワ サオリ 鴨澤 小織 <平成24年4月>		PhD in Social Policy (イギリス)		生活環境論 グローバルイノベーションと生活	2・3前 2・3後	2 2	1 1	日本大学文理学部 臨時職員 (平成22年1月)	
52	兼任	講師	コ ソウウ 胡 祖耀 <平成23年4月>		農学修士※		外国語Ⅰ(中国語) 外国語Ⅱ(中国語) 外国語Ⅲ(中国語) 外国語Ⅳ(中国語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成16年4月)	
53	兼任	講師	コウノ トモコ 河野 智子 <平成23年4月>		修士※(人文学)		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	
54	兼任	講師	ゴトウ アキコ 後藤 亜希子 <平成24年4月>		外国語学士		マーケティング論	2前	2	1	流通経済研究所 研究員 (平成14年4月)	
55	兼任	講師	コバヤシ ミノル 小林 実 <平成23年4月>		博士(文学)		文学と女性	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 講師 (平成20年4月)	
56	兼任	講師	サカキバラ リエコ 榎原 理枝子 <平成23年4月>		文学修士		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語) 外国語Ⅲ(英語)	1通 2・3・4通 2・3・4通	4 2 2	2 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成12年4月)	
57	兼任	講師	サキヤマ ツグオ 崎山 嗣夫 <平成25年4月>		社会学士		ブランド戦略	3後	2	1	崎山マーケティング ・オフィス 代表取締役 (平成15年12月)	
58	兼任	講師	サトウ ノリコ 佐藤 典子 <平成23年4月>		体育学士		人間と運動 身体運動	1前 1・2・3後	2 2	2 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年4月)	
59	兼任	講師	サウト リノ 佐藤 里野 <平成23年4月>		MA in Performance Studies (アメリカ)		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	お茶の水女子大学 英文研究室 アパティック・アシスタント (平成17年10月)	
60	兼任	講師	シミズ フミコ 清水 文子 <平成23年4月>		体育学士		人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1・2・3後 2・3・4後	1 1 1	1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年4月)	
61	兼任	講師	チアシ コウイチ 千足 耕一 <平成24年4月>		博士(医学)		シーズンスポーツ	2・3・4後	1	1	東京海洋大学 海洋科学部 海洋政策文化学科 准教授 (平成20年9月)	
62	兼任	講師	ナカジマ オヤム 中嶋 修 <平成24年4月>		経済学士		コミュニティビジネス	2・3後	2	1	板橋区立企業 活性化センター センター長 (平成18年4月)	
63	兼任	講師	ナガノ ヒデオ 永野 康雄 <平成25年4月>		経済学士		企業倫理	3前	1	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成16年4月)	
64	兼任	講師	ナゴヤ アツシ 名児耶 厚 <平成23年4月>		理工学修士※		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ プログラミング入門 プログラミング初級	1前 1後 1前 1後	1 1 4 4	1 1 2 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成17年4月)	
65	兼任	講師	ニコラス ルーツ ニコラス ルーツ <平成24年4月>		MA, Ed (アメリカ) Master of Arts (オーストラリア)		外国語Ⅱ(英語)	2・3・4通	6	3	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	
66	兼任	講師	ニタ ミユコ 似田 美恵子 <平成23年4月>		文学準学士		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅲ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
67	兼任	講師	ノムラ キョウコ 野村 京子 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年3月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配 当 年 次	担当 単 位 数	年間 開 講 数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
68	兼任	講師	ハシモト カツミ 橋本 克己 <平成23年4月>		教育学修士		現代社会を考える	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 教授 (平成22年4月)	
69	兼任	講師	ヒロセ マミコ 広瀬 真美子 <平成23年4月>		修士(学術)		ビジネス文書作成 データ活用	1後 2前	4 4	2 2	東京家政大学 非常勤講師 (平成8年4月)	
70	兼任	講師	マエダ ヨウコ 前田 庸子 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅱ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
71	兼任	講師	マツモト クニアキ 松本 邦明 <平成25年4月>		MBA(1MD) (スイス)		企業倫理	3前	1	1	一般社団法人 経営論理実践 研究センター 常務理事 (平成21年10月)	
72	兼任	講師	ミヤザキ ヨリコ 宮崎 順子 <平成23年4月>		人文科学修士		外国語Ⅰ(英語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
73	兼任	講師	ミヤモト マサル 宮本 正治 <平成23年4月>		文学修士※		外国語Ⅰ(英語)	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成15年4月)	
74	兼任	講師	ムラカミ ヒロヤス 村上 博泰 <平成24年4月>		工学修士		We b ページ作成基礎 デジタルビデオ編集 コンピュータミュージック デジタル色彩 住居デザイン	2前 3前 3後 2前 3後	4 4 4 4 2	2 2 2 2 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成15年4月)	
75	兼任	講師	モリヤマ タカヨ 森山 貴代 (行時) <平成23年4月>		文学士		社会人基礎力	1後	4	2	i&Iコミュニケーション・ラボ シニア産業カウンセラー (平成13年3月)	
76	兼任	講師	ヤギ マチコ 八木 真千子 <平成24年4月>		文学学士		外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	2・3・4通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
77	兼任	講師	ヤスタ ジュン 安田 順 <平成24年4月>		博士(教育学)		問題解決手法	2・3前	2	1	青山学院大学 ヒューマン・リサーチ研究センター 客員研究員 (平成20年4月)	
78	兼任	講師	ヤスツネ カヨコ 安恒 佳代子 <平成23年4月>		文学士		外国語Ⅰ(日本語) 外国語Ⅲ(日本語)	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	

(注)

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校に於ける学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

教 員 の 氏 名 等												
(人間生活学部 メディアコミュニケーション学科)												
調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
1	専	教授	アタチ カズヒサ 安達 一寿 <平成23年4月>		博士(教育学)		入門ゼミナール	1前	1	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 教授 (平成21年10月)	5日
							読書入門	1後	1	1		
							プレゼンテーション技法	1後	2	1		
							ディベート	2前	2	1		
							インターネット社会論	2・3・4前・後	4	2		
							教育とメディア	2・3・4前・後	4	2		
							We bデザイン基礎	2・3・4前	2	1		
							We bデザイン応用	2・3・4後	2	1		
							インターンシップ入門	2・3・4前・後	4	2		
							インターンシップ実習	2・3・4前・後	4	2		
							社会人基礎力	2・3・4前・後	4	2		
							演習 I	3前	2	1		
							演習 II	3後	2	1		
							卒業研究	4通	4	1		
2	専	教授	アンソニー ルファ アンソニー ルファ <平成23年4月>		M. A. (イギリス)		外国語 I (スペイン語)	1通	6	3	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 教授 (平成22年4月)	5日
							日常英会話入門	1・2・3前・後	4	2		
							日常英会話	1・2・3前・後	4	2		
	兼任	講師	アンソニー ルファ アンソニー ルファ <平成24年4月>		M. A. (イギリス)		外国語 I (スペイン語)	1通	6	3		
							外国語 II (英語)	2・3・4通	2	1		
							外国語 II (スペイン語)	2・3・4通	2	1		
							外国語 III (スペイン語)	2・3・4通	2	1		
							外国語 IV (スペイン語)	2・3・4通	2	1		
							日常英会話入門	1・2・3前・後	4	2		
							日常英会話	1・2・3前・後	4	2		
3	専	教授	オオニシ マサユキ 大西 正行 <平成23年4月>		経済学士		入門ゼミナール	1前	1	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 特任教授 (平成20年4月)	5日
							読書入門	1後	1	1		
							総合科目	1・2・3・4前・後	4	2		
							総合ゼミ	1・2・3・4通	2	1		
							ニュースと社会	※ 1後	0.7	1		
							文章表現(基礎)	1後	2	1		
							文章表現(応用)	2前	2	1		
							ディベート	2前	2	1		
							メディア産業論	2・3・4前・後	4	2		
							地域メディア論	2・3・4前・後	4	2		
							雑誌・ミニコミ編集	2・3・4前	2	1		
							文章表現(発展)	2・3・4前・後	4	2		
							インターンシップ入門	2・3・4前・後	4	2		
							インターンシップ実習	2・3・4前・後	4	2		
社会人基礎力	2・3・4前・後	4	2									
演習 I	3前	2	1									
演習 II	3後	2	1									
卒業研究	4通	4	1									
4	専	教授	オカモト タカシ 岡本 卓 <平成23年4月>		文学士		入門ゼミナール	1前	1	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成19年4月)	5日
							読書入門	1後	1	1		
							ニュースと社会	※ 1後	0.7	1		
							文章表現(基礎)	1後	2	1		
							文章表現(応用)	2前	2	1		
							ディベート	2前	2	1		
							情報倫理	2前	2	1		
							放送概論	1・2・3前・後	4	2		
							アジア入門	1・2・3前・後	4	2		
							文章表現(発展)	2・3・4前・後	4	2		
							インターンシップ入門	2・3・4前・後	4	2		
							インターンシップ実習	2・3・4前・後	4	2		
							社会人基礎力	2・3・4前・後	4	2		
							兼任	講師	オカモト タカシ 岡本 卓 <平成26年4月>			
	5	専	教授	オガワラ ノリコ 小笠原 典子 <平成23年4月>		文学学士 法学学士		外国語 I (日本語)	1通	2	1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 特任准教授 (平成15年4月)
外国語 II (日本語)								2・3・4通	2	1		
外国語 III (日本語)								2・3・4通	2	1		
外国語 IV (日本語)								2・3・4通	2	1		

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
6	専	教授	シムムラ トヨヒロ 島村 豊博 <平成23年4月>		文学修士		入門ゼミナール 読書入門 外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅳ(英語) ディベート 文化と文学B(英米文学の流れ) 文化と文学C(英米小説と女性) メディア英語 ライティング ビジネス英語 アドバンスト・リスニング アドバンスト・リーディング 英語資格試験準備講座 インターンシップ入門 インターンシップ実習 社会人基礎力	1前 1後 1通 2・3・4通 2前 2・3・4前 2・3・4後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後	1 1 2 2 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成16年4月)	5日
	兼任	講師	シムムラ トヨヒロ 島村 豊博 <平成26年4月>		文学修士		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅳ(英語) 文化と文学B(英米文学の流れ) 文化と文学C(英米小説と女性) メディア英語 ライティング ビジネス英語 アドバンスト・リスニング アドバンスト・リーディング 英語資格試験準備講座	1通 2・3・4通 2・3・4前 2・3・4後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3前・後	2 2 2 2 4 4 4 4 4 4 4	1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2		
7	専	教授	スズキ ヒロタカ 鈴木 弘貴 <平成23年4月>		国際関係学修士※		入門ゼミナール 読書入門 グローバルゼーションと社会 ※ メディア社会論 文章表現(基礎) 文章表現(応用) ディベート 放送概論 アジア入門 国際マスコミュニケーション論 文章表現(発展) インターンシップ入門 インターンシップ実習 社会人基礎力 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 1・2・3・4後 1前 1後 2前 2前 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 3前 3後 4通	1 1 1 2 2 2 2 4 4 4 4 4 4 4 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成13年4月)	5日
8	専	教授	タブナ ケイコ 田総 恵子 <平成23年4月>		政治学博士		入門ゼミナール 読書入門 ディベート 環境と社会 アジア入門 政治とメディア 国際関係論 異文化コミュニケーション インターンシップ入門 インターンシップ実習 社会人基礎力 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 2前 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 3前 3後 4通	1 1 2 4 4 4 4 4 4 4 4 2 2 4	1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成16年4月)	5日
9	専	教授	ツノダ シンジ 角田 真二 <平成23年4月>		工学修士		入門ゼミナール 読書入門 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ ディベート 情報とデザイン インターンシップ入門 インターンシップ実習 社会人基礎力 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 1前 1後 2前 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 3前 3後 4通	1 1 1 1 2 4 4 4 4 4 2 2 4	1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成22年4月)	5日

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
10	専	教授	モリタ カツユキ 森田 勝之 <平成23年4月>		文学士		入門ゼミナール 読書入門 外国語Ⅰ(英語) 脳とコミュニケーション ディベート 異文化理解 メディア英語 ライティング ビジネス英語 アドバンスト・リスニング アドバンスト・リーディング 英語資格試験準備講座 インターンシップ入門 インターンシップ実習 社会人基礎力 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 1通 1後 2前 1・2・3前 1・2・3前・後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 3前 3後 4通	1 1 2 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 2 2 4	1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成15年4月)	5日
11	専	准教授	イタダ ロカ 飯田 路佳 <平成23年4月>		体育学修士		入門ゼミナール 読書入門 運動と健康 人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ ディベート 身体・スポーツと文化 ダンスパフォーマンス インターンシップ入門 インターンシップ実習 社会人基礎力 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 1前 1前 1・2・3後 2・3・4後 2前 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 3前 3後 4通	1 1 4 2 2 1 2 4 4 4 4 2 2 1 1 4	1 2 2 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 講師 (平成19年4月)	5日
12	専	准教授	カワグチ ヒゲトシ 川口 英俊 <平成23年4月>		法学修士※		入門ゼミナール 読書入門 社会の仕組みの理解 ニュースと社会 ディベート 生活と政治行政 インターンシップ入門 インターンシップ実習 社会人基礎力 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 1・2・3・4後 1後 2前 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 3前 3後 4通	1 1 2 0.7 2 4 4 4 4 2 2 4	1 1 1 1 1 2 2 2 2 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成20年4月)	5日
13	専	准教授	キタハラ シュンイチ 北原 俊一 <平成23年4月>		博士(理学)		入門ゼミナール 読書入門 物質のなりたち 地球と環境 情報基礎論 情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ ディベート Webデザイン基礎 Webデザイン応用 インターンシップ入門 インターンシップ実習 社会人基礎力 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 1・2・3・4前 1・2・3・4後 1前 1前 1後 2前 2・3・4前 2・3・4後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 3前 3後 4通	1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 4 4 4 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成18年4月)	5日

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
14	専	准教授	コウゴ トモミ 向後 朋美 (田中) <平成23年4月>		文学修士※		入門ゼミナール 読書入門 外国語Ⅰ(英語) ディベート ことばのしくみ 英語学 メディア英語 ライティング ビジネス英語 アドバンスト・リスニング アドバンスト・リーディング 英語資格試験準備講座 インターンシップ入門 インターンシップ実習 社会人基礎力 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 1通 2前 1・2・3前 2・3・4後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 3前 3後 4通	1 1 2 2 2 4 4 4 4 4 4 4 4 2 2 2 4	1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成17年4月)	5日
15	専	准教授	シタラ ニュウコ 設楽 優子 (松尾) <平成23年4月>		Master of Arts (Phonetics) with Distinction (イギリス)		入門ゼミナール 読書入門 外国語Ⅰ(英語) ディベート ナレーションB(英語) 英語音声学 メディア英語 ライティング ビジネス英語 アドバンスト・リスニング アドバンスト・リーディング 英語資格試験準備講座 インターンシップ入門 インターンシップ実習 社会人基礎力 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 1通 2前 2・3・4前・後 2・3・4後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 3前 3後 4通	1 1 2 2 4 2 4 4 4 4 4 4 4 2 2 2 4	1 1 1 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 講師 (平成12年4月)	5日
16	専	准教授	マツナガ シュウイチ 松永 修一 <平成23年4月>		文学修士※		入門ゼミナール 読書入門 新座から学ぶ 言語表現論 プレゼンテーション技法 文章表現(基礎) 文章表現(応用) ディベート ことばと文化 ことばと社会 文章表現(発展) インターンシップ入門 インターンシップ実習 社会人基礎力 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 ※1・2・3・4前 1前 1後 1後 2前 2前 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 3前 3後 4通	1 1 0.6 2 2 2 2 2 4 4 4 4 4 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成22年4月)	5日
17	専	講師	タナカ トウコ 田中 東子 (山本) <平成23年4月>		政治学博士		入門ゼミナール 読書入門 ディベート メディア文化論 エンターテインメントメディア論 マンガ・アニメ論 映像文化論 雑誌文化論 サブカルチャー論 インターンシップ入門 インターンシップ実習 社会人基礎力 演習Ⅰ 演習Ⅱ 卒業研究	1前 1後 2前 1・2・3前・後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 3前 3後 4通	1 1 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 2 2 2 4	1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1	早稲田大学 教育学部 非常勤講師 (平成17年4月)	5日
18	兼担	講師	アベ フミ 阿部 史 <平成23年4月>		L.L.M.※ (アメリカ)		女性を学ぶ 社会の仕組みの理解	※1・2・3・4前・後 1・2・3・4後	2 2	4 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 講師 (平成21年4月)	

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
19	兼担	講師	オノトモ ヨキコ 大友 由紀子 <平成23年4月>		文学修士※		女性を学ぶ 現代社会を考える ※	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前	2 2	4 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 准教授 (平成13年4月)	
20	兼担	講師	カザマ フミアキ 風間 文明 <平成23年4月>		修士※(心理学)		人間関係の心理学 グループダイナミクス	2・3・4後 3・4前	2 2	1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 准教授 (平成22年4月)	
21	兼担	講師	カタイギ ヒロト 片居木 英人 <平成23年4月>		政治学修士※		女性を学ぶ 日本国憲法の内容と精神 ※	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前・後	2 4	4 2	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 准教授 (平成18年4月)	
22	兼担	講師	カトウ アキコ 加藤 陽子 (杉本) <平成23年4月>		博士(人間科学)		若者と精神保健	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 講師 (平成20年4月)	
23	兼担	講師	カメダ アツコ 亀田 温子 <平成23年4月>		文学修士		女性を学ぶ 女性としごと ※	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前	2 2	4 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成12年4月)	
24	兼担	講師	カリノ コウジ 狩野 浩二 <平成23年4月>		修士(教育学)		新座から学ぶ ※	1・2・3・4前	0.6	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成22年4月)	
25	兼担	講師	グラン アキコ 郡司 明子 <平成25年4月>		教育学修士		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後	4	2	国立大法法人 お茶の水女子大学附属小学校 教諭 (平成14年4月)	
26	兼担	講師	コミュ マサヒコ 込江 雅彦 <平成23年4月>		経済学修士※		新座から学ぶ 現代社会を考える グローバリゼーションと社会 インターネットビジネス ※	1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4後 2・3・4後	0.8 2 1 2	1 1 1 1	十文字学園女子大学 社会情報学部 社会情報学科 准教授 (平成17年4月)	
27	兼担	講師	サイカワ トミオ 齊川 富夫 <平成23年4月>		社会学修士※		現代社会を考える	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成17年4月)	
	兼任	講師	サイカワ トミオ 齊川 富夫 <平成26年4月>		社会学修士※							
28	兼担	講師	サイトウ レイコ 齋藤 麗子 <平成23年4月>		医学博士		女性のからだと心	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成22年4月)	
29	兼担	講師	シミズ レイコ 清水 玲子 <平成23年4月>		音楽学士		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後	4	2	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成19年4月)	
30	兼担	講師	ツブキ タカシ 津吹 卓 <平成24年4月>		農学博士		生命と生態系	1・2・3・4前	2	1	十文字中学・高等学校 教諭 (昭和52年4月)	
	兼任	講師	ツブキ タカシ 津吹 卓 <平成23年4月>		農学博士							
31	兼担	講師	ツボクラ キヨコ 坪倉 紀代子 <平成23年4月>		体育学士		身体運動 シーズンスポーツ	1・2・3後 2・3・4後	1 1	1 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)	
32	兼担	講師	ハンモト ヒロコ 橋本 ヒロ子 <平成23年4月>		図書館情報学修士		女性を学ぶ 女性とメディア 女性の社会参画の国際比較 キャリアサポート 自主社会活動 ※	1・2・3・4前・後 1・2・3・4後 1・2・3・4後 2・3前・後 1・2・3・4前・後	2 2 2 4 2	4 1 1 2 2	十文字学園女子大学 社会情報学部 コミュニケーション学科 教授 (平成15年4月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
33	兼担	講師	ヒラタ チアキ 平田 智秋 <平成23年4月>		博士(体育科学)		運動と健康 人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1前 1・2・3後 2・3・4後	2 4 3 1	1 4 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 講師 (平成18年4月)	
34	兼担	講師	ヒラタ トモヒサ 平田 智久 <平成23年4月>		芸術学士		芸術と人間理解	1・2・3・4前・後	8	4	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 幼児教育専攻 教授 (平成19年4月)	
35	兼担	講師	ミヤキ ミチコ 宮城 道子 (野崎) <平成23年4月>		社会学修士※		女性を学ぶ 女性とごとき	※ 1・2・3・4前・後 1・2・3・4前	2 2	4 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間福祉学科 教授 (平成20年4月)	
36	兼担	講師	ヤマモト サトル 山本 悟 <平成23年4月>		体育学修士		人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1・2・3後 2・3・4後	3 3 1	3 3 1	十文字学園女子大学 人間生活学部 児童幼児教育学科 児童教育専攻 教授 (平成22年4月)	
37	兼担	講師	ウチノ ユツタカ 綿井 雅康 <平成23年4月>		教育学修士※		コミュニケーションの心理学	2・3・4前・後	4	2	十文字学園女子大学 人間生活学部 人間発達心理学科 教授 (平成20年8月)	
38	兼任	講師	アズマ ショウコ 東 聖子 <平成23年4月>		博士(人文科学)		文学と女性	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 教授 (平成8年4月)	
39	兼任	講師	アン ウォーカー アン ウォーカー <平成23年4月>		M. A. English Literature (ニュージーランド)		外国語Ⅱ(英語) 日常英会話入門	2・3・4通 1・2・3前・後	6 4	3 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年4月)	
40	兼任	講師	イトウ ウジタカ 伊藤 氏貴 <平成24年4月>		博士(芸術)		文章表現(基礎) 文章表現(応用) 文章表現(発展) 創作表現	1後 2前 2・3・4前・後 2・3・4前・後	2 2 4 4	1 1 2 2	明治大学 文学部 講師 (平成19年4月)	
41	兼任	講師	ウチノ ノブユキ 内野 伸之 <平成23年4月>		法学修士		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年4月)	
42	兼任	講師	オオギハラ アツシ 扇原 淳 <平成23年4月>		博士(医学)		人間と運動 身体運動	1前 1・2・3後	3 3	3 3	早稲田大学 人間科学術院 人間科学部 健康福祉科学科 准教授 (平成21年4月)	
43	兼任	講師	オオニシ ユカ 大西 由華 <平成24年4月>		なし		DTP基礎 DTP応用	2・3・4前 2・3・4後	4 2	2 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成18年4月)	
44	兼任	講師	オオハヤシ ケイゴ 大林 啓吾 <平成23年4月>		博士(法学)		日本国憲法の内容と精神	1・2・3・4前・後	4	2	帝京大学 法学部 講師 (平成19年3月)	
45	兼任	講師	オオハラ トモコ 大原 知子 <平成23年4月>		博士(文学)		外国語Ⅰ(フランス語) 外国語Ⅱ(フランス語) 外国語Ⅲ(フランス語) 外国語Ⅳ(フランス語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成12年4月)	
46	兼任	講師	オオリ ナオコ 大裡 奈穂子 <平成23年4月>		修士(人文科学)		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語)	1通 2・3・4通	6 2	3 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年10月)	
47	兼任	講師	オカザキ マサヨシ 岡崎 正義 <平成24年4月>		文学士		映像編集	2・3・4前	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成17年4月)	
48	兼任	講師	オダ アキコ 小田 明子 <平成24年4月>		外国語教育修士		外国語Ⅱ(日本語) 外国語Ⅳ(日本語)	2・3・4通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成19年9月)	
49	兼任	講師	カツタ ヌウシ 勝田 裕之 <平成24年4月>		修士(文学)		ラジオ番組制作	2・3・4後	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成16年4月)	

調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
50	兼任	講師	フリガナ カトウ マサル 加藤 優 ＜平成23年4月＞		体育学修士		運動と健康	1前	8	4	埼玉県立大学 准教授 (平成11年4月)	
51	兼任	講師	カトウ リョウスケ 加藤 亮介 ＜平成24年4月＞		博士(芸術学)		アニメーション制作	2・3・4前・後	4	2	テレビ朝日 メディアブックス (平成21年1月)	
52	兼任	講師	カワノ カズエ 川野 一宇 ＜平成23年4月＞		文学士		音声表現論	1・2・3前・後	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成15年4月)	
53	兼任	講師	キムラ マサシ 木村 政司 ＜平成24年4月＞		Master of Fine Arts (アメリカ)		広告デザイン	2・3・4後	2	1	日本大学 芸術学部 教授 (平成10年4月)	
54	兼任	講師	コ ソヨウ 胡 祖耀 ＜平成23年4月＞		農学修士※		外国語Ⅰ(中国語) 外国語Ⅱ(中国語) 外国語Ⅲ(中国語) 外国語Ⅳ(中国語)	1通 2・3・4通 2・3・4通 2・3・4通	6 2 2 2	3 1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成16年4月)	
55	兼任	講師	コノノ トモコ 河野 智子 ＜平成23年4月＞		修士※(人文科学)		外国語Ⅰ(英語) 文化と文学D(児童文学) メディア英語 ライティング ビジネス英語 アドバンスト・リスニング アドバンスト・リーディング 英語資格試験準備講座	1通 2・3・4前・後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3前・後	4 4 4 4 4 4 4 4	2 2 2 2 2 2 2 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成21年4月)	
56	兼任	講師	コニシ マリ 小西 真理 ＜平成24年4月＞		文学士		コンピュータミュージック	2・3・4前・後	8	4	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成15年4月)	
57	兼任	講師	コバヤシ ミノル 小林 実 ＜平成23年4月＞		博士(文学)		文学と女性	1・2・3・4後	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 講師 (平成20年4月)	
58	兼任	講師	サカキバラ リエコ 榎原 理枝子 ＜平成23年4月＞		文学修士		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語) 外国語Ⅲ(英語) メディア英語 ライティング ビジネス英語 アドバンスト・リスニング アドバンスト・リーディング 英語資格試験準備講座	1通 2・3・4通 2・3・4通 1・2・3前・後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3前・後	4 2 2 4 4 4 4 4 4	2 1 1 2 2 2 2 2 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成12年4月)	
59	兼任	講師	サキヤマ ツグオ 崎山 嗣夫 ＜平成24年4月＞		社会学士		ブランド戦略	2・3・4後	2	1	崎山マケティング ・オフィス 代表取締役 (平成15年12月)	
60	兼任	講師	サトウ ノリコ 佐藤 典子 ＜平成23年4月＞		体育学士		人間と運動 身体運動	1前 1・2・3後	2 2	2 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成20年4月)	
61	兼任	講師	サトウ リノ 佐藤 里野 ＜平成23年4月＞		MA in Performance Studies (アメリカ)		外国語Ⅰ(英語) 外国語Ⅱ(英語) 舞台表現B(欧米) メディア英語 ライティング ビジネス英語 アドバンスト・リスニング アドバンスト・リーディング 英語資格試験準備講座	1通 2・3・4通 2・3・4後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3前・後	2 2 4 4 4 4 4 4 4	1 1 2 2 2 2 2 2 2	お茶の水女子大学 英文研究室 7カゲミック・アシスタント (平成17年10月)	
62	兼任	講師	シミズ フミコ 清水 文子 ＜平成23年4月＞		体育学士		人間と運動 身体運動 シーズンスポーツ	1前 1・2・3後 2・3・4後	1 1 1	1 1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年4月)	
63	兼任	講師	シモヤマ コウヘイ 下山 航平 ＜平成24年4月＞		経済学士		コンピュータグラフィックス	2・3・4前・後	4	2	テレビ朝日 メディアブックス (平成18年12月)	
64	兼任	講師	タナヤ ユウイチ 棚谷 祐一 ＜平成24年4月＞		音楽学修士		コンピュータミュージック	2・3・4前・後	8	4	十文字学園女子大学 非常勤講師 (平成14年4月)	
65	兼任	講師	タニ チハル 谷 千春 ＜平成24年4月＞		なし		手話	2・3・4前・後	4	2	NPO 手話技能検定協会 理事長 (平成19年6月)	

調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任（予定）年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 （千円）	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 （就任年月）	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
66	兼任	講師	チアシ コウイチ 千足 耕一 ＜平成24年4月＞		博士（医学）		シーズンスポーツ	2・3・4後	1	1	東京海洋大学 海洋科学部 海洋政策文化学科 准教授 （平成20年9月）	
67	兼任	講師	ナカキ アツシ 名見耶 厚 ＜平成23年4月＞		理工学修士※		情報処理演習Ⅰ 情報処理演習Ⅱ	1前 1後	1 1	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 （平成17年4月）	
68	兼任	講師	ニコラス ルーツ ニコラス ルーツ ＜平成23年4月＞		MA, Ed（アメリカ） Master of Arts（オーストラリア）		外国語Ⅱ（英語） 日常英会話入門 日常英会話	2・3・4通 1・2・3前・後 1・2・3前・後	6 4 4	3 2 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 （平成21年4月）	
69	兼任	講師	ニタ ミエコ 似田 美恵子 ＜平成23年4月＞		文学准学士		外国語Ⅰ（日本語） 外国語Ⅲ（日本語）	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 （平成19年4月）	
70	兼任	講師	ノムラ キョウコ 野村 京子 ＜平成23年4月＞		文学修士※		外国語Ⅰ（英語）	1通	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 （平成14年3月）	
71	兼任	講師	ハシモト カツミ 橋本 克己 ＜平成23年4月＞		教育学修士		現代社会を考える	1・2・3・4前	2	1	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 教授 （平成22年4月）	
72	兼任	講師	ヒラノ タニ 平野 多恵 ＜平成24年4月＞		博士（文学）		文化と文学A（日本文学）	2・3・4前・後	4	2	十文字学園女子大学 短期大学部 文学科 准教授 （平成21年4月）	
73	兼任	講師	フジサワ アカネ 藤澤 茜 ＜平成24年4月＞		博士（日本文学）		舞台表現A（日本）	2・3・4前・後	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 （平成22年4月）	
74	兼任	講師	マエダ ヨウコ 前田 庸子 ＜平成23年4月＞		文学修士※		外国語Ⅰ（日本語） 外国語Ⅱ（日本語）	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 （平成19年4月）	
75	兼任	講師	ミヤザキ ヨリコ 宮崎 順子 ＜平成23年4月＞		人文科学修士		外国語Ⅰ（英語） メディア英語 ライティング ビジネス英語 アドバンスト・リスニング アドバンスト・リーディング 英語資格試験準備講座	1通 1・2・3前・後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3前・後	2 4 4 4 4 4 4	1 2 2 2 2 2 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 （平成19年4月）	
76	兼任	講師	ミヤモト マサハル 宮本 正治 ＜平成23年4月＞		文学修士※		外国語Ⅰ（英語） メディア英語 ライティング ビジネス英語 アドバンスト・リスニング アドバンスト・リーディング 英語資格試験準備講座	1通 1・2・3前・後 1・2・3前・後 1・2・3前・後 2・3・4前・後 2・3・4前・後 1・2・3前・後	4 4 4 4 4 4 4	2 2 2 2 2 2 2	十文字学園女子大学 非常勤講師 （平成15年4月）	
77	兼任	講師	ヤギ マチコ 八木 真千子 ＜平成24年4月＞		文学学士		外国語Ⅱ（日本語） 外国語Ⅳ（日本語）	2・3・4通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 （平成19年4月）	
78	兼任	講師	ヤスツネ カヨコ 安恒 佳代子 ＜平成23年4月＞		文学士		外国語Ⅰ（日本語） 外国語Ⅲ（日本語）	1通 2・3・4通	2 2	1 1	十文字学園女子大学 非常勤講師 （平成19年4月）	
79	兼任	講師	ヨシモト メグミ 好本 恵 ＜平成24年4月＞		学士（文学）		ナレーションA（日本語）	2・3・4前・後	4	2	十文字学園女子大学 非常勤講師 （平成13年4月）	

（注）

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。